令和2年度(2020年度)

厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業) 分担研究報告書

指定難病患者データベース、小児慢性特定疾病児童等データベースとの連結を 見据えたレセプト情報・特定健診データベースの患者数・医療費集計に関する研究

研究分担者 久保 慎一郎 奈良県立医科大学医学部附属病院 技師 研究代表者 野田 龍也 奈良県立医科大学 公衆衛生学講座 准教授

研究協力者 今村 知明 奈良県立医科大学 公衆衛生学講座 教授

菅野 沙帆 奈良県立医科大学 公衆衛生学講座

研究要旨

我が国の保健医療分野のデータベース (DB) は、政府主導で DB 間の連携等が推進されている。国が有する各種 DB の中でも、レセプト情報・特定健診等情報データベース (NDB) は我が国の保険診療の悉皆調査であり、世界最大級のヘルスデータである。本研究の目的は、難病施策への反映を念頭に、NDB や介護保険総合データベース (介護 DB) と難病 DB、小児慢性特定疾病(以下、小慢という。) DB との連携及び結合された際に課題となる患者数の把握について、難病分野の NDB 集計を行い、将来結合した時に想定されうる患者定義や治療実態を反映させるための基礎研究を目的としている。

本研究では、NDB を用いた疾患定義・集計を実施した。従前の IDO を高度化させた IDOv2 を作成し、これまでの集計で弱かった小児が人口以内の患者数となった。これらの技術を活用し、全指定難病(現在は 333 疾患) 患者数集計や公費負担の医療費分析を本邦で初めて実施し、結果を公表した。また、医療保険制度を変更した場合に難病医療費と本人負担がどのように変わるかシミュレーションを行った。

このように本研究の成果は多岐に渡り、難病に関する臨床研究や施策に直接に活用できる成果も 多く含まれる。今後は、333 疾患によって患者数のゆれが生じているため、特異的な治療を条件に加 え、各疾患の定義づけを行うことによって患者数および難病医療費を集計可能とする必要がある。

A. 研究目的

我が国の保健医療分野のデータベース (DB) は政府により相互連携が推進されており、医療等分野における識別(医療等 ID)の導入も決定された。2020年現在、厚生労働省「医療・介護データ等の解析基盤に関する有識者会議」においては、レセプト情報・特定健診等情報データベース (NDB)と介護保険総合データベース(介護 DB)の連携を主軸とする保健医療分野のデータベース連携について検討が進んでいる。連携の検討対象として難病 DB 及び小児慢性特定疾病(以下、小慢という。) DB が明記され、結合解析に関する技術的課題を整理することとなっている。難病分野においては、平成27年(2015年)1月の難病法施行以降、指定難病患者データベース(難病DB)と小慢児童等データベース

(小慢 DB) につき、臨床個人調査票(臨個票) や医療意見書を元データとした DB 構築が進ん でいる。

両 DB と NDB の連結が可能となった際に両者の利点が生かせるよう NDB 単体で利用する際の現状の集計の課題を整理する必要があった。

本研究は、このような背景の中で、難病施策への反映を念頭に、難病 DB、小慢 DB と他の行政データベース(NDB、介護 DB等)を結合し利用していくうえで、難病分野の NDB 集計を行い、将来結合した時に想定されうる患者定義や治療実態を反映させるための基礎研究を目的としている。

B. 研究方法

B.1 実施体制と実施スケジュール

本研究の期間は令和2年度(2020年度)末までの3年間を予定しており、本報告書は最終年に当たる

初年度及び2年目は主任研究者の総括研究報告書に包括して内容記載しており、初年度である平成30年度(2018年度)は、NDBを用いた個別の疾患(潰瘍性大腸炎、多発性硬化症、視神経脊髄炎)の実態把握に着手した。令和元年度(2019年度)は、NDBを用いた疾患定義と集計を行い、333疾患を対象とした集計の課題と医療費さかのぼり分析(疾患に罹患したと思われる月からの医療費の推移)を提示した。

令和2年度(本報告書)は、患者 ID の名寄せ 技術の向上により改善された333疾患の患者数 の再推計と公費負担の医療費シミュレーショ ンを行った。後者について補記すると、NDBで は公費レコードは第3者提供されないため、難 病に関する医療行為と、それ以外の医療行為を 区別するためには、等級に応じて公費レコード 以外で区別する手法を検討する必要がある。本 年度は公費レコードを用いずに公費を推計す る方法を検討した。

B.2 NDB を用いた全指定難病 (333 疾患) の患者数集計方法

奈良医大が中心となって NDB における名寄せの技術がより精緻化され、新しい患者 ID (IDOv2) が開発された。この影響を見るため、指定難病 (現時点では 333 疾患) について、以下の 2 つのパターンで再度 NDB 集計を行った。

A:333 疾患を「病名」(疑い病名を除外。) かつ「難病加算なし」で集計した場合

B:333 疾患を「病名」(疑い病名を含む。) かつ「難病加算あり」で集計した場合

B.3 NDB を用いた指定難病患者の公費算定方 法の検討

難病患者における医療費の検討を実施した。 難病患者の医療費は、理論的には当該難病に 関係する医療費とそれ以外の医療費に分かれ るが、両者を区別することは難しいため、今回 は難病患者の医療費全体を対象として検討を 加えたものである。両者の区分は、今後データ 連結が実現した場合において必要となる技術 である。レセプトには公費レコードがあり、公 費レコードを用いることができれば、難病に関 する医療行為と、それ以外を区別することは可 能であるが、2020年時点では NDB では公費レコ ードは第3 者提供されていない。したがって、 難病に関する医療行為と、それ以外の医療行為を区別するため、公費レコード以外を用いて区別をつける手法を検討する必要がある。本研究においては、公費レコードを用いずに公費を推計する方法について検討した。

C. 研究結果

集計結果を以下に示す。

C.1 NDB を用いた全指定難病(333 疾患)の患者数

疾患ごとの患者数を資料1に示す(疾患間の重複カウントを許している)。さらに、333疾患の病名コードを資料2に示す。比較対象として、精緻化される前の名寄せ技術による患者個人 ID (ID0)に基づく患者数と、参照基準(リファレンス・スタンダード)として衛生行政報告例における医療受給者証(または登録者証)を交付されている人数を示した(難病法施行に伴い、2014年は1~12月の暦年集計、それ以外の年は4月~翌3月の年度集計となっていることに注意されたい)。なお、医療受給者証の人数は年度末時点での集計である。

ID0v2による患者数と ID0による患者数の差は概ね±10%に収まっているが、ID0v2の方が過大評価になる疾患と、過小評価になる疾患があった。例えば、集計定義 A において、ID0v2の患者数が ID0の患者数に比べて約 7%少なくなったのは、「第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群(告知番号=200)」であり、逆に ID0v2の方が ID0より 8%程度大きくなったのは「ギャロウェイ・モワト症候群(告知番号=219)」であったが、いずれの疾患ともに患者数が少ないため、減少・増加割合が大きくなったものである。

資料2では、疾患間の重複カウントを許しているため、患者数を過大評価している。例えば潰瘍性大腸炎とクローン病などのように鑑別が必要な疾患について、どちらが受給対象の疾患であるかをレセプトから機械的にかつ精緻に判定するのは、現時点では不可能と言ってよく、多くの技術的困難を伴う。難病DBとNDBのデータ連携により、これらが容易になることが期待される。また、難病に限らずNDBにおいて疾患を定義することは難しいため、難病DBの連結により、疾患に関する「正解」データを得ることができれば、NDBにおいて、疾患の機械的な判定の技術向上が見込まれるかもしれない。

C.2 NDB を用いた指定難病患者の公費算定方 法の検討

難病の公費を併用した場合の自己負担限度 額 (1月当りの限度額)は、資料 3 に示す通 り、「階層区分」ごとに決まっている。また、 国保等の場合は、自己負担割合が3割から2割 に引き下げられる。一方、通常の医療費におけ る患者の自己負担額は、資料4に示す通りであ り、年齢と所得(提要区分)ごとに自己負担額 が決まっている。一定額以上になった場合には、 それ以上負担が増えないよう、「高額医療費」 の上限額が設定されている。通常の「自己負担 額」と、難病の「自己負担上限額」の差分を難 病の公費が補填する形となる(図1参照)。レ セプトデータには公費レコードがあるが、NDB ではこのレコードは提供されていないため、公 費を推定する必要があるが、レセプトには「階 層区分」が記載されないため、難病の自己負担 割合について、個人ごとにどの階層区分が該当 するかを何らかの形で仮定する必要がある。

レセプトに記載される所得に関する項目に、「特記事項」がある。特記事項は、高額療養費の算定基準にかかるものであり、「階層区分」とは別制度に基づくものであるため、定義は必ずしも一致しないが、こちらを階層区分に代用することが可能かを検討した。

まず、B.2に示した指定難病の定義を用いて、「難病公費」が算定されたレセプトにおける「特記事項」の入力状況と、特記事項別の医療費の分布を70歳で区分して資料6、資料7に示す。70歳未満において、難病加算が算定されたレセプト4,675,467件のうち、約1/3の1,535,918件について特記事項に記載がなかったが、残りの2/3は、区ア〜オの記載があったが、残りの2/3は、区ア〜オの記載があったが、残りの2/3は、区ア〜オの記載があった。区ア〜オそれぞれの医療費分布はほぼ同じであり、所得区分ごとの医療費総額には差がない、ということが言えることが分かった。他に使える情報がないことから、以下を仮定し、難病公費総額の推定を行うこととした。

仮定1:難病に係る医療費は、患者の所得区分とは独立に決まる(資料8、資料9)

仮定2:難病患者の階層区分ごと人数の割合は、難病加算が算定されたレセプトに記載されている区ア~オと同じである(資料6、資料7)

難病加算の算定されているレセプトについて、患者(id0)ごと・診療月ごとに、医科レセプト・DPC レセプト・調剤レセプトの点数を合

計し、70歳以上と70歳未満の医療費分布(仮定1)から、階層区分ごとの人数割合(仮定2)別に公費の推計を行った。結果を資料10に示す

NDB から推計した年間公費総額は ¥95,393,387,741 となり、実績値である ¥155,082,647,278を下回る結果となった。階層 区分の分布についての仮定2の影響を見るために、特記区分にア~オ以外が記載されていた 場合は、「一般」(区工)とした場合について も公費の推計を行ったが、資料11に示す結果 は仮定2を採用した場合から大きく変化しな かった。

D. 考察

D.1 NDB を用いた疾患の集計

DB 上の疾患名やその他の項目を組み合わせ、 その疾患を正確に把握できる真の疾患定義を 構築し、疾患の患者数に関するなるべく正確な 既存統計が必要である。

本研究では、予備研究として、指定難病 333 疾患の病名が付与された患者を対象に NDB を用いた患者集計の概算の算出している。ただし、前年度に行ったものは IDO という名寄せ ID を使用しており、これが小児に対して人口を超える(課題集計になる)という課題があった。今回、小児も人口の範囲内に収まっている IDO v 2を用いることで再集計を行ったが、結果のとおり、病名によって衛生行政報告例に比べ過大・過少になる幅が大きいなど課題は変わらなかった。

以上のことより考えられるのは、IDの精度の問題よりも NDB を用いた場合の疾患集計は、病名だけでなく、薬の使用状況などで、定義を行う必要があるということである。昨年の報告書において、潰瘍性大腸炎を含めた 3 疾患の集計を行ったが、難病加算がとられているだけでなく、薬剤の併用を見ると患者数を限定することが可能であった。これらを 333 疾患に拡大する必要があるが、臨床の知見が必要であるため、研究班の垣根を越えて検証する必要があるだろう。

一方、この課題を克服できるとして注目されるのは難病DB、小慢DBとの連結である。疾患定義は診断に基づいて行われているため、報告数=患者数となるが、その後の治療状況を追跡することができ、治癒を発見する(レセプトが生じていない、薬の使用が減っている・なく

なった等)で状況を把握することが可能になるであろう。

連結についての議論は昨年の総括報告書・今年度の主任研究者の報告書を参照とするが、より多くのデータが容易に使えるようになるよう、今から技術を確立することが必要であろう。

(予定を含む。) 医許取得

1. 特許取得 なし

2. 実用新案登録なし

3. その他 なし

D.2 NDBを用いた難病医療費の集計

公費の推計については過小評価となった が、その理由としては、以下が考えられる。

- ✓ 難病加算では難病受給者を全て拾えていない可能性
- ✓ 小児慢性特定疾患分が考慮されていない 可能性
- ✓ 訪問看護及び介護保険における訪問看護 の費用が含まれていない点
- ✓ 人工呼吸の場合の自己負担上限額の軽減 や、3割→2割負担分、高額かつ長期の 場合の自己負担上限額の低減措置、につ いては今回の推計では考慮していない点

難病公費の制度自体が複雑であることから、推定精度を上げるためには、これらのいずれが、もしくはこれら以外の理由による過小評価が起こっているのかを更に詳細に検討する必要がある。そのためには、今後、公費のレセプトの情報が利用可能な、例えば KDB データ等を使ったレセプトデータの特性に関する理解を進める必要がある。

E. 結論

本年度の研究により、NDB を用いた患者数の 集計においては、指定難病の疾患定義について、 疾患名だけでなく難病加算を同時に用いる手 法を提示した。さらに、本邦で初めて、NDB を 用いた指定難病(全333疾患)の患者数を試行 的に算出するとともに、難病総医療費を初めて 算出した。今後はよりシミュレーションが精緻 に行えるように、医療費の詳細な条件を整理し、 分析を行っていく必要がある。

F. 健康危険情報 なし

- G. 研究発表
- 1. 論文発表なし
- 2. 学会発表なし
- H. 知的財産権の出願・登録状況

Ⅱ. 資料一覧 (各資料の目次はファイル冒頭に記載)

資料1	告示区分別患者数
資料2	難病 333 疾患マスター
資料3	指定難病受給者の難病に係る医療費の自己負担上限額
資料4	難病の公費負担区分
資料 5	指定難病に対する自己負担上限額と公費の関係
資料6	70 歳未満の特記事項別医療費分布(2018 年度)
資料 7	70 歳以上の特記事項別医療費分布(2018 年度)
資料8	難病患者(70歳未満)の1か月あたり医療費分布(2018年度)
資料9	難病患者(70歳以上)の1か月あたり医療費分布(2018年度)
資料10	公費の推定結果
資料11	公費の推定結果
	(特記区分にア〜オ以外が記載されていた場合は、「一般」 (区工) とした場合。)

資料1. 告示区分別難病患者数	↓難病法改正(2014年	こ基づく集計方法により2014年は	暦年集計 2015年度	2016年度	↓医療受給者証 2017年度	は年度末時点で申請が	「有効の対象者を集ま 2014年NDB(ID		2015年度NDB(ID0v2)	2016年度NDB((1002)	※ 017年度NDB(ID0	(A)~(C)は要件定義	を参照 8年度NDB(ID0v2)	_	※(2014年NDB(ID0) 2017年度NDB(ID0)	A)~(C)は要件定	主義を参照 2014年(NDB/受給者証)	CHECK2017(ID0v2/ID0)
告示器 号 A. 指定難病名	医療受給者証	医療受給者証 登録者証	+ 医療受給者証		医療受給者証			(B)疑い病名含+	(A)疑い病名含+ (B)疑い病名含 加算無 加算有		- (B)疑い病名含+ (A)疑い病名含+ (E		疑い病名含+ (B)疑い病名含	含+	(A)疑い病名含+ (B)疑い病名含+ (A)疑い病名含+ (B) 加算無 加算無 加算有		(A)疑い病名合 (B)疑い病名合 (A)疑い病名合 (B)疑い病名合 (B)疑い病名合 加算無 加算有	(A)疑い病名含+ (B)疑い病名含+ 加算無 加算有
OA 全患者(重複なし) OB 全患者(告示区分毎の総合計、重複あり) 1 球脊髄性筋萎縮症	1 22	12	943,460 979,40 23 1,230	0 986,07 7 996,82		912,714	1.02	1.014	2.170	F7 2.22	1 202	2.422	1.472	2 533 1	503	5,036,783 746,383 5,768,224 6,861,865 1,056,356 8,168,909 2,043 1,075 2,443	962,232 1,417,001 1,480	662.4% 110.5% 915.3% 158.8% 167.0% 87.9% 198.3% 120.1%	99.1% 99.5%
2 筋萎縮性側索硬化症 3 脊髄性筋萎縮症	1,22 9,95 89	9,95	9,43		3 1,232 7 9,636 5 824	9,805	1,933 15,953 2,600	7 5,953	2,176 1,1 17,841 6,7 2,899 8			2,422 18,411 2,983	1,473 10,042 1,210	19,073 10,	,555	2,043 1,075 2,443 17,643 6,747 18,534 2,833 765 3,005	10,087 1,211	167.0% 87.9% 198.3% 120.1% 177.3% 67.8% 192.3% 104.7% 316.9% 85.6% 364.7% 147.0%	99.1% 99.5% 99.3% 99.6% 99.3% 99.9%
4 原発性側索硬化症 5 進行性核上性麻痺 6 パーキンソス病	136,55	9 136,55			6 84 1 9,967	97	18:	1 64 5 5,894	274 1 16,651 7,7	04 28 91 18,31	35 148 .3 10,646	330 19,764	172 11,713	361 21,182 12,		203 73 330 14,491 6,582 19,821	171 11,738	392.9% 203.6% 10.6% 4.8% 198.9% 117.8%	100.0% 100.6% 99.7% 99.8%
6 バーギンプン病 7 大脳皮質暴底核変性症 8 バンチントン病	93	33 9	121,960 3,953 33 890	6 127,34 2 4,14 9 91	7 127,536 3 4,157 7 900	4,270	426,944 6,047 1,268	7 2,531	470,558 162,7 7,498 3,2 1,372 5		33 176,699 57 4,305 73 713	483,326 8,580 1,398	179,320 4,615 730	489,104 182, 9,379 4, 1,450	,975 ,934 749	455,698 159,342 484,657 6,605 2,832 8,613 1,347 558 1,410	179,801 4,623 734	380.0% 141.0% 207.2% 111.2% 144.4% 59.8% 156.7% 81.6%	99.7% 99.7% 99.6% 99.8% 99.1% 99.5%
9 神経有棘赤血球症 10 シャルコ・マリー・トゥース病 11 重症筋無力症			1:	5 2 6 43	5 30 6 516	32 594	10未達	前 10未満 8 137	10未満 10未 3,272 2	満 2 76 3,53		29 3,755	13 745	59 3,914	16 882	10未満 10未満 30 2,929 154 3,766	13 746	100.0% 43.3% 729.8% 144.6%	96.7% 100.0% 99.7% 99.9%
11 重症筋無力症 12 先天性筋無力症候群 13 多発性硬化症/程神経脊髓炎	22,10	08 1,438 23,54	19.64	5	5 10	18	65,700 20 44,029	0 10未満	79,584 25,5 28 10末 54,713 17,8	満 3	34 10未満	88,438 58 57,994	28,147 15 22,466	80	,001 26 ,328	74,682 24,346 88,617 24 10末満 58 49,237 16,022 58,175	28,193 15 22,536	317.2% 103.4% 393.3% 125.1% 580.0% 150.0% 316.0% 122.4%	99.8% 99.8% 100.0% 100.0% 99.7% 99.7%
13A 多発性硬化症(明会議での詳細な定義) 13B 視神経脊髄炎(明会議での詳細な定義)	19,38		39				42,726 6,210	6 14,822 0 2,423	51,191 17,3 12,008 4,2	75 50,83 97 15,15	33 20,618 66 5,664	50,890 17,454	21,206 6,411	51,716 20, 19,969 6,	,763 ,889	47,964 15,886 51,049 6,649 2,629 17,505	21,262 6,426	247.4% 81.9%	99.7% 99.7% 99.7% 99.8%
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロバチー 15 封入体筋炎 16 クロウ・深瀬症候群	4,63	33 27 4,66	50 4,670		6 4,090 0 417 5 142	488	12,095 1,014 544	5 4,585 4 221	14,246 5,4 1,264 3 692	78 14,91	12 573	15,596 1,511 734	6,675 680 167	1,655	,638 720 190	13,179 5,001 15,639 1,127 251 1,512 602 52 742	6,686 677	282.8% 107.3% 382.4% 163.5% 362.6% 162.4% 522.5% 119.7%	99.7% 99.8% 99.9% 100.4% 98.9% 98.2%
17 多系統萎縮症 18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	12,74 27,58			2 11,63° 7 26,96°	9 11,331	11,406	18,439 45,24	9 8,968	20,519 9,9	31 20,97		21,402 47,902	13,092 30,614	21,649 13,	,208 ,597	19,929 9,869 21,496 47,829 27,246 48,129	13,149 30,718	156.4% 77.5% 189.7% 116.0% 173.4% 98.8% 182.7% 116.6%	99.6% 99.6% 99.5% 99.7%
19 ライソゾーム病 20 副臀白質ジストロフィー	1,06	51 1,00	51 1,110 10 22	6 1,20 1 22	0 1,262 9 248	1,354 245	2,886	6 626 1 169	3,694 8 777 1	02 4,24 92 72	1,171	4,634 730	1,259 252	5,109 1, 742	,347 282	3,217 676 4,664 748 187 736	1,261 256	303.2% 63.7% 369.6% 99.9% 356.2% 89.0% 296.8% 103.2%	99.4% 99.8% 99.2% 98.4%
21 ミトコンドリア病 22 もやもや病 23 プリオン病	1,43		17,17	2 17,60	2 12,648	12,356	4,310 29,894 450	4 9,389	5,515 7 34,927 10,9 568			6,254 38,362 786	1,166 12,725 237		,164 ,396 250	5,144 549 6,257 33,537 10,069 38,467 528 98 790	1,162 12,766 240	357.0% 38.1% 441.9% 82.1% 304.1% 100.9% 90.4% 16.8% 190.8% 58.0%	100.0% 100.3% 99.7% 99.7% 99.5% 98.8%
24 亜急性硬化性全脳炎 25 進行性多巣性白質脳症		33 8		4 7. 9 2	2 77	76 40	224 339	4 29 9 47	283 483	29 21 64 45	128	211 512	54 153	198 564	52 157	255 35 218 395 60 515	56 153	307.2% 42.2% 283.1% 72.7% 1609.4% 478.1%	96.8% 96.4% 99.4% 100.0%
26 H T L V - 1 関連脊髄症 27 特発性基底核石灰化症 28 全身性アミロイドーシス	2,28	31 2,28	58 31 2,30	7 73 2 5 4 2,45	9 823 3 73 5 2,471	85	8,57 10未達 6,25		10,995 1,3 137 7,805 1,2	15 32	109	10,812 377 8,393	2,025 120 1,868	501	,194 146 ,031	10,296 1,189 10,835 10末満 10末満 377 7,071 1,087 8,417	2,019 120 1,869	1316.5% 245.3% 516.4% 164.4% 310.0% 47.7% 340.6% 75.6%	99.8% 100.3% 100.0% 100.0% 99.7% 99.9%
29 ウルリッヒ病 30 遠位型ミオバチー	2,20	2,20	16	6 1	0 13 8 218	14	10未満	3 10未満	20 10末 278	満 2 23 43	11 10 110	41 531	18 156	54 674	24 212	10未満 10未満 43 10未満 10未満 532	18 155	330.8% 138.5% 244.0% 71.1%	95.3% 100.0% 99.8% 100.6%
31 ベスレムミオパチー 32 自己資食空胞性ミオパチー 33 シュワルツ・ヤンベル症候群				7	8 10 7 6	13	10未満		10未満 10未 10未 10未 10未 10未 10未 10未	満 2	10未満 22 10未満 20 10未満	23 20	10未満 10未満 10未満	29	11 未満	10未満 10未満 23 10未満 10未満 20 20 10未満 23	10未満 10未満 10未満	230,0% 333.3% 328.6%	100.0% 100.0% 100.0%
34 神経線維腫症 35 天疱瘡	4,07 6,07		.,	0 4,19 7 5,69	9 3,883 3 3,347		14,80	9 2,266	17,079 3,0 31,476 3,9	71 17,74	2 3,387	18,446 35,259	3,567 5,690	18,864 3,	大河 ,599 ,248	16,364 2,548 18,519 28,795 3,407 35,303	3,577 5,692	401.6% 62.5% 476.9% 92.1% 439.8% 52.0% 1054.8% 170.1%	99.6% 99.7% 99.9% 100.0%
36 表皮水疱症 37 脚疱性乾癬 (汎発型)	2,05	56 10 3: 52 50 2,10	76 33: 02 2,03	2 31 4 2,07	5 299 2 1,788	300 3 1,828	4,34	1 11 6 1,284	341 4,781 1,3	12 35 84 4,79	58 17 91 1,606	359 4,899	25 1,646	364 5,034 1,	,622	348 17 358 4,660 1,381 4,902	25 1,646	92.6% 4.5% 119.7% 8.4% 221.7% 65.7% 274.2% 92.1%	100.3% 100.0% 99.9% 100.0%
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群 39 中毒性表皮壊死症 40 高安動脈炎	12	23 12	23 154	5 5	5 50	48	1 5,450 410 14,320	0 25	6,642 3 574 15,669 5,0	38 57	78 68	6,941 597 16,394	592 84 5,709	624	584 97 ,397	6,306 287 6,963 490 29 597 15,705 4,763 16,444	589 83 5,724	5126.8% 233.3% 4642.0% 392.7% 1194.0% 166.0% 359.6% 125.2%	99.7% 100.5% 100.0% 101.2% 99.7% 99.7%
41 巨細胞性動脈炎 42 結節性多発動脈炎	12,05	314 12,3	199 71 3,44	9 37- 2 3,30:	4 603 5 2,551	925 2,366	7,67: 13,04	1 318 4 4,253	9,280 4 14,174 4,7	67 7,38 43 13,34	9 701 9 5,003	7,451 12,675	980 4,821	9,217 1, 12,230 4,	,450 ,352	8,880 367 7,462 14,655 4,619 12,699	979 4,824	1237.5% 162.4% 118.5% 37.3% 497.8% 189.1%	99.9% 100.1% 99.8% 99.9%
43 顕微鏡的多発血管炎 44 多発血管炎性肉芽腫症 45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2,43	96 2,52	8,51 26 2,53 1,35	4 2,70	8 2,554	2,718	39,57 159,42 16,06	7 11,153	55,616 8,8 201,623 14,9 19,447 2,0	60 189,64	17,719	68,830 208,271 20,942	13,358 19,663 4.022	234,470 21,	,264 ,679 ,051	46,780 6,999 68,910 199,227 14,011 208,374 18,600 1,576 20,985	13,369 19,668 4,028	794,9% 154,2% 7887.1% 554.7% 8158.7% 770.1% 794,9% 152.6%	99.9% 99.9% 100.0% 100.0% 99.8% 99.9%
46 悪性関節リウマチ 47 パージャー病	6,69 7,04		6,18	5 6,06	7 5,571 1 3,177	5,406 2,578	17,81 230,25	3 5,086	19,261 5,4 259,615 16,6	02 18,75	6,242 7 19,269	19,097 253,454	6,228 19,442	19,005 6, 250,381 18,	,108 ,124	19,677 5,477 19,164 252,528 15,580 253,889	6,255 19,497	290.7% 80.9% 344.0% 112.3% 3313.6% 204.4% 7991.5% 613.7%	99.7% 99.6% 99.8% 99.7%
48 原発性抗リン脂質抗体症候群 49 全身性エリテマトーデス 50 皮膚筋炎/多発性筋炎	63,62 52,71			7 314 8 63,793 1 21,833	4 407 2 60,446 2 21,411	61,060	1,613 814,323 188,223	5 97,238	2,047 3 1,102,453 117,9 257,668 34,8			2,398 1,194,969	584 142,146 42,536	2,631 1,255,163 306,223 43,	633 ,987	1,940 265 2,395 987,130 108,733 1,196,208 226,533 31,274 290,688	582 142,304 42,575	588.5% 143.0% 1467.8% 161.7% 1979.0% 235.4% 415.4% 57.4% 1357.7% 198.8%	100.1% 100.3% 99.9% 99.9% 99.9% 99.9%
51 全身性強皮症 52 混合性結合組織病	11,00		30,78	6 31,05	7 27,423	26,740	24,420 79,41	6 6,911	39,691 11,6 100,195 23,3	43 46,75		290,392 54,205 105,739	16,643 26,107	61,520 18, 109,190 25,	,238	29,057 7,757 54,274 95,107 22,321 105,865	16,651 26,115	415.4% 57.4% 1357.7% 196.6% 197.9% 60.7% 828.5% 194.4% 1072.5% 264.6%	99.9% 99.9% 99.9% 100.0% 99.9% 100.0%
53 シェーグレン症候群 54 成人スチル病 55 再発性多発軟骨炎			9,11 1,84	1 11,20 3 2,31	1 13,243 7 2,717	3 14,663 3,013	618,803 12,676	3 56,524	753,603 69,1 15,275 1,3	96 768,62 42 15,73	22 84,277 37 2,941	801,798 16,545	90,476 3,505	846,945 94, 17,587 3,	,059 ,954	704,348 63,403 803,455 14,181 773 16,575	90,559 3,516	6067.0% 683.8% 610.0% 129.4%	99.8% 99.9% 99.8% 99.7%
56 ベーチェット病 57 特発性拡張型心筋症	20,03				5 15,284		1,33 41,93 79,10		1,646 1 46,453 18,5 89,958 20,0		7 484 8 19,108 55 22,223	1,874 46,110 96,033	19,267 22,352	46,132 18,	,027 ,644	1,443 96 1,883 45,662 17,826 46,318 84,215 18,783 96,391	19,318 22,411	327.5% 104.7% 206.6% 80.7% 303.0% 126.4% 296.1% 66.0% 448.0% 104.2%	99.5% 99.0% 99.6% 99.7% 99.6% 99.7%
58 肥大型心筋症 59 拘束型心筋症	4,14	16 10 4,15	56 4,52 35 6	7 4,66 1 5	7 4,046 0 44	4,181 51	153,330 418	0 9,382 8 63	172,100 11,8 484	49 176,17 79 52	78 12,145 24 114	182,237 541	12,475 115	187,542 12, 546	,649 119	166,450 10,389 182,715 470 73 544	12,499 115	4005.1% 250.0% 4515.9% 308.9% 1342.9% 208.6% 1236.4% 261.4%	99.7% 99.8% 99.4% 100.0%
60 再生不良性貧血 61 自己免疫性溶血性貧血 62 発作性夜間へモグロビン尿症	11,15	3,568 14,77	20 10,50 61 34	3 79	7 898	927	46,816 40,538 3,32	8 4,061	53,246 11,3 56,539 5,8 4,631 1,0	73 59,20		54,312 61,904 5,342	12,702 8,414 1,537	64,524 8,	,084 ,684 ,635	52,509 11,302 54,384 48,275 4,769 61,950 3,814 841 5,347	12,725 8,418 1,540	356.7% 76.8% 679.2% 158.9% 6898.7% 937.4% 859.6% 247.6%	99.9% 99.8% 99.9% 100.0% 99.9% 99.8%
63 特発性血小板減少性紫斑病 64 血栓性血小板減少性紫斑病	27,44		24 25,230 12	6 25,074 5 15	4 17,618 4 182	16,724 2 222	82,208 3,013	8 26,571 3 445	93,105 29,2 3,758 6	86 93,25 25 3,94	9 29,686 5 856	94,272 3,592	29,824 928	94,663 27, 3,883 1,	,277 ,018	90,552 28,641 94,478 3,453 511 3,600	29,894 932	219.7% 69.5% 536.3% 169.7% 1978.0% 512.1%	99.8% 99.8% 99.8% 99.6%
65 原発性免疫不全症候群 66 IgA腎症 67 多発性囊胞腎	1,59	98 1,59	98 1,583 5,104 4,693	4 6,56	8 7,796	8,696	28,014 188,765 33,418	5,911		78 227,54	14,818	34,841 234,266 44,809	3,448 16,853 5,178	236,105 17,	,494 ,468 ,022	33,036 1,991 34,885 210,316 6,480 234,824 36,216 374 44,942	3,437 16,867 5,193	2067.3% 124.6% 2162.7% 213.1% 3012.1% 216.4% 561.0% 64.8%	99.9% 100.3% 99.8% 99.9% 99.7% 99.7%
68 黄色靱帯骨化症 69 後縦靱帯骨化症	4,23 39,41	6 6,837 46,25	98 4,718 53 37,80	5,29 5 38,03	0 4,979 9 32,340	5,232	8,574 40,288	4 1,758 8 9,103	9,831 2,2 44,548 10,5	13 9,84 40 43,73	9 2,556 11,956	9,866 43,510	2,609 12,187	9,826 2, 42,768 11,	,538 ,569	9,500 1,964 9,894 44,327 10,143 43,619	2,621 12,227	216.0% 44.7% 198.7% 52.6% 95.8% 21.9% 134.9% 37.8%	99.7% 99.5% 99.8% 99.7%
70 広範脊柱管狭窄症 71 特発性大腿骨頭壊死症 72 下垂体性ADH分泌異常症	6,43 17,91 21,87	.8 5,707 23,62	25 16,57	5 17,59	6 16,077	17,129	16,313 20,493 18,364	7,414	17,533 7,0 24,383 9,4 22,546 3,1	29 25,66	3 10,718	16,669 27,321 26,287	6,594 11,445 5,538	29,387 11,	,238 ,773 ,013	17,605 6,846 16,708 22,490 8,126 27,392 20,047 2,399 26,350	6,612 11,467 5,544	252.4% 98.2% 317.8% 125.8% 95.2% 34.4% 170.4% 71.3% 90.7% 10.9% 931.1% 195.9%	99.8% 99.7% 99.7% 99.8% 99.8% 99.9%
73 下垂体性TSH分泌亢進症 74 下垂体性PRL分泌亢進症	21,07	22,10	15		9 140 9 2,020	135	105	5 10未満 前 10未満		74 35 満 10未済	55 132	411 10未満	174 10未満		178 未満	125 11 412 10未満 10未満 10未満	174 10未満	90.776 10.576 531.176 153.576 294.3% 124.3%	99.8% 100.0%
75 クッシング病 76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症 77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症			80 23 4,06	2 15	2 73	45	21,76 7,01	7 77	29,438 1,2 8,411 1 10未満 10未	22 9,69	90 366	35,012 10,938 10未満	2,104 443	12,229	,236 517 未満	27,135 1,078 35,022 7,726 87 10,955 10未満 10未満 10未満	2,102 441 10未満	4450.1% 267.1% 15006.8% 604.1%	100.0% 100.1% 99.8% 100.5%
78 下垂体前葉機能低下症 79 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	16	66 16	12,58			16,609	10未達 220,820 125	8,917	282,047 12,3 144			328,103	10未満 23,103 105		末间 ,709 134	10末周 10末周 10末周 10末周 257,838 10,132 328,489 136 42 276	23,103	2194.5% 154.3% 81.9% 25.3% 112.7% 42.9%	99.9% 100.0% 100.0% 100.0%
80 甲状腺ホルモン不応症 81 先天性副腎皮質酵素欠損症			43	3 3: 7 55:	2 33 6 644	31 731	12: 50: 10未進	10未満	653 204	16 75 11 77	0 33 0 104	843 996	40 151	820 1,154	50 189	581 15 844 10未満 10未満 1,001	41 153	2557.6% 124.2% 155.4% 23.8%	99.9% 97.6% 99.5% 98.7%
82 先天性副腎低形成症 83 アジソン病 84 サルコイドーシス	26.76	3 10,459 37 2	14: 22 24,64:	6 24,279 5 24,279	4 35 4 229 9 15,047		10未達 22,64 124,10	1,398	10未満 10未 30,349 1,7 151,827 26,6	82 31,60		36,515 161,395	10未満 3,113 26,893	42,211 3,	未満 ,563 ,950	10未満 10未満 15 27,314 1,619 36,538 143,461 25,470 161,692	10未満 3,115 26,919	42,9% 15955.5% 1360.3% 385.4% 68.4% 1074.6% 178.9%	100.0% 99.9% 99.9% 99.8% 99.9%
85 特発性間質性肺炎 86 肺動脈性肺高血圧症	26,76 8,84 2,94	16 536 9,38 16 2,94	32 9,104 46 2,999	4 10,58	8 11,936	13,554	85,046 19,61	6 8,178 1 5,262	111,006 11,2 23,675 6,9	28 122,90 74 26,07	16,238 73 9,502	134,945 28,194	18,592 10,511	149,264 19, 30,356 11,	,845 ,146	97,434 9,324 135,144 20,941 5,685 28,277	26,919 18,618 10,519	1038.5% 99.4% 1132.2% 156.0% 710.8% 193.0% 818.2% 304.4%	99.9% 99.9% 99.7% 99.9%
87 肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症 88 慢性血栓塞栓性肺高血圧症 89 リンバ脈管筋腫症	17,43 2,51 68	.1 2,5					4,88: 1,32:	1 695	6,506 1,0		1,540	7,242 2,031	59 1,803 642		55 ,036 667	384 10未満 429 5,347 749 7,275 1,434 293 2,045	1,807 638	1.9% 1865,2% 252.2% 212.9% 29.8% 211.5% 52.5% 208.1% 42.5% 274.5% 85.6%	100.0% 101.7% 99.5% 99.8% 99.3% 100.6%
90 網膜色素変性症 91 パッド・キアリ症候群	29,33	30 29,33	30 26,98	7 26,24	5 24,692	23,849	1,322 78,280 808		1,702 5 85,922 23,8 907 2			2,031 87,715 934	22,769 254	88,872 22,	,773 215	1,434 293 2,045 83,846 23,767 88,010 885 187 939	22,830 253	208.1% 42.5% 274.5% 85.6% 285.9% 81.0% 356.4% 92.5% 258.8% 54.7% 410.0% 110.5%	99.7% 99.7% 99.5% 100.4%
92 特発性門脈圧亢進症 93 原発性胆汁性胆管炎 94 原発性硬化性胆管炎			22,14 42	5 22,47	4 18,047	17,639	2,08:	10未満		満 2,82	235	2,204 59,808	295 5,303	124,055 10,	312 ,481	2,259 110 2,211 10末満 59,831	296 5,301	873.9% 117.0% 331.5% 29.4%	99.7% 99.7% 100.0% 100.0%
95 自己免疫性肝炎 96 クローン病	40,88		3,19	9 4,04	7 4,772	5,304	8,06: 303,350 59,279	0 17,129		17 414,16		12,028 432,937 71,718	2,182 30,366 39,185	12,782 2, 460,619 30, 72,407 38,		9,202 1,247 12,041 363,224 19,844 433,519 65,104 33,382 71,943	2,188 30,395 39,274	1776,0% 322,7% 9084.6% 636.9% 153.6% 78.7% 175.2% 95.6%	99.9% 99.7% 99.9% 99.9% 99.7% 99.8%
97 演瘍性大腸炎 97A 演瘍性大腸炎(班会議での詳細な定義) 98 好酸球性消化管疾患	170,78 170,78	10,779 181,56	166,08	5 167,87 5 167,87	2 128,734 2 128,734	124,961 124,961	270,182 286,093	2 155,803 7 166,211	306,351 173,1 327,636 187,0	90 314,39	177,964 20 194,696	322,299 352,259	182,032 201,777	334,338 174, 368,710 195,	,255 ,791	291,048 163,726 323,367 306,729 173,683 353,508	182,474 202,325	160.3% 90.2% 251.2% 141.7% 168.9% 95.7% 274.6% 157.2%	99.7% 99.8% 99.6% 99.7%
99 慢性特発性偽性腸閉塞症 100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症			270	6 44 0 9 4			5,350 10未達 10未達	10未満		30 10,32 38 69 満 2	20 746 27 137 22 10未満	12,211 817 35	1,018 133 10未満	811	,323 152 未満	6,138 211 12,244 10未満 10未満 821 10未満 10未満 35	1,015 133 10未満	2125.7% 176.2% 662.1% 107.3% 3500.0%	99.7% 100.3% 99.5% 100.0% 100.0%
101 腸管神経節細胞僅少症 102 ルピンシュタイン・テイビ症候群				5 10	0 10	10 8	10未清 10未清	商 10未満 商 10未満	17 10未 10未満 10未	満 3 満 10未済	34 10未満	36 10未満	10未満 10未満	36 10	未満	10未満 10未満 38 10未満 10未満 10未満	10未満	380.0%	94.7%
103 CFC症候群 104 コステロ症候群 105 チャージ症候群			41	3 4	5 5	5 4 5 5	10未進		47 10末 102 10末 459 10末	満 11	9 17	94 116	18 18	128 119 612	21 17	10未満 10未満 96 93 10未満 118 415 10未満 558	18 18	1920.0% 360.0% 3933.3% 600.0% 6200.0% 988.9%	97.9% 100.0% 98.3% 100.0% 98.6% 97.8%
106 クリオビリン関連周期熱症候群 107 若年性特発性関節炎			4:	3 49 4 12	9 52 3 150	5 10 2 58 428	38. 91 3,422	7 10未満 2 157	169 4,577 2	11 27 48 5,11	70 43 .8 647	309 5,558	59 751	328 5,900 1,	77 ,138	111 10末満 306 3,858 182 5,574	59 751	588.5% 113.5% 3716.0% 500.7%	101.0% 100.0% 99.7% 100.0%
108 TNF受容体関連周期性症候群 109 非典型溶血性尿毒症症候群 110 ブラウ症候群			4	8 1:	3 17 2 60	22	10未進7:	10未満	50 10末 152 10末 17 10末	満 20		122 248	28 63	142 298 58	28 81	10未満 10未満 122 81 10未満 250 10未満 10未満 50	28 63	717.6% 164.7% 416.7% 105.0%	100.0% 100.0% 99.2% 100.0%
111 先天性ミオパチー 112 マリネスコ・シェーグレン症候群			69	5 16	2 203 4 8	7	1,600	0 57 5 54	17 10* 1,847 454	3 82 1,87 86 37	79 316 73 88	1,950 360	408 93	1,964 289	434 74	10末期 10末期 50 1,740 64 1,961 444 59 361	408 92	833.3% 300.0% 966.0% 201.0% 4512.5% 1150.0%	94.0% 100.0% 99.4% 100.0% 99.7% 101.1%
113 筋ジストロフィー 114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群 115 遺伝性周期性四肢麻痺	36: A+ <= T-4	報告例医療受給者証に記載は	1,280	0 2,78	4 3,421 3 16		12,970	0 464			10未満	19,596 60	4,704 15	20,812 5, 74	,406 13	13,944 545 19,698 10未満 60	4,704 15	575.8% 137.5% 375.0% 93.8%	99.5% 100.0% 100.0% 100.0%
116 アトビー性脊髄炎 117 脊髄空洞症		版告例医療受給者証に配載は らのExcelの病名に記載してい	20	9 2: 6 2: 3 36	5 37 9 32 7 406	47 2 34 5 472	4,986 10未達 11,23	10未満	5,739 1 147 10末 12,991 4	満 41	.8 56	5,713 363 13,827	152 59 973	422	148 68 ,197	5,844 101 5,726 10未満 10未満 360 12,706 379 13,890	152 58 973	15475.7% 410.8% 1125.0% 181.3% 3421.2% 239,7%	99.8% 100.0% 100.8% 101.7% 99.5% 100.0%
118 斉髄髄膜瘤 119 アイザックス症候群	・スモン・大動脈火	- 存続性	19	9 2	1 41 7 57	. 54 7 71	14,72	4 337 6 30	16,932 4 349	31 17,75 39 34	1,096 3 74	18,120 369	1,282 85	18,445 1, 425	,484 104	16,495 392 18,200 297 34 371	1,283 86	44390.2% 3129.3% 650.9% 150.9%	99.6% 99.9% 99.5% 98.8%
120 遺伝性ジストニア 121 神経フェリチン症 122 脳表ヘモジテリン沈着症		症候群 肝炎のうちの劇症肝炎 !汁性肝硬変	24	4 3	9 56 - 1	. 2	576	10未満	19 10未		37 14	1,435 312 345	215 19	352	264 30	660 126 1,437 10未満 10未満 311 10キ満 10キ満 349	216 19	2566.1% 385.7% 31100.0% 1900.0% 336.3% 83.3%	99.9% 99.5% 100.3% 100.0%
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症 124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	·重症急性	膵炎	11	2 3	8 107 2 4 6 62	4	10未進	的 10未満	11 10未		.4 10未満	345 16 286	89 10未満 50		131 未満 72	10未満 10未満 349 10未満 10未満 16 57 10未満 286	89 10未満 49	326.2% 83.2% 400.0% 461.3% 79.0%	98.9% 100.0% 100.0% 100.0% 102.0%
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性ひまん性白質脳症 126 ペリー症候群		版告例医療登録者証に記載は らのExcelの病名に記載がない 完成世	1	3 2	5 35	3	10未清	10未満	12 10未	満 5	57 13	87 10未満	22 10未満	109	34	10未満 10未満 86 10未満 10未満 10未満	21 10未満	245.7% 60.0%	101.2% 104.8%
			-					-							-				

告示器 号 A. 指定難病名 127 前颌骨质翼变性症	2014年 医療受給者証 ○登録者証 ○登録者証	2015年度 医療受給者証+ 登録者証 医療受給者	者証 医療受給者i		018年度 医療受給者証 940			加算無	D0v2) 2016年 (B)疑い病名含+ (A)疑い加算有 加算無)疑い病名含+ (A)與		(B)疑い病名含+	2018年度NDB(I (A)疑い病名含+ 加算無 3.71(D0v2) (B)疑い病名含+ 加算有	2014年NDB(IE (A)疑い病名含+ 加算無 10末	- (B)疑い病名含- 加算有	2017年度NDB(IDO)	2014年(NDB (A)疑い病名含- 加算無		2017年度(NDB/受給者証) (A)疑い病名含+ 加算無 421.8% 86.1%	CHECK2017(ID0v2/ID0) (A)疑い病名含+ 加算無 (B)疑い病名含+ 加算有 99.8% 99.7%
128 ビッカースタッフ脳幹脳炎 129 痙攣重積型 (二相性) 急性脳症 130 先天性無痛無汗症			18 10	42 49 39 56	68 49	10未満 10未満 88	10未派 10未派 10未派	13	10未満 7 10未満 2 10未満	332 826 140	46 42 10未満	417 1,401 158	62 73	522 1,770 171		10未		満 1,406	3		853.1% 126.5% 2510.7% 130.4% 757.1% 66.7%	99.8% 100.0% 99.6% 100.0% 99.4% 92.9%
131 アレキサンダー病 132 先天性核上性球麻痺			10	15 26 2 2	30	100	10未満	4 11 10未済	1 13 10未満	113 10未満	38 10未満	125 10未満	38 10未満	132	10未満	11 10未	.2	20 126 3 10未満 10未	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		484.6% 146.2%	99.2% 100.0%
133 メビウス症候群 134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群 135 アイカルディ症候群			6	13 14 7 6	14 6	199 82 123	10未派 10未派 10未派	12	10未満	182 152 128	12 16	190 195 140	25	199 194	23	21 9	10未	満 194 2	5		1357.1% 114.3% 3233.3% 416.7% 2820.0% 420.0%	100.0% 100.0% 100.5% 100.0% 99.3% 100.0%
136 片側巨脳症 137 限局性皮質異形成			4 14	7 10 30 36	13 45	77 i 10未満	10未満	9	10未満	131	10 10未満	157 10未満	14	157		10未	'9 10未	満 155 1	4		1550.0% 140.0%	101.3% 100.0%
138 神経細胞移動異常症 139 先天性大脳白質形成不全症 140 ドラベ症候群				21 28 14 23 18 23	34 31	2,972 5,828 10未満	10未過	2 6,67	D 24 D 28 N 10未満	3,427 6,631 10未満	103 233 10未満	3,510 6,713 10未満	128 273 10未満	3,601 6,817	294	3,24 6,61 10未	.2	16 3,524 12 25 6,725 27 満 10未満 10未	3		12585.7% 457.1% 29239.1% 1187.0%	99.6% 100.0% 99.8% 100.0%
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん 142 ミオクロニー欠神てんかん			14	26 27 3 2	37 1	10未満 10未満	10未派	10未満	10未満	10未満	10未満 10未満	10未満	10未満	227 280 179	10未満	10未 10未 10未	尚 10未	満 10未満 10未	對			
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん 144 レノックス・ガストー症候群 145 ウエスト症候群			1 45	7 8 88 129 54 74	13 166	10未満 2,618 10未満	10未派	3,16	16	10未満 3,503 10未満	10未満 252 10未満	10未満 3,786 10未満	10未満 326	4,020	12 388	10未 2,72 10未	.7	消 10未消 10未 13 3,795 32			2941.9% 253.5%	99.8% 99.7%
146 大田原症候群 147 早期ミオクロニー脳症			5	6 9	95 14 7	10未満 10未満	10未派	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	1,095 47 26	10未満	10未 10未 10未	尚 10未	満 10未満 10未	9			
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん 149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群 150 環状20番染色体症候群			2	5 15 4 11	18 14	10未満 138 10未満	10未派	đ 24	10未満 3 10未満 40未満	10未満 279	10未満	10未満 273	10未満 19	10 191		10未 15	2 10未	満 272 1	9		2472.7% 172.7%	100.4% 100.0%
150 塚代20日本世界在 151 ラスムッセン脳炎 152 P C D H 19関連症候群			6 2	7 11 15 21 4 7	30 7	10未満 10未満 10未満	10未派 10未派 10未派	10未満	10未満	10未満 10未満 10未満	10未満 10未満 10未満	10未満 10未満 10未満	10未満	146 146		10未 10未 10未	肖 10未	満 10未満 10未	對			
153 難治類回部分発作重積型急性脳炎 154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症			6	11 16 10 14	32 24	10未満	10未派 10未派	前 10未済 前 10未済	10未満 10未満	10未満 10未満	10未満 10未満	10未満 10未満	10未満 10未満	31 51	13	10末	商 10未 商 10未	消 10未満 10未 消 10未満 10未	1			
155 ランドウ・クレフナー症候群 156 レット症候群 157 スタージ・ウェーバー症候群			2 19	4 4 36 50 60 74	66 72	1,129 1,720	10未派 10未派 10未派	1,21	3 10未満 10未満 16	1,239 1,870	10未満 88 71	76 1,297 1,909	10未満 116 84	1,353 1,912		1,17 1,87			-		1925.0% 2622.0% 2595.9% 234.0%	98.7% 98.9% 99.1% 99.4% 98.8%
158 結節性硬化症 159 色素性乾皮症			182 : 30	377 486 51 60	626 72	4,236 874	6i 2:	6 4,70 5 93	1 132 5 26	4,843 1,025	429 70	4,978 1,172	528 78	5,149 1,223	645	4,50 97	3	78 5,011 52 29 1,171 7	8		1031.1% 108.4% 1951.7% 130.0%	99.3% 100.2% 100.1% 100.0%
160 先天性魚鱗癬 161 家族性良性慢性天疱瘡 162 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)			36 14 724 1.1	51 58 31 41 534 2,031	68 46 2,481	71 1,002 53,770	10未達 3 1,65	1 1,15	2 37 7 44 9 2,365	7,345 1,223 72,709	207 83 5,933	9,707 1,262 77,305	92	10,035 1,309 82,834	105	1,08 60,55		1,265	2		16762.1% 439.7% 3085.4% 224.4% 3809.4% 336.3%	99.8% 98.4% 99.8% 100.0% 99.9% 99.9%
163 特発性後天性全身性無汗症 164 眼皮膚白皮症			,	99 126 6 10	179 14	10未満 386	10未満 10未満	ர் 2 ரீ 47	7 10未満 3 19	179 511	14 26	308 524	30 34	522 551	49 41	10未 43	商 10未 6 10未	満 308 満 525	0		244.4% 23.8% 5250.0% 340.0%	100.0% 100.0% 99.8% 100.0%
165 肥厚性皮膚骨膜症 166 弾性線維性仮性黄色腫 167 マルファン症候群			8 23 297	9 10 37 51 478 585	13 63 693	10未満	10未清		2 10未満 2 10未満 50	50 408	10未満 24	73 523	10未満 40 413	598 7,783	43	10未	肖 10未		1		730.0% 1031.4% 80.4% 1317.6% 71.1%	100.0% 99.4% 97.6%
168 エーラス・ダンロス症候群 169 メンケス病				84 97 	126	6,262 726 10未満	10未派	前 81 前 2	1 15 10未満	7,467 845 97	283 59 10未満	7,655 930 165	98 11	1,047	113	6,92 80 10末	0 10未 荷 10未	消 931 9 消 164 1	9		1317.6% 71.1% 959.8% 102.1%	99.3% 99.3% 99.9% 99.0% 100.6% 100.0%
170 オクシビタル・ホーン症候群 171 ウィルソン病 172 低ホスファターゼ症			223	- 1 375 510	575	10未満 12,196	10未満	前 10未済 5 16,92	10未満	10未満	10未満 1,535	10未満 22,730		10未清		10未 14,87	商 10未	消 10未消 10未 37 22,760 1,78			4462.7% 349.8%	99.9% 99.8%
173 VATER症候群 174 那須・ハコラ病			7	2 5 13 16 6 5	13 17 5	1 91 10未満 11	10未派 10未派 10未派	前 5. 前 1 [.]	3 10未満 2 10未満 4 10未満	255 12	11 29 10未満	282 323 10	24 36 10未満	406 380 10未清		10末 10末 1	.2 10未	満 325 3 満 10 10未			5660.0% 480.0% 2031.3% 225.0% 200.0%	99.6% 100.0% 99.4% 100.0% 100.0%
175 ウィーバー症候群 176 コフィン・ローリー症候群 177 ジュベール症候群関連疾患			2	3 3	4	14 10未満	10未派	前 10未済	10未満 10未満	15 35	10未満 10未満	17 49	10未満	20 56	10未満	10末	4 10未	消 17 10未 消 52 1	1		1733.3% 366.7%	100.0% 94.2% 90.9%
17/シュペール症候群関連疾患 178 モワット・ウィルソン症候群 179 ウィリアムズ症候群			7 8	1 1 14 15 23 27	15 35	16 10未満 1,109	10未派 10未派 10未派	ή 1.	1 10未満 2 10未満 9 10未満	25 51 1,326	10未満 12 52	31 69 1,410	10未満 19 75	28 84 1,511	10未満 17 100	10末 1.21		満 69 1	9		3100.0% 460.0% 126.7% 5248.1% 281.5%	100.0% 100.0% 100.0% 99.5% 98.7%
180 A T R - X症候群 181 クルーゾン症候群			5 2	8 8 7 8	6	10未満 341	10未派 10未派	前 10未済 前 41	10未満	38 442	10未満	46 436	10未満	54 469	10未満	10末i	商 10未 14 10未	満 47 10未 満 439 6	9		587.5% 5487.5% 775.0%	97.9% 99.3% 98.4%
182 アペール症候群 183 ファイファー症候群 184 アントレー・ビクスラー症候群			1	1 6 2 6	5	213 79 10未満	10未派 10未派 10未派	9	2 10未満 2 10未満 前 10未満	272 104 18	45 31 10未満	281 104	53 32 10未満	294 119 39		22 8 10未	10未	満 286 5 満 105 3	2		4766.7% 883.3% 1750.0% 533.3%	98.3% 100.0% 99.0% 100.0% 96.4%
185 コフィン・シリス症候群 186 ロスムンド・トムソン症候群			2	4 4	5	10未満	10未派	10未消	10未満	40 10未満	10未満	60 10未満	10未満	90	10	10未 10未 10未	商 10未	満 59 10未	芍		1475.0%	101.7%
187 歌舞伎症候群 188 多脾症候群 189 無脾症候群			1 11 20	4 6 17 21	7 25	10未満 844 10未満	10未派 10未派 10未派	前 10 前 97	3 10未満 16	419 1,000 317	31 95 44	515 1,098 448	54 111	1,120 531	52	10末 91 10末	.0 10未	満 514 5	4		8566.7% 900.0% 5242.9% 519.0% 988.9% 195.6%	100.2% 100.0% 99.7% 101.8% 100.7% 102.3%
109 続日 100 続日 100 続日 100 続日 100 10			1 47	29 45 1 6 71 95	6 97	10未満	10未派	10未消	10未満	36 227	10未満	62 221	10未満	88	10未満	10未 10未 22	商 10未	満 62 10未	5 問 1		1033.3% 233.7% 64.2%	100.7% 102.3% 100.0% 99.5% 100.0%
192 コケイン症候群 193 プラダー・ウィリ症候群 194 ソトス症候群			73	3 4 101 120	5 145	52 2,419	10未満	6 9 2,69	5 10未満 7 190	74 2,726 1,228	16 542	73 2,789	19 578	2,875	15 600	2,56	i4 10未 i8	消 73 1 98 2,828 58	9		1825.0% 475.0% 2356.7% 484.2%	100.0% 100.0% 98.6% 99.5%
195 ヌーナン症候群 196 ヤング・シンプソン症候群			18	22 35	38	. 1,056 1,046 10未満	10未派	1,19	52	1,228 1,216 11	97 10未満	1,265 1,315 21		1,292 1,545 27	155	1,14 1,13 10末	13	16 1,326 11	9		15962.5% 650.0% 3788.6% 340.0%	99.1% 100.0% 99.2% 100.0% 100.0%
197 1p36欠失症候群 198 4p欠失症候群 199 5p欠失症候群			1 3	5 4 3 3	7 1	10未満 10未満 10未満	10未派	3	10未満 10未満 10未満	50 154 243	10未満 18 10未満	69 187 299	17 23	10: 222 332	. 15 ! 35	10未	荷 10未 荷 10未	満 69 1	7		1725.0% 425.0% 6266.7% 766.7%	100.0% 100.0% 99.5% 100.0%
200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群 201 アンジェルマン症候群			3	1 1 18 20	4 21	10未満 10未満 805	10未派 10未派 10未派	10未消	3 10未満 1 10未満 7 10未満	243 20 961	10未満 38	269 1,012	10未満 66	33, 31,070	10未満	10未 10未 84	商 10未	満 28 10未	3 有 7		2800.0% 5120.0% 335.0%	99.7% 100.0% 92.9% 98.8% 98.5%
202 スミス・マギニス症候群 203 22q11.2欠失症候群 204 エマヌエル症候群			17	32 36	49	10未満	10未満	1,13	10未満	53 1,316	10未満	77 1,565	10未満	98 1,720	10	10未 90	10未	満 77 10未 満 1,572 18	0		4366.7% 500.0%	100.0% 99.6% 100.0%
205 脆弱 X 症候群関連疾患 205 脆弱 X 症候群関連疾患 206 脆弱 X 症候群 207 総動脈幹・選残症			- 2	4 4 	3 3 2	10未満 10未満 179	10未派 10未派 10未派	10未消		12 221	10未満 10未満 10未満	34 314	10未満 10未満 10未満	7:	10未満 10未満 10未満	10末 10末 20	商 10未	満 35 10未	5		1275.0% 7850.0%	98.0% 97.1% 100.0%
207 総動脈幹遺残症 208 修正大血管転位症 209 完全大血管転位症			6 36	13 18 64 94	19 117	505 2,006 3,470	10未満	前 57 前 2,17	10未満	576 2,232	56 148 241	613 2,312	62 196	2,332	202	52 2,16	0	満 618 6 10 2,329 19	2		3433.3% 344.4% 2477.7% 208.5%	99.2% 100.0% 99.3% 100.0%
209 元主大皿管球位班 210 単心室症 211 左心低形成症候群			71	77 104 134 173 8 16	138 236 18	3,470 3,138 1,114	1 1 10未派	7 3,35	32	4,180 3,448 1,399	373 231	4,374 3,483 1,480	447	4,563 3,535 1,582	458	3,82 3,32 1,18	19	19 3,499 44	6		4229.8% 312.5% 2022.5% 257.8% 9287.5% 1412.5%	99.4% 99.7% 99.5% 100.2% 99.6% 100.0%
212 三尖弁閉鎖症 213 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症			17	64 91 42 58	113 76	3,874	70未満	0 4,32	1 108 10未満	4,534 74	300	4,558 132	334 19	4,928 199	329 36	4,29 10末)3 萬 10未	78 4,590 33 満 133 1	4		5044.0% 367.0% 229.3% 32.8%	99.3% 100.0% 99.2% 100.0%
214 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症 215 ファロー四徴症 216 両大血管右室起始症			123	39 50 237 332 70 95	66 417 133	10未満 14,060 5,018	10未派 4 2	1 15,92	3 74	265 16,225 5,941	39 847 571	452 16,599 6,173	1,061	16,853 6.425	1,177	10末 15,55 5,41	i6 4	消 452 7 48 16,688 1,05 21 6,215 67			904.0% 146.0% 5026.5% 319.0% 6542.1% 710.5%	100.0% 100.0% 99.5% 100.2% 99.3% 100.0%
217 エブスタイン病 218 アルボート症候群			22	41 64 79 107	79 137	1 10未満 1,409	10未満	前 34 1 1,66	1 10未満 19	1,522 1,764	70 106	1,901 1,905	97 130	2,141	109	10末 1,51	商 10未 1	消 1,911 9 12 1,917 13	6 1		2985.9% 150.0% 1791.6% 122.4%	99.5% 101.0% 99.4% 99.2%
219 ギャロウェイ・モワト症候群 220 急速進行性糸球体腎炎 221 抗糸球体基底膜腎炎				 372 549 84 134	737 189	10未満 199,433 10未満	10未派	4 270,29	20,903	10未満 284,497	10未満 27,003 345	301,883	29,988		31,126	10未 246,49 10未	19,2	52 302,033 30,00	4		55015.1% 5465.2%	108.3% 100.0% 99.9% 100.0% 100.0%
222 一次性ネフローゼ症候群 223 一次性膜性増殖性糸球体腎炎			2,690 5,8	802 7,700 95 153	8,798 237	285,849 5,061	16,10 14	341,00	19,432	6,138 351,416 6,229	29,106 524	10,545 367,213 6,678	32,467 594	382,640 6,836	34,020 670	322,23 5,50	15 17,79 18 10	98 367,827 32,49	2		7867.2% 505.2% 4777.0% 422.0% 4375.2% 387.6%	99.8% 99.9% 99.8% 100.2%
224 紫斑病性腎炎 225 先天性腎性尿崩症 226 間質性膀胱炎 (ハンナ型)			12	353 500 22 29	672 33	12,940	12年	9 16,08	5 220 10未満	16,145 32	709 10未満	15,921 55	932 10未満		1,001	14,78 10未	10 南 10未	49 15,953 93 満 55 10未	3		3190.6% 186.6% 189.7%	99.8% 99.9% 100.0%
226 間興任時所次 (ハンデ星) 227 オスラー病 228 開塞性細気管支炎				474 542 330 445 13 18	539 24	10未満 1,097 3,037	10未派 2 13	1 1,49 3 3,66	2 10未満 2 46 4 141	595 1,694 3,865	275 163 264	917 1,829 3,874	384 265 315	1,144 2,069 3,729	357	10未 1,21 3,39	.1	23 1,848 26	5		169.4% 70.8% 415.3% 59.6% 21583.3% 1744.4%	99.9% 100.0% 99.0% 100.0% 99.7% 100.3%
229 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 230 肺胞低換気症候群			52 14	100 120 35 48	148 72	2,339 22,145 10未満	5,33	4 3,05 2 26,75	7 128	3,288 29,258	247 9,886	3,416 31,320	272 10,937	3,683 33,533	307 11,605	2,81	.0 5,70	34 3,421 27 59 31,413 10,94	2		2850.8% 226.7% 65443.8% 22804.2%	99.9% 100.0% 99.7% 99.9%
231 a 1 - アンチトリプシン欠乏症 232 カーニー複合 233 ウォルフラム症候群			6	4 8 14 16 3 4	11 16	10未満	10未派 10未派 10未派	10未消		336 24	24 10 10未満	414 37	24 12 10未満	428	16 21 10未満	10未 10未		満 38 1	2		5175.0% 300.0% 237.5% 75.0% 450.0%	100.0% 100.0% 97.4% 100.0% 100.0%
234 ベルオキシソーム病 (副腎白質ジストロフィーを除く。) 235 副甲状腺機能低下症				- 1 134 167	1 206	. 87 85,580	10未派 2,23	1 108,35	10未満 1 2,974	102 116,893	10未満 4,231	78 125,819		109 135,377	12 5,241	10 97,57	11 10未 7 2,60	満 79 10末 56 126,025 4,75	 5		7900.0% 75464.1% 2847.3%	98.7% 99.8% 100.1%
236 偽性副甲状腺機能低下症 237 副腎皮質刺激ホルモン不応症 238 ピタミンD抵抗性〈る病/骨軟化症			1	74 77 2 8 100 133	85 10	3,615	10 10未派 21	19		4,314 206 19,073	210 15	4,359 218 20,739	17	4,648 313 21,667	38	4,31 10末 20,21	商 10未	満 217 1	8		5677.9% 353.2% 2712.5% 225.0% 15608.3% 724.1%	99.7% 99.3% 100.5% 94.4% 99.9% 99.6%
239 ビタミンD依存性くる病/骨軟化症 240 フェニルケトン尿症			2	5 3 153 181	5 209	17,471 1,550 678	5.	2 2,62	105	4,084 807	791 274 97	20,739 4,834 822	124	6,406	357 179	1,78	19 15 10未	50 4,845 30 満 822 12	4		161500.0% 10033.3% 454.1% 68.5%	99.8% 100.7% 100.0% 100.0%
241 高チロシン血症 1型 242 高チロシン血症 2型 243 高チロシン血症 3型			-	1 2	-	10未満 10未満 10未満	10未派	10未満	10未満	15 10未満 10未満	10未満 10未満 10未満	17 10未満 10未満	10未満	28	10未満 10未満	10未 10未 10未	商 10未	満 17 10未 満 10未満 10未	ij		850.0%	100.0%
244 メーブルシロップ尿症 245 プロピオン酸血症			4 2	6 5 8 7	11 9	10未満 122 1,396	10未派		10未満	10未満 157 1,161	10未満 11 93	10未満 139 1,049	11	156 963	15 109	10 x 1 13 1,52	10未		1		2780.0% 220.0% 15128.6% 1557.1%	100.0% 100.0% 99.1% 100.0%
246 メチルマロン酸血症 247 イソ吉草酸血症 248 グルコーストランスボーター 1 欠損症			1	13 15 2 3	21	794	10未派	1 77 6 6	7 12 5 10未満	737 59	61 10未満	623 59	66 10未満	638	73 10未満	87	75 3 10未	13 625 6 満 59 10末	6		4166.7% 440.0% 1966.7%	99.7% 100.0% 100.0%
249 グルタル酸血症 1 型 250 グルタル酸血症 2 型			1	0 6 2 2 3 4	8 2 4	10未満 40 31	10未派 10未派 10未派	7.	3 10未満 3 10未満 3 10未満	86 77 57	10 10未満 10未満	125 67 54	10未満		10未満	10未		満 67 10未			2083.3% 316.7% 3350.0% 1350.0%	100.0% 100.0% 100.0% 100.0%
251 尿素サイクル異常症 252 リジン尿性蛋白不耐症			34 15	50 62 18 21	74 22	1,388	12:	2 1,80 前 7	7 168 1 11	1,891	350 21	2,356	366 24	2,998	400	1,67	77 14 64 10未	#1 2,360 36 満 83 2	5		3806.5% 587.1% 395.2% 119.0%	99.8% 100.5% 98.8% 96.0%
253 先天性葉酸吸収不全 254 ポルフィリン症 255 複合カルボキシラーゼ欠損症			21 1	35 32 3 7	37 2	16 1,680	10未派 4 10未派	7 2,03	9 10未満 6 65 9 10未満	24 2,016 37	10未満 95 10未満	52 1,813 52	10未満 92 10未満	1,759 47	10未満 10未満 104	1,94	10 13 2 10未	55 1,817 9	2	1	5678.1% 287.5% 2600.0%	102.0% 99.8% 100.0% 100.0%
256 筋型糖原病 257 肝型糖原病			5 38	13 19 60 76	21 83	799 341	4: 10未派	3 80 前 41	3 49 10未満	925 450	102 77	798 466	127 79	781 507	132	93	17 10未	47 801 12 満 470 7	9		4215.8% 673.7% 618.4% 103.9%	99.6% 99.2% 99.1% 100.0%
258 ガラクトース - 1 - リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症			-	- 1	-	10未満	10未満	10未派	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未清	10未満	10末	商 10未	消 10未満 10未	9			

分担 資料 1

	2014年	2015年度 2016年度 2017年度	2018年度	2014年NDB(ID0v2)	2015年度NDB(7年度NDB(I		2018年度NDB(ID0		2014年NDB(ID		2017年度NDB(ID0)	2014年 (NDB/		CHECK2017(ID0v2/ID0)
告示番		医療受給者証+					病名含+ (B)疑い病名含+ (A)頻							(A)疑い病名含+ (B)疑い病名含+		(B)疑い病名含+ (A)疑い病名含+ (B)疑い病名含+	(A)疑い病名含+ (B)疑い病名含+
号 A. 指定難病名	医療受給者証 登録者証	登録者証 医療受給者証 医療受給者証 医療受給者	者証 医療受給者証	加算無加算有	加算無	加算有 加算無	加算有	,,,,	WHAT LA	DHFT/III	加算有	加算無	7949-119	加算無加算有	加算無	加算有 加算無 加算有	加算無加算有
259 レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症 260 シトステロール血症		2 2	2 3		未満 10未 未満 10未		10未満 10未満 10未満 10未満	10未満			10未満	10未済					
		4 /	8 11		未満 10未 未満 2	10未満	10未満 10未満 48 10未満	10木油	10未満		10未満	10未7	10未満			1166.7%	100.0%
261 タンジール病 262 原発性高カイロミクロン血症		7 14	15 18		未満 10未		10未満 10未満	10未満			10未満	10未満				1100.776	100.0%
263 脳腱黄色腫症		14 30	36 41	120	13 13	6 20	207 29	152	32	145	40	13	1 17	152 32		422.2% 88.9%	100.0% 100.0%
264 無βリボタンパク血症		- 2	1 1	124 10	未満 13	7 10未満	128 10未満	130	10未満		10未満	13	4 10未満	131 10未満		13100.0%	99.2%
265 脂肪萎縮症		15 23	22 24	214	18 24		376 31	380	29	335	33	24		379 30		1722.7% 136.4%	100.3% 96.7%
266 家族性地中海熱 267 高IqD症候群		38 106	175 267	1,064	67 1,45	6 122	2,118 280	2,926		3,675	726	1,17		2,942 516		1681.1% 294.9%	99.5% 100.0%
267 同IgD症候群 268 中條·西村症候群		1 1	1 1		未満 34 未満 10未	月 23 南 10未満	479 39 10未満 10未満	659	10未満	/2/	10未満	10未済	7 10未満			65900.0% 3500.0% 240.0%	100.0% 100.0% 100.0%
269 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群		6 5	5 6		未満 10未 未満 10未		10未満 10未満 10未満	15		14	10未満	10未済				233.3%	107.1%
270 慢性再発性多発性骨髓炎		6 13	30 39		未満	5 10未満	117 15	164		215	39	10未済				543.3% 80.0%	100.6% 100.0%
271 強直性脊椎炎		947 1,913	2,516 3,064		572 14,72	16 931	15,828 2,157	17,201	2,643		3,156	12,76	6 654	17,234 2,651		685.0% 105.4%	99.8% 99.7%
272 進行性骨化性線維異形成症		8 12	17 22	2 85 10	未満 10	10未満	99 10未満	98	11	110	14	9	1 10未満	98 11		576.5% 64.7%	100.0% 100.0%
273 肋骨異常を伴う先天性側弯症 274 骨形成不全症		8 11	19 23		未満 1	7 10未満	88 10未満	163	10未満		11	10未済				857.9%	100.0%
2/4 背形成小笠症 275 タナトフォリック骨異形成症		26 47	61 73	4,909	55 5,46		5,696 305 79 10	5,892	362	6,540	337	5,62		3,303		9686.9% 591.8%	99.7% 100.3%
276 軟骨無形成症		3 4	2 4	3 2,971	未満 6 39 3,41		3,541 292	3,567	13	3,576	200	3,27	6 10未満			4100.0% 650.0% 6376.8% 523.2%	100.0% 100.0% 99.9% 100.3%
277 リンパ管腫症/ゴーハム病		16 25	30 36	5 10未満 10	未満	7 10未満	251 15	3,307		432	38	10未済				1310.0% 100.0%	100.0% 100.0%
278 巨大リンパ管奇形 (頚部顔面病変)		4 5	4 9		未満 10未		22 10未満	43	10未満	64	11	10未満				1075.0%	100.0%
279 巨大静脈奇形(頚部口腔咽頭びまん性病変)		8 21	29 33	10未満 10	未満 10未	尚 10未満	18 10未満	31	. 10	46	11	10未消	10未満	31 10		106.9% 34.5%	100.0% 100.0%
280 巨大動静脈奇形 (頚部顔面又は四肢病変)		41 56	69 84	10未満 10	未満 2	10未満	132 15	196		270	40	10未満	10未満	196 28		284.1% 40.6%	100.0% 100.0%
281 クリッベル・トレノネー・ウェーバー症候群 282 先天性赤血球形成異常性貧血		78 152	186 180		未満 69		733 52	835		915	117	66				448.9% 45.7%	100.0% 102.4%
282 先天性赤血球形成異常性貧血 283 後天性赤芽球療		3 3	3 5	38 10	未満 5	10未満	52 10未満	62	10未満	69	10未満	4	1 10未満	62 10未満	-	2066.7%	100.0%
283 俊大性亦牙球房 284 ダイアモンド・ブラックファン貧血		16/ 314	12 15	162	20 19	19 62	504 148 178 42	171	231	186	306	30	1 21	591 233 171 48	-	135.9% 53.6% 1425.0% 400.0%	99.5% 99.1% 100.0% 100.0%
285 ファンコニ貧血		1 10	13 10	148	34 18	15 65	187 66	194	76	193	64	16	3 39	194 76		1423.0% 400.0%	100.0% 100.0%
286 遺伝性鉄芽球性貧血		2 3	9 9		未満 5	64 10未満	57 10未満	51	10未満	68	10未満	5	2 10未満			566.7%	100.0%
287 エブスタイン症候群		1 3	3 6	10未満 10	未満 1	.6 10未満	76 10未満	128	10	149	10未満	10未済				4266.7% 333.3%	100.0% 100.0%
288 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 289 クロンカイト・カナダ症候群		- 5	122 205	930	49 1,36		1,569 128	1,631		2,045	283	1,08		1,635 170		1340.2% 139.3%	99.8% 100.6%
290 非特異性多発性小腸潰瘍症		52 86 26 49	108 150	500	15	-	409 89	479		529	161 157	31 64				446.3% 120.4%	99.4% 99.2%
291 ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)		20 49	9 11		117 72 未満 1	.7 102	665 145 63 11	699	140	716 112	20	10未済				1075.4% 223.1% 933.3% 177.8%	100.0% 100.7% 100.0% 106.3%
292 総排泄腔外反症		2 10	10 12	193 10	未満 21		238 16	252	23	268	22	20				2510.0% 220.0%	100.4% 104.5%
293 総排泄腔遺残		15 21	25 29	521 10	未満 57		580 36	609		661	57	55				2448.0% 208.0%	99.5% 100.0%
294 先天性横隔膜ヘルニア		1 2	4 5		未満 1,44		1,504 57	1,548	,	1,618	64	1,35				38725.0% 1325.0%	99.9% 101.9%
295 乳幼児肝巨大血管腫		- 1	1 1		未満 10未		10未満 10未満	10未満		10未満	10未満	10未済					
296 胆道閉鎖症 297 アラジール症候群		107 172	227 26:	6,630	33 7,12 未満 41		6,204 435 405 47	6,031		6,338 421	566	7,63	5 10未満	6,055 473 401 45		2667.4% 208.4% 1822.7% 204.5%	99.6% 100.2% 101.2% 106.7%
298 遺伝性膵炎		4 17	19 21		未満	.6 10未満	50 10未満	81	1	85	24	10未済				431.6% 105.3%	98.8% 100.0%
299 嚢胞性線維症		7 10	11 11	1,437	19 2,13		1,778 57	1,251		827	42	1,72		1,251 47		11372.7% 427.3%	100.0% 100.0%
300 I g G 4 関連疾患		521 1,035	1,428 1,886		.778 103,97	8 5,595	126,671 8,817	146,950	10,747	169,247	12,696	67,24	7 3,371	147,123 10,741		10302.7% 752.2%	99.9% 100.1%
301 黄斑ジストロフィー 302 レーベル遺伝件視神経症		26 71	97 131	7,603	208 10,16	4 295	10,909 385	11,791	. 486	12,891	601	8,71	2 248	11,814 484		12179.4% 499.0%	99.8% 100.4%
302 レーベル通伝任例・中柱征 303 アッシャー症候群		28 48	63 82	335	21 48	1 39	5/2 51	555	5/	/03	66	3/	0 21	556 57		882.5% 90.5% 1350.0% 350.0%	99.8% 100.0% 100.0% 100.0%
304 若年発症型両側性感音難聴		3 8	11 15	3 10未満 10	未満 10未	.1 29 苗 10未満	10未満 10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未済	30未満	10未満 10未満		1350.0% 350.0%	100.0% 100.0%
305 遅発性内リンパ水腫		8 20	21 23		未満 41	.0 10未満	1,323 18	1,760	37	2,213	37	10未満				8385.7% 176.2%	99.9% 100.0%
306 好酸球性副鼻腔炎		1,369 3,422	4,978 6,967	10,810	98 17,38	34 266	23,625 1,881	30,089	3,059	37,369	4,495	11,97		30,159 3,054		605.8% 61.3%	99.8% 100.2%
307 カナバン病			2 1		未満 10未		10未満 10未満	10未満		10未満	10未満	10未済					
308 進行性白質脳症			1 6		未満 10未		10未満 10未満	15	10未満	157	27	10未済				1500.0%	100.0%
309 進行性ミオクローヌスてんかん 310 先天異常症候群			6 19	9 450	70 44		456 96	484	93	610	106	48		100		8133.3% 1566.7%	99.2% 98.9%
311 先天性三尖弁狭窄症			7 10		未満 63 未満 13		665 20 133 10未満	134	10未満	1,143 129	10未満	12				10100.0% 528.6% 6800.0%	99.7% 100.0% 98.5%
312 先天性僧帽弁狭窄症			1 4	409 10	未満 44		498 44	531		561	51	44				53300.0% 3900.0%	99.6% 100.0%
313 先天性肺静脈狭窄症			1 1	10未満 10	未満 10未	商 10未満	10未満 10未満	10未満	10未満	30	10未満	10未済	10未満	10未満 10未満		3500.070	220.070
314 左肺動脈右肺動脈起始症			- 1	10未満 10	未満 10未		10未満 10未満	10未満			10未満	10未済					
315 ネイルバテラ症候群 (爪膝蓋骨症候群) / LMX1B関 316 カルニチン回路異常症	連腎症		5 6		未満 11		114 10未満	114			10未満	11-				2320.0%	98.3%
316 カルニナン四路共帯派 317 三頭酵素欠損症			5 9		未満 19 未満 10未		201 13	260		744	5/	15				5180.0% 380.0%	100.4% 100.0%
318 シトリン欠損症			26 34		未満 10未 未満 12		10未満 10未満 458 14	10未満		741	10未満	10未済				2476.9% 92.3%	99.2% 100.0%
319 セピアプテリン還元酵素 (SR) 欠損症			- 2		未満 10未		10未満 10未満	10未満		10未満	10未満	10未済				21701370 321370	331270 1001070
320 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール (GPI) 欠損:	症		- 1		未満 10未		10未満 10未満	10未満			10未満	10未満					
321 非ケトーシス型高グリシン血症			- 1		未満 4	8 10未満	50 10未満	47		51	10未満	4					100.0%
322 βケトチオラ-ゼ欠損症 323 芳香族 L -アミノ酸脱炭酸酵素欠損症					未満 10未		10未満 10未満	10未満			10未満	10未済					
323 万省族 L-アン 酸配灰酸醇茶火損症 324 メチルグルタコン酸尿症		 	1 1		未満 10未 未満 1	商 10未満 .6 10未満	10未満 10未満 10未満	10未満	10未満		10未満 10未満	10未済	10未満 7 10未満		-	1300.0%	100.0%
325 遺伝性自己炎症疾患			3 4		未満 10未		10未満 10未満	10未満			10未満	10未済				1300.0%	100.0%
326 大理石骨病			8 12		未満 27	9 10未満	267 10未満	261		288	16	27	1 10未満			3275.0% 175.0%	99.6% 100.0%
327 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)			40 83	10未満 10	未満 10未	商 10未満	10未満 10未満	15	10未満	121	27	10未済	10未満	14 10未満		35.0%	107.1%
328 前眼部形成異常			4 6	5 10未満 10	未満 10未		10未満 10未満	10未満		32	10未満	10未済	10未満				
329 無虹彩症 330 先天性気管挟窄症/先天性声門下狭窄症			27 79	997	11 1,15 未満 1.25		1,162 17	1,214	29	1,274	30	1,07	6 11	1,219 29	-	4514.8% 107.4%	99.6% 100.0%
331 特発性多中心性キャッスルマン病			2 6		未満 1,25 未満 10未	6 10未満	1,28/ 125	1,388	155	1,4/1	10未満	1,16		1,391 153 10未満	-	27820.0% 3060.0%	99.8% 101.3%
332 膠様滴状角膜ジストロフィー			837	885	21 1.10		1,205 34	1,345		1,597	42	97		1,348 34		 	99.8% 100.0%
333 ハッチンソン・ギルフォード症候群				81 10	未満 8	2 10未満	86 10未満	87	17	89	15	9	3 10未満	88 17			98.9% 100.0%
				• •							_					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

示番 号	€患マスター A. 指定難病名	B. 告示病名以外の指定難病対象疾病名	ICD-10-1 ICD-10-2	2 病名交換 用コード	名コード レセプト傷病名マスター	疑義フラグ	コード付与に関するの備考(類似病名あるがBと同一か決めきれない例か	ここは見て!	備考
0全333疾息1球脊髄性		球脊髄性筋萎縮症	G121	DCPR	8832469 球脊髄性筋萎縮症				
1 球脊髄性 2 筋萎縮性		ケネディー病 筋萎縮性側索硬化症	G122	DCPR FLAA	3352007 筋萎縮性側索硬化症	(類似)病名あるが病名マ	Kennedy-Alter-Sung症候群=ケネディー病と思われる。		
2	菱縮症	脊髄性筋萎縮症	G122	SG44	8835990 脊髄性筋萎縮症				
3 脊髄性筋	万萎縮症 7.基络点	脊髄性筋萎縮症I型:重症型、急性乳児型、ウェルドニッヒ・ホ 脊髄性筋萎縮症Ⅱ型:中間型、慢性乳児型、デュボビッツ病	G120	KLR1	8846173 脊髄性筋萎縮症I型 8846174 脊髄性筋萎縮症II型				
 3 脊髄性筋 3 脊髄性筋] 委帕亚] 萎縮症	骨髄性筋萎縮症II型:甲间型、慢性孔光型、アユバロツフ病 脊髄性筋萎縮症III型:軽症型、慢性型、クーゲルベルグ・ウェ	G121		8846174				
3 脊髄性筋	5 萎縮症	脊髄性筋萎縮症IV型	G121	KEK3	8845973 脊髄性筋萎縮症IV型				
 4 原発性側 5 進行性核 		原発性側索硬化症 進行性核上性麻痺	G122 G231		3352008 原発性側索硬化症 3318005 進行性核上性麻痺				
6 パーキン	ソン病	パーキンソン病	G20	P3JV	3320002 パーキンソン病				
7 大脳皮質 8 ハンチン		大脳皮質基底核変性症 ハンチントン病	G238 G10		8841403 大脳皮質基底核変性症 8843948 ハンチントン病				
8 ハンチン		スプランドン MA	G10	MHA2	8846154 若年型ハンチントン病				
 神経有刺 神経有刺 		神経有棘赤血球症 Mcleod症候群	E786 G26 E786 G26		8848266 神経有棘赤血球症				
		MCIGOG症候群 シャルコー・マリー・トゥース病	E786 G26 G600		8848306 マクラウド症候群 8834519 シャルコー・マリー・トゥース病				
		脱髄型シャルコー・マリー・トゥース病	G600				シャルコー・マリー・トゥース病		
		軸索型シャルコー・マリー・トゥース病 中間型シャルコー・マリー・トゥース病	G600 G600				シャルコー・マリー・トゥース病 シャルコー・マリー・トゥース病		
11 重症筋無	力症	重症筋無力症	G700		3580006 重症筋無力症	7507 5 11 - 750 11 - 7 5 751 11	V (V) V V V V V V V V V V V V V V V V V		
12		<u>先天性筋無力症候群</u> 先天性筋無力症候群	G702 G702	LH9M LH9M	8848366 先天性筋無力症候群 3589011 先天性筋無緊張症				
12 先天性筋	無力症候群	終板アセチルコリン受容体欠損症	G702	LITION	2000011 プレス(正別) 無条 派派	親病名に統合の可能性			
12 先天性筋		スローチャンネル症候群	G702	1 -			先天性筋無力症候群		
12 先天性節 12 先天性節		ナトリウムチャンネル筋無力症 終板アセチルコリンエステラーゼ欠損症	G702			親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	先天性筋無力症候群 先天性筋無力症候群		
12 先天性筋	5無力症候群 :	発作性無呼吸を伴う先天性筋無力症	G702	0.450	0.400.00F A 78-HTT II	親病名に統合の可能性	先天性筋無力症候群		
		多発性硬化症 視神経脊髄炎	G35 G360		3409005 多発性硬化症 3410003 視神経脊髄炎				
13 多発性硬	化症/視神経脊髄炎	視神経脊髄炎	G360	VLS4	8846138 視神経脊髄型多発性硬化症				
		デビック病 再発寛解型多発性硬化症	G360	VLS4		親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性			
		一次性進行型多発性硬化症	G360			親病名に統合の可能性	多発性硬化症		
		二次性進行型多発性硬化症	G360	0550	2011000	親病名に統合の可能性	多発性硬化症		
13 多発性領 3A 多発性弱		バロー病 急性多発性硬化症	G375 G35		8844908 バロー病 8832406 急性多発性硬化症				
3A 多発性碩	化症	脊髄多発性硬化症	G35	BV7U	8835995 脊髓多発性硬化症				
3A 多発性弱3A 多発性弱		脳幹多発性硬化症 無症候性多発性硬化症	G35 G35		8838689 脳幹多発性硬化症 8840486 無症候性多発性硬化症				
3A 多発性硬		多発性硬化症	G35		3409005 多発性硬化症				
3B 視神経費		児神経脊髄炎 児神経脊髄炎	G360		3410003 視神経脊髄炎				
3B 視神経費 14 慢性炎症		<u>挸神経脊髄炎</u> 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	G360 G618		8846138 視神経脊髄型多発性硬化症 8841670 慢性炎症性脱髄性多発神経炎				
14 慢性炎症	性脱髄性多発神経炎/多巣	多巣性運動ニューロパチー	G618	NBKL	8841400 多巣性運動ニューロパチー				
15 封入体的 16 クロウ・3		封入体筋炎 クロウ・深瀬症候群	M332 C902		7104007 封入体筋炎 8832852 クロウ・深瀬症候群				
16 クロウ・浮	R瀬症候群 I	POEMS症候群	C902		8847152 POEMS症候群				
16 クロウ・2 16 クロウ・2		高月病 PEP症候群	C902	DHVH		親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	クロウ・深瀬症候群haPOEMS症候群、高月病、PEP症候群などの名称で クロウ・深瀬症候群haPOEMS症候群、高月病、PEP症候群などの名称で		
17 多系統勢		PCP症候研 多系統萎縮症	G903	JSVC	8843934 多系統萎縮症	税例石に献占の可能性	プログ・木瀬延咲群NaPOEMS延候群、同月柄、PEP延候群などの右称で	ן	
17 多系統萎	4± ±	オリーブ橋小脳萎縮症	G238		8831003 オリーブ橋小脳萎縮症				
17 多糸統姜 17 多系統萎		線条体黒筫変性症 シャイ・ドレーガー症候群	G232 G903		8836114 線条体黒質変性症 3330003 シャイ・ドレーガー症候群				
17 多系統萎	縮症	MSA-C	G903	o ai ii c	2 (1 1 2)3 MEIX41		小脳性運動失調が目立つタイプはMSA-C		
17 多系統萎 10 容驗小服		MSA-P 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	G903 G319	CM11	8835986 脊髄小脳変性症	親病名に統合の可能性	錐体外路障害(パーキンソン症状)が目立つ場合は、MSA-P		
	変性症(多系統萎縮症を除く。)		G319	CIVITI	0833500 有他小脑炎 土症	親病名に統合の可能性	遺伝歴のない脊髄小脳変性症(多系統萎縮症とかオリーブ橋小脳萎縮症	 といわれます);	l が最も多く、約2/3を占めます。1/3は遺伝性の脊
	(変性症(多系統萎縮症を除く。)		G319				孤発性のものの大多数は多系統萎縮症		
	道変性症(多系統萎縮症を除く。) 対変性症(多系統萎縮症を除く。)		G319 G319				小脳症状のみがめだつもの(純粋小脳型) 症状が目立つもの(多系統障害型)に大別される		
18 脊髄小脳	変性症(多系統萎縮症を除く。)	纯粋型脊髄小脳変性症	G319			親病名に統合の可能性	臨床的に痙性対麻痺を主症候とする病型(純粋型)		
<u>18 脊髄小脳</u> 19 ライソゾ-	<u>4変性症(多系統萎縮症を除く。)</u> −ム病	複合型脊髄小脳変性症 ライソゾーム病	G319	 		親病名に統合の可能性	他の系統障害の症候を伴う病型(複合型)	親病名だが 10	 D10も病名コードもない。
19 ライソゾー	-ム病 :	ゴーシェ病	E752		2727004 ゴーシェ病			1267F3 - 11 / 2/3 - 1 1C	
19 ライソゾ - 19 ライソゾ-		ニーマン・ピック病A型 ニーマン・ピック病B型	E752 E752		8846198 ニーマン・ピック病A型 8846199 ニーマン・ピック病B型				
19 ライソゾ- 19 ライソゾ-	-ム病 .	ニーマン・ピック病C型	E752	KBC7	8846200 ニーマン・ピック病C型				
19 ライソゾ-	-ム病	GM1ガングリオシドーシス	E751		8830079 GM1ガングリオシドーシス				
19 ライソゾ- 19 ライソゾ-		GM2ガングリオシドーシス1型 GM2ガングリオシドーシス2型	E750 E750		8830081 GM2ガングリオシドーシス1型 8830082 GM2ガングリオシドーシス2型				
19 ライソゾー	-ム病 (GM2ガングリオシドーシスAB型					同一と認定できる類似病名がない	GM2にされない	のか?GM2アクチベーターの欠損はAB型GM2
19 ライソゾ - 19 ライソゾ-	- ム病	クラッベ病 異染性白質ジストロフィー	E752 E752		3300002 クラッベ病 8830484 異染性白質ジストロフィー				
19 ライソゾ- 19 ライソゾ-		共衆性ロ貝ンストロフィー ファーバー病(Farber病)	E752		8846212 ファーバー病				
19 ライソゾー	-ム病 .	ムコ多糖症I型(Hurler/Scheie症候群)	E760	L9Q8	8846225 ムコ多糖症I型				
19 ライソゾ- 19 ライソゾ-		ムコ多糖症II型(Hunter症候群) ムコ多糖症III型(Sanfilippo症候群)	E761 E762		8846226 ムコ多糖症II型 8846227 ムコ多糖症III型				
19 ライソゾー	-ム病 .	ムコ多糖症IV型(Morquio症候群)	E762	RDFQ	8846228 ムコ多糖症IV型				
19 ライソゾ- 19 ライソゾ-		ムコ多糖症VI型(Maroteux-Lamy症候群) ムコ多糖症VII型(Sly病)	E762		8846229 ムコ多糖症VI型 8846230 ムコ多糖症VII型				
19 ライソゾ- 19 ライソゾ-		ムコ多糖症IX型(ヒアルロニダーゼ欠損症)	E768	LLWZ	ロータ情ル VII主		同一と認定できる類似病名がない	新規病名と思わ	l oれる。ICD-10があるが、病名コードはない。型!
19 ライソゾー	-ム病	シアリドーシス	E771		8842242 シアリドーシス				
19 ライソゾ- 19 ライソゾ-	-ム病 -ム病	ガラクトシアリドーシス ムコリピドーシス I 型	E751		8831888 ガラクトシアリドーシス 8830106		 病名交換コードが「I細胞病」と同じ、I細胞病の病名コードを入:	ICD-10がある+	 が、病名コードはない。ムコリピドーシス ケラリト
19 ライソゾ-	-ム病 .	ムコリピドーシスⅢ型	E770		8840477 ムコリピドーシス3型				
19 ライソゾー		α-マンノシドーシス 0 - マンノジドーシス	E771	11000	0046025 0 - 72 12 15 2 7		「マンノシドーシス」であれば病名コードあるが確定できない	ICD-10があるか	\vec{N} 、病名コードはない。 β ーマンノシドーシスの症
19 ライソゾ- 19 ライソゾ-		β ーマンノシドーシス フコシドーシス	E771 E771		8846235 β ーマンノシドーシス 8839775 フコース症				
19 ライソゾ-	-ム病	アスパルチルグルコサミン尿症	E771	KED3	8846091 アスパルチルグルコサミン尿症				
19 ライソゾー		神崎病	E742	C722	8846106 神崎病				

·示番 号	A. 指定難病名	B. 告示病名以外の指定難病対象疾病名		ICD-10-2	用コート			疑義フラグ	コード付与に関するの備考(類似病名あるがBと同一か決めきれない例)	ここは見て! 備考
	ノゾーム病 ノゾーム病	シンドラー病 ポンペ病	E742 E740		F9J4 B3TV		シンドラー病 ポンペ病			
	ファーム病 ノゾーム病	酸性リパーゼ欠損症(Wolman病)	E755		RAND		3 ウォールマン病			
	ノゾーム病	ダノン病 (Danon病)	E740		FHH7		7 ダノン病(Danon病)			32日に貝及王昭はベイバノーにも同 沃志記
	ノゾーム病 ノゾーム病	遊離シアル酸蓄積症 セロイドリイポフスチノーシス	E771 E754		H6GS	8849689 8834938	<u>)</u>	その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用 セロイドリイポフスチノーシス→神経セロイドリポフスチン症のこ	 カロイドリイポファチノーシァ→神経カロイドリポファチン・左のこ
	ファーム病 フゾーム病	ファブリー病(Fabry病)	E752		JDP4		ファブリー病		とロイドリイボンステナーンス一种性とロイドリボンステン症のこ	とロイトリイホンステナーンス一种程とロイトリホンステン症のこ
	ノゾーム病	シスチン症	E720		QSD6		シスチン症			
	白質ジストロフィー 白質ジストロフィー	副腎白質ジストロフィー 小児大脳型副腎白質ジストロフィー	E713	-	TF83	8839698	副腎白質ジストロフィー	親病名に統合の可能性	副腎白質ジストロフィー	
	白質ジストロフィー	思春期大脳型副腎白質ジストロフィー	E713					親病名に統合の可能性	副腎白質ジストロフィー	
	白質ジストロフィー	副腎脊髄ニューロパチー	E713		H26G	8846214	1副腎脊髄ニューロパチー	+= + + · · · · · · · · · · · · · · · · ·	W150 4 E5 20 1	
	白質ジストロフィー 白質ジストロフィー	成人大脳型副腎白質ジストロフィー 小脳・脳幹型副腎白質ジストロフィー	E713	+				親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性	副腎白質ジストロフィー 副腎白質ジストロフィー	
	白質ジストロフィー	アジソン型副腎白質ジストロフィー	E713	1				親病名に統合の可能性	副腎白質ジストロフィー	
21 \$\-		ミトコンドリア病	E888		TK6U		ミトコンドリア病			
22 もや ³ 22 もや ³		した。	I675	-	CET2	437500	もやもや病	親病名に統合の可能性	ICD10→1675 もやもや病<ウィリス動脈輪閉塞症>	
23 プリオ		プリオン病	A810		LGKF	8848413	プリオン病	490793 E 1 C 190 E C 07 1 3 8 E 1 X	10010 1070 01 01 771 771 307 307 11 11 12 12 12 7	
3 プリオ		プリオン病				883017	亜急性海綿状脳症			
23 プリオ 23 プリオ		── 孤発性プリオン病 特発性(孤発性)クロイツフェルト・ヤコブ病	A810 A810		KK0J	9946131	孤発性クロイツフェルト・ヤコブ病	親病名に統合の可能性	プリオン病(1)クロイツフェルト・ヤコブ病	
23 プリオ		遺伝性クロイツフェルト・ヤコブ病	A810		KKOO	004013	加光圧プロイングエルド(コン州	親病名に統合の可能性	プリオン病(1)クロイツフェルト・ヤコブ病	
23 プリオ		遺伝性プリオン病	A810					親病名に統合の可能性	プリオン病(1)クロイツフェルト・ヤコブ病	
23 プリオ 23 プリオ		家族性クロイツフェルト・ヤコブ病 ゲルストマン・シュトロイスラー・シャインカー病	A810 A818		SM5H ATN4		3 家族性クロイツフェルト・ヤコブ病 2 ゲルストマン・シュトロイスラー・シャインカー症候群	<u> </u>		
23 プリオ		サルストマン フェドロイス ファイフカー	A810		ARCH		2 致死性家族性不眠症	-		
3 プリオ	ナン病	獲得性プリオン病	A810					親病名に統合の可能性	プリオン病(1)クロイツフェルト・ヤコブ病	
3 プリオ 3 プリオ			A818 A810		T284	8832783	3 クールー	親病名に統合の可能性	プリオン病(1)クロイツフェルト・ヤコブ病	
3 プリオ			A810 A810						プリオン病(1)クロイツフェルト・ヤコブ病	
4 亜急	性硬化性全脳炎	亜急性硬化性全脳炎	A811		CBF0		亜急性硬化性全脳炎			
	性多巣性白質脳症 .V-1関連脊髄症	進行性多巣性白質脳症	A812 A858	D070	STVE JN3P		進行性多巣性白質脳症			
	.V - 1	HTLV-1関連脊髄症 特発性基底核石灰化症	G238	B973	KAHT	8848218	A HTLV一1関連脊髄症 B 特発性基底核石灰化症			
	性基底核石灰化症	ファール病	G238			00 102 1	1470ILENSIX HIX IOIL	親病名に統合の可能性	ファール病(ふぁーるびょう、fahr's syndrome、家族性特発性基底核石灰・	比症
	性基底核石灰化症	家族性特発性基底核石灰化症	G238		NQ3Q	8848195	家族性特発性基底核石灰化症	加売ない仕入る事が出	# % # # c # T C // c // T !!! # c # c !! > // * c # * T C // * 20 // *	7-20 - Nr + # 12 - + 7 M DI + + 12 + 2 + 1 + 4 - 4 + 4 M + + - 1
	性基底核石灰化症 性アミロイドーシス	原発性家族性脳石灰化(PFBC) 全身性アミロイドーシス	G238 E859		VU2T	2773013	3 全身性アミロイドーシス	親病名に統合の可能性	特発性基底核石灰化症は、両側基底核に明らかな病的な石灰化を認め	、ト記の診断基準にある鑑別疾患がなされたものを特発性基度
	性アミロイドーシス	免疫グロブリン性アミロイドーシス	E859		1021	2770010	T3H7C-11 27	親病名に統合の可能性	全身性アミロイドーシスの代表的なものとしては、免疫グロブリン性アミロ	イドーシス(ALアミロイドーシス)
	性アミロイドーシス	原発性アミロイドーシス	E859		QKV6	277301	原発性アミロイドーシス			
	性アミロイドーシス 性アミロイドーシス	反応性AAアミロイドーシス 続発性アミロイドーシス	E859 E853		JBF6	277301/	4 続発性アミロイドーシス	親病名に統合の可能性	免疫グロブリン性、反応性AA及び老人性TTRアミロイドーシスは、臨床症	状の類似点が多く、それのみでは鑑別することが困難であるの
	性アミロイドーシス	老人性トランスサイレチン型アミロイドーシス	E858		0010	8846070))	その他	みつかった。病名マスタ2017→6372行:老人性TTRアミロイドーシス	
8 全身	性アミロイドーシス	家族性アミロイドニューロパチー	E851		NASC		家族性アミロイドニューロパチー			
28 全身 29 ウル	性アミロイドーシス	家族性アミロイドーシス	E852 G710		M845 D4CN		家族性アミロイドーシス ウルリッヒ病			
29 ウル		ウルリッヒ病 コラーゲンⅥ関連ミオパチー	G710		D4CN	8848192	フ・ブルリツに病	親病名に統合の可能性	ウルリッヒ病の説名の中に、Collagen VI関連ミオパチーの重症型である。	l と書いてある。
30 遠位	型ミオパチー	遠位型ミオパチー	G710		EB0E		3 遠位型ミオパチー	17071 7 11 1-170 11 -+ 3 170 111	71. 7 - 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17.	
	型ミオパチー	三好型ミオパチー	G710		CRG4		3 三好型ミオパチー			
	<u>型ミオパチー</u> 型ミオパチー	縁取り空胞を伴う遠位型ミオパチー 眼咽頭遠位型ミオパチー	G710 G710		B05U TS79		3 縁取り空胞を伴う遠位型ミオパチー 7 眼咽頭遠位型ミオパチー			
	レムミオパチー	ベスレムミオパチー	G710		PR5H	8848226	うベスレムミオパチー			
	食食空胞性ミオパチー 	自己貪食空胞性ミオパチー	G718	1	P57H		自己貪食空胞性ミオパチー			10こ ハバー ノウにも 日、 たまのご 井と口
	<u>貧食空胞性ミオバチー</u> 貪食空胞性ミオパチー	ダノン病(Danon病) 過剰自己貪食を伴うX連鎖性ミオパチー	E740 G718		FHH7 BKQP		7 ダノン病 過剰自己貪食を伴う×連鎖性ミオパチー			19ライソソーム病にも同一疾患の記載あり
	ワルツ・ヤンペル症候群	シュワルツ・ヤンペル症候群	G711		K9EE		シュワルツ・ヤンペル症候群			
	ワルツ・ヤンペル症候群	シュワルツ・ヤンペル症候群1型	G711					親病名に統合の可能性	シュワルツ・ヤンペル症候群	Mr.74 1 Te. 1 .
	ワルツ・ヤンペル症候群 ワルツ・ヤンペル症候群	軟骨異栄養性筋強直症 シュワルツ・ヤンペル症候群2型	G711 G711					親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性	シュワルツ・ヤンペル(Schwartz-Jampel)症候群は、別名、軟骨異栄養性 シュワルツ・ヤンペル症候群	別は世紀でかられ
	ワルツ・ヤンペル症候群	Stuve-Wiedemann症候群	G711					親病名に統合の可能性	現在では、leukemia inhibitory factor receptor(LIFR)遺伝子変異に起因	」 するStuve-Wiedemann症候群と同一の疾患とされている。
	線維腫症	神経線維腫症	Q850		TC07		神経線維腫症			
	線維腫症 線維腫症	神経線維腫症1型 神経線維腫症1型	Q850 Q850	-	RTD1		神経線維腫症1型 フォン・レックリングハウゼン病			
4 神経			Q850			237700	フュン・レップリンプ・バブピン7四	親病名に統合の可能性	レックリングハウゼン(Recklinghausen)病(神経線維腫症 I 型)	
4 神経	線維腫症	RECKLINGHAUSEN病	Q850					親病名に統合の可能性	4574-1 518	
	線維腫症 線維腫症	VON RECKLINGHAUSEN病 神経線維腫症2型	Q850 Q850		V3TV	2377001	<mark> </mark> 神経線維腫症2型	その他	157行と同じ	
5 天疱		天疱瘡	L109		JN9J	6944006	7.17年終性涯延至主 天疱瘡			
5 天疱	瘡	尋常性天疱瘡	L100		LBNN	6944003	天疱瘡 尋常性天疱瘡			
5 天疱 5 天疱		落葉状天疱瘡 腫瘍随伴性天疱瘡	L102 L108	+	Q4K0 H9AE	6944008	落葉状天疱瘡 腫瘍随伴性天疱瘡			
5 天疱			L108	1	HPK7		/ 腥瘍随任性大疱瘡 増殖性天疱瘡			
5 天疱	瘡	紅斑性天疱瘡	L104		A1VM	6944002	紅斑性天疱瘡			
5 天疱 5 天疱			L108		BEU5 CL3T		图 疱疹状天疱瘡 日蒸丸誘条性干疫疹			
5 大胞 6 表皮		薬剤誘発性天疱瘡 単純型表皮水疱症	L105 Q810	+	PLH3	883713	薬剤誘発性天疱瘡 単純型表皮水疱症			
3 表皮	水疱症	ウェーバー・コケイン型表皮水疱症	Q810		PRC6	8846098	3 ウェーバー・コケイン型単純性表皮水疱症			
表皮		致死型表皮水疱症	Q811		NVR2	8837473	3 致死型表皮水疱症			
3 表皮 3 表皮		ヘルリッツ(Herlitz)型表皮水疱症 キンドラー症候群	Q811 Q818		S7FD UUBS		ヘルリッツ型接合部型表皮水疱症 キンドラー症候群			難病センターと疾患名に「接合部」の有無は
		膿疱性乾癬	L401		HKDU		7 膿疱性乾癬			
7 膿疱	性乾癬(汎発型)	急性汎発性膿疱性乾癬	L401		P11C	8846111	急性汎発性膿疱性乾癬			
	性乾癬(汎発型)性乾癬(汎発型)	小児汎発性膿疱性乾癬	L401		HDJU	8846144 8841654	小児汎発性膿疱性乾癬	その他	みつかった。病名マスタ2017→13364行: 疱疹状膿痂疹 厚労省の病名	
	<u>性乳癬(汎発型)</u> ィーヴンス・ジョンソン症候群	<u>疱疹性膿痂疹</u> スティーヴンス・ジョンソン症候群	L511		LC7R		・ 3 スティーブンス・ジョンソン症候群	COTIE	vr ンル・ノに。クアマロヾヘノzull→133041]: 紀珍仏脹伽莎 厚方自の病名	→ 1. やカンロル
8 スティ	ィーヴンス・ジョンソン症候群	皮膚粘膜眼症候群	L511					親病名に統合の可能性	スティーヴンス・ジョンソン症候群(SJS)は皮膚粘膜眼症候群とも呼ばれ	
	性表皮壊死症	中毒性表皮壞死症	L512		J236		中毒性表皮壞死症			
0 高安		高安動脈炎 脈無し病	M314 M314		R5HL	8848380	高安動脈炎	親病名に統合の可能性	高安動脈炎(大動脈炎症候群)とされていたが国際分類に沿って、高安重	
			M314		R5HL	4467003	大動脈炎症候群	かいかっていたログリ形は	『ラスラが、久、八海が、久、江・大仲/ここれ・し・これ・当 赤刀 規 に口 ノし、同女男	した。 かた、1元月到別別3日以月大からたり化るだ
0 高安	"馴脈炎	八到加入	WI314				7人到加入人工 1人们			

告示番 号	A. 指定難病名	B. 告示病名以外の指定難病対象疾病名	ICD-10-1 IC	D-10-2 病名交換 用コード	病名コート	レセプト傷病名マスター	疑義フラグ	コード付与に関するの備考(類似病名あるがBと同一か決めきれない例が	ここは見て!	備考
	吉節性多発動脈炎 :	結節性多発動脈炎	M300	DKGU		<u></u> 結節性多発動脈炎				
43 顕	頁微鏡的多発血管炎	顕微鏡的多発血管炎	M317	HVJ6	8842086	顕微鏡的多発血管炎				
		多発血管炎性肉芽腫症 ウェゲナー肉芽腫症	M313 M313	NJSJ		多発血管炎性肉芽腫症 ウェジナー肉芽腫症				
44 多	3発血管炎性肉芽腫症	限局型多発血管炎性肉芽腫症	M313	GHJN	8848336	限局型多発血管炎性肉芽腫症				
44 <u>多</u>		全身型多発血管炎性肉芽腫症 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	M313 M301	BN46 JV1D	8848371	全身型多発血管炎性肉芽腫症 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症				
		対版球性多光血管炎性内牙腫症 チャーグ・ストラウス症候群	M301	JV1D	0040330	好做坏任多光皿官灾任内牙腔症	親病名に統合の可能性	 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症は、アレルギー性肉芽腫性血管炎ある	L ハはチャーグ・ス	L トラウス症候群と呼ばれてきた血管炎症候群
		アレルギー性肉芽腫性血管炎	M301	JV1D		アレルギー性肉芽腫性血管炎				
		悪性関節リウマチ 全身性動脈炎型悪性関節リウマチ	M0530 M0530	SQ14	7148003	悪性関節リウマチ	親病名に統合の可能性	 悪性関節リウマチの血管炎は結節性多発動脈炎と同様な全身性動脈炎	 型(内職を系統的	如[] (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4
46 悪	悪性関節リウマチ:	末梢動脈炎型悪性関節リウマチ	M0530					内膜の線維性増殖を呈する末梢動脈炎型(四肢末梢及び皮膚を侵し、生		
		バージャー病 閉塞性血栓血管炎	I731 I731	NAC9		バージャー病 閉塞性血栓血管炎				66 IgA腎症にも同一病名あり 関連不明
			D686	C4BP		原発性抗リン脂質抗体症候群				
		劇症型抗リン脂質抗体症候群	D686				親病名に統合の可能性	原発性抗リン脂質抗体症候群:多臓器梗塞を同時にみる予後不良な病態	は、劇症型抗リ	ン脂質抗体症候群(catastrophic APS)と称せられる
		全身性エリテマトーデス 皮膚筋炎	M329 M339	MTBV M4FP	7100011	全身性エリテマトーデス 皮膚筋炎				
50 皮	皮膚筋炎/多発性筋炎	多発性筋炎	M332	PA6L	7104004	多発性筋炎				
	È身性強皮症 :: È身性強皮症 ::	全身性強皮症 びまん皮膚硬化型全身性強皮症	M340	N385	7101012	全身性強皮症	親病名に統合の可能性	 典型的な症状を示す「びまん皮膚硬化型全身性強皮症」と、比較的軽症	りの「阳日中虚な	
		<u> </u>	M340				親病名に統合の可能性	典型的な症状を示す「びまん皮膚硬化型全身性強皮症」と、比較的軽症		
		混合性結合組織病	M351	VTST		混合性結合組織病				
	vェーグレン症候群 vェーグレン症候群 ·	シェーグレン症候群 一次性シェーグレン症候群	M350 M350	USMR PCFT		シェーグレン症候群 一次性シェーグレン症候群				
53 シ	vェーグレン症候群 J	腺型シェーグレン症候群	M350			7 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	親病名に統合の可能性	一次性シェーグレン症候群は、病変が涙腺、唾液腺に限局する腺型と病	変が全身諸臓器	に及ぶ腺外型とに分けられる。
53 シ 53 さ	/ェーグレン症候群 /ェーグレン症候群	腺外型シェーグレン症候群 二次性シェーグレン症候群	M350 M350	BBLJ	8848298		親病名に統合の可能性	一次性シェーグレン症候群は、病変が涙腺、唾液腺に限局する腺型と病	変が全身諸臓器 「	に及ぶ腺外型とに分けられる。
54 成	ガスチル病 カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	成人スチル病	M0610	T89V	8842190	成人スチル病				
		再発性多発軟骨炎 ベーチェット病	M9410 M352	EM1Q FK0S		再発性多発軟骨炎 ベーチェット病				
	ベーチェット病!	完全型ベーチェット病	M352	LV09	1301002	・・ ノエンにが	親病名に統合の可能性	4つの主な症状をすべて満たせば完全型のベーチェット病		
56 ^	ヾーチェット病 :	不全型ベーチェット病	M352	P3S3		不全型ベーチェット病				
		腸管ベーチェット病 血管ベーチェット病	M352 M352	H442 UGMU		腸管ベーチェット病 血管ベーチェット病				
56	ベーチェット病 ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・	神経ベーチェット病	M352	HMJL	1361005	神経ベーチェット病				
		<u>特発性拡張型心筋症</u> 肥大型心筋症	I420 I422	CKCQ P19M		特発性拡張型心筋症 肥大型心筋症				
		<u>尼入至心肠症</u> 非閉塞性肥大型心筋症	I422	J2TU		非閉塞性肥大型心筋症				
	巴大型心筋症	閉塞性肥大型心筋症	I421	N2JS		閉塞性肥大型心筋症				
	巴大型心筋症 巴大型心筋症	<u>心室中部閉塞性肥大型心筋症</u> 心尖部肥大型心筋症	I421 I422	GS1T R5QA	8846150	心室中部閉塞性心筋症 心尖部肥大型心筋症				
58 肥	巴大型心筋症 :	拡張相肥大型心筋症	I420	KE0J	8846101	拡張相肥大型心筋症				
	向東型心筋症 再生不良性貧血	拘束型心筋症 再生不良性貧血	I425 D619	UM50 BK72		<u>拘束型心筋症</u> 再生不良性貧血				
60 再	F生不良性貧血 !	特発性再生不良性貧血	D613	E39S	8838181	特発性再生不良性貧血				
		自己免疫性溶血性貧血 温式自己免疫性溶血性貧血	D591 D591	ATPD NS3B		自己免疫性溶血性貧血 温式自己免疫性溶血性貧血				
61 É	自己免疫性溶血性貧血 :	寒冷凝集素症	D591	D3FT		寒冷凝集素症				
		発作性寒冷へモグロビン尿症 発作性夜間へモグロビン尿症	D596 D595	FRKM R1E4		発作性寒冷へモグロビン尿症 発作性夜間ヘモグロビン尿症				
	そ作性夜間へモグロビン尿症 そ作性夜間へモグロビン尿症	元 に は	D595	IXIL4	8040090	元は日本文明・モブロビンが延	親病名に統合の可能性	フローサイト メトリー法で解析することが多く、GPI アンカ 一型蛋白(CD55	、CD59)欠損血	球を1 %以 上認めれば、溶血所見が顕性化するとい
		骨髄不全型発作性夜間ヘモグロビン尿症 混合型発作性夜間ヘモグロビン尿症	D595 D595				親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性	発作性夜間へモグロビン尿症(PNH)の診断基準(平成16年厚生労働省項	f究班)1)臨床的	りPNH(溶血所見がみられる)・古典的PNH・骨髄不全 I
		特発性血小板減少性紫斑病	D693	P5MD	2873013	特発性血小板減少性紫斑病	秋州石で売日の可能圧			
		一次性免疫性血小板減少症 血栓性血小板減少性紫斑病	D693 M311	M70K	4466000	血栓性血小板減少性紫斑病	親病名に統合の可能性	特発性血小板減少性紫斑病:最近、欧米において本症は、一次性免疫性	血小板減少症(orimary immune thrombocytopenia)と呼ばれることが
		<u>血柱性血小板减少性系斑病</u> 先天性血栓性血小板減少性紫斑病	M311	NAG2		血栓性血小板减少性系斑病 先天性血栓性血小板減少性紫斑病				
64 <u>I</u> I	1栓性血小板減少性紫斑病	アップショー・シュールマン症候群	M311	NAG2	8847881			Upshaw-Schulman(アップショー・シュールマン)症候群=先天性のTTP。		
	血栓性血小板減少性紫斑病 ? 原発性免疫不全症候群 //	<u>後天性血栓性血小板減少性紫斑病</u> 原発性免疫不全症候群	M311 D848	PP61	4466002 2793012	 原発性免疫不全症候群		血栓性血小板減少性紫斑病と同じ	243行の皿程性	:血小板減少性紫斑病に含まれる? 後天性TTPはT
65 原	F発性免疫不全症候群 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	X連鎖重症複合免疫不全症	D821	LHLC	8846087	X連鎖重症複合免疫不全症				
		細網異形成症 アデノシンデアミナーゼ欠損症	D810 D813	MF9A	8849630	ADA欠乏症	その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用		
65 原	原発性免疫不全症候群 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	オーメン症候群	D818	URCE	8846099	オーメン症候群				
		プリンヌクレオシドホスホリラーゼ欠損症 CD8欠損症	D815 D818	V81D	8846085 8849561	PNP欠損症	その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用		
65 原	F発性免疫不全症候群 2	ZAP-70欠損症	D818	UFJS	8846090	ZAP-70欠損症	COLE	マアンル・フに。7内17、ヘク201月にはないが、序力17の内41でより5月		
65 原	原発性免疫不全症候群 I	MHCクラスI欠損症	D816	T35L U4C0	8846081	MHCクラスI欠損症 MHCクラスII欠損症			-	
		MHCクラスII欠損症 複合免疫不全症	D817 D819	U4C0				 「重症複合免疫不全症」と同一であるか確証がない	ICD-10があるた	 が、病名コードはない。
65 原	原発性免疫不全症候群 ·	ウィスコット・オルドリッチ症候群	D820	PN4C	2791001	ウィスコット・オルドリッチ症候群				-
		毛細血管拡張性運動失調症 ナイミーヘン染色体不安定症候群	G113 D828	TNM3 RTU2		毛細血管拡張性運動失調症 ナイミーヘン染色体不安定症候群				
65 原	R発性免疫不全症候群 :::	ブルーム症候群	Q828	MGA7	8844103	ブルーム症候群				
65 原 65 原	原発性免疫不全症候群 原発性免疫不全症候群	ICF症候群 PMS2異常症	D800 D848		8849571 8849575		その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用 みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用		
65 原	原発性免疫不全症候群 I	RIDDLE症候群	D828		8849576		その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用		
		シムケ症候群	D848	EDI 4	8849634	ゥギーL いた伊野	その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用		160 生工性免除癌にも同一症患もは
65 原	原発性免疫不全症候群	ネザートン症候群 胸腺低形成症候群	Q808 D821	FBL4	8837955	ネザートン症候群	その他	 疾病名:胸腺低形成(ディ・ジョージ症候群/22g11.2欠失症候群)		160 先天性魚鱗癬にも同一疾患あり
65 原	京発性免疫不全症候群 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	デイジョージ症候群	D821	NK86		デイジョージ症候群				2002 20-11 2044 左紀秋(1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-
		22q11. 2欠失症候群 高IgE症候群	Q938 D824	TEGJ KP18		22q11. 2欠失症候群 高IgE症候群				203 22q11.2欠失症候群にも同一疾患名あり
65 原	原発性免疫不全症候群 l	肝中心静脈閉鎖症を伴う免疫不全症	D848		8849735		その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用	0.00 (0) = +	A 5±4= Th A 60. 1 +
		先天性角化不全症 X連鎖無ガンマグロブリン血症	D848 D800	GRAL	2793012 8846088	X連鎖無ガンマグロブリン血症	その他	▽「先天性角化不全症」は、「原発性免疫不全症候群」に包含される2016	8.29.(月)医療・	クト護行政全般とめったので原発性免疫不全症候群の
65 原	原発性免疫不全症候群 :	分類不能免疫不全症	D839	C96V	2799003	分類不能免疫不全症			ICD-10入力され	れていたのに、病名コードが未入力。検索して入力した
	原発性免疫不全症候群 原発性免疫不全症候群 I	高IgM症候群 IgGサブクラス欠損症	D805 D803	GHFB FS4H		高IgM症候群 IgGサブクラス欠損症				
65 原	原発性免疫不全症候群	選択的IgA欠損症	D848	1 5411			親病名に統合の可能性	選択的IgA欠損症では、IgA濃度が7mg/dL未満で、IgGおよびIgMの濃度に	正常である。最	も頻度が高い原発性免疫不全症である
		特異抗体産生不全症 乳児一過性低ガンマグロブリン血症	D806 D807	KTMV	8849665 2790021	乳児一過性低ガンマグロブリン血症	その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用		
i nh l⊫	ハンロ・エフロ/ス I エ JIE Iス ITT	<u>れた 過圧区ガンミグロングン血症</u> チェディアック・東症候群	E703	GFQR		チェディアック・東症候群				

告示番号	A. 指定難病名	B. 告示病名以外の指定難病対象疾病名	ICD-10-1 ICD-10-2	病名交換 用コード 病名コー	レセプト傷病名マスター	疑義フラグ	コード付与に関するの備考(類似病名あるがBと同一か決めきれない例な ここは見	て! 備考
65	原発性免疫不全症候群 原発性免疫不全症候群	X連鎖リンパ増殖症候群	D823		9 X連鎖リンパ増殖症候群		X連鎖リンパ増殖症候群8846089 D823	
65	冰光汪尤及小土症 医研	SAP欠損症	D823			類似病名あるが決められない	X上関サンバョルに映好の40009 1023 XLPは、EBウイルスに対する特異的免疫応答の欠陥を認める先天性免疫不全症である。現在、原因遺伝子が2つ知られ、SAP/SH2D1A遺伝子異常によるSAP (SLAM-associated protein) 欠損症をXLP1、XIAP/BIRC4遺伝子異常によるXIAP (X-linked inhibitor of apoptosis) 欠損症をXLP2と呼ぶ。	
65	原発性免疫不全症候群	XIAP欠損症	D823			類似病名あるが決められない	X連鎖リンパ増殖症候群8846089 D823 XLPは、EBウイルスに対する特異的免疫応答の欠陥を認める先天性免疫不全症である。現在、原因遺伝子が2つ知られ、SAP/SH2D1A遺伝子異常によるSAP (SLAM-associated protein) 欠損症をXLP1、 XIAP/BIRC4遺伝子異常によるXIAP (X-linked inhibitor of apoptosis) 欠損症をXLP2と呼ぶ。	
	原発性免疫不全症候群 原発性免疫不全症候群	自己免疫性リンパ増殖症候群	D763	884964	<u>0</u>	その他 類似病名あるが決められ	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用	
		家族性血球貧食症候群(FHL)	D763			ない	血球貪食症候群 8833096 D763	
	原発性免疫不全症候群	家族性血球貧食症候群(FHL1)(原因遺伝子不明)	D763			類似病名あるが決められない	血球貪食症候群 8833096 D763	
65	原発性免疫不全症候群	家族性血球貧食症候群(FHL2)(パーフォリン欠損症)	D763			類似病名あるが決められ ない	血球貪食症候群 8833096 D763	
65	原発性免疫不全症候群	家族性血球貧食症候群(FHL3)(Munc13-4欠損症)	D763			類似病名あるが決められない	血球貪食症候群 8833096 D763	
65	原発性免疫不全症候群	家族性血球貧食症候群(FHL4)(Syntaxin11欠損症)	D763			類似病名あるが決められ ない	血球貪食症候群 8833096 D763	
	原発性免疫不全症候群	カンノアぶ末C外柱未が以来市で作り自し元友は夕豚は内 ハジエム点 1507年	LOTO	883520		7.0.14		生多腺性内分泌不全症 8835207 E310
	原発性免疫不全症候群 原発性免疫不全症候群	IPEX症候群	D848	884970		その他 類似病名あるが決められ	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用	
		CD25欠損症				ない	原発性免疫不全症候群は、先天的に免疫系のいずれかの部分に欠陥がある疾患の)総称であり、後大的に免疫力が低下するエイスなどの後
	原発性免疫不全症候群	ITCH欠損症				類似病名あるが決められない	原発性免疫不全症候群は、先天的に免疫系のいずれかの部分に欠陥がある疾患の)総称であり、後天的に免疫力が低下するエイズなどの後
	原発性免疫不全症候群	原発性食細胞機能不全症				ない	原発性免疫不全症候群は、先天的に免疫系のいずれかの部分に欠陥がある疾患の)総称であり、後天的に免疫力が低下するエイズなどの後
	原発性免疫不全症候群	原発性食細胞機能欠損症				類似病名あるが決められ ない	原発性免疫不全症候群は、先天的に免疫系のいずれかの部分に欠陥がある疾患の)総称であり、後天的に免疫力が低下するエイズなどの後
	原発性免疫不全症候群 原発性免疫不全症候群	重症先天性好中球減少症 周期性好中球減少症	D70 D70		2 重症先天性好中球減少症 9 周期性好中球減少症			
65	原発性免疫不全症候群	ヘルマンスキー・パドラック症候群2型	D70		2 ヘルマンスキー・パドラック症候群	WT 101 17 7 1 1		
	原発性免疫不全症候群	Griscelli症候群2型					グリシェリ症候群 (Griscelli syndrome)本症は、皮膚白皮症に加えて、血球貪食によ	5好中球減少症や血小板減少症、慢性感染症、肝脾腫大
65	原発性免疫不全症候群	P14欠損症				類似病名あるが決められ ない	先天性免疫不全症候群・貪食細胞の数、機能、もしくは両方の異常	
65	原発性免疫不全症候群	WHIM症候群				類似病名あるが決められ ない	WHIMとはその主症状、Wart, hypogammaglobulinemia, infections and myelokathesis	いぼ、低ガンマグロブリン血症、感染症、骨髄性白血球貯
65	原発性免疫不全症候群	糖尿病Ib型				0.1	同一と認定できる類似病名がない 免疫不全	こ含まれるのか?1型糖尿病:膵ベータ細胞に対する自己
	原発性免疫不全症候群 原発性免疫不全症候群	白血球接着不全症 シュワッハマン・ダイアモンド症候群	D71	884620	7 白血球接着不全症	親病名に統合の可能性	▼	・リー 句合される
65	原発性免疫不全症候群	慢性肉芽腫症	D71		9 慢性肉芽腫症	おがみられて利にロック・コードとは	マーンユバノバベン アイア ピント 証 医研引は、小が光 は 光及十 主 証 医体	FILEBEADO
	原発性免疫不全症候群 原発性免疫不全症候群	ミエロペルオキシダーゼ欠損症 メンデル遺伝型マイコバクテリア易感染症	E803 D848	884042 884968	0ミエロペルオキシダーゼ欠損症 <mark>8</mark>	その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用	
65	原発性免疫不全症候群	免疫不全を伴う無汗性外胚葉形成異常症	Q824	884984	4	その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用	
	原発性免疫不全症候群 原発性免疫不全症候群	IRAK4欠損症 MyD88欠損症	D848 D848	884957 884957	<mark>2</mark> 3	その他 その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用 みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用	
65	原発性免疫不全症候群	慢性皮膚粘膜カンジダ症	B372	112900	6 慢性皮膚粘膜カンジダ症	(0)		
	原発性免疫不全症候群 原発性免疫不全症候群	・	Q828 B004	78103 54300			「疣贅状表皮発育異常症」として病名コードあり 「ヘルペス脳炎」と同一とみなした	
	原発性免疫不全症候群	TARTO CARD9欠損症	B004	54300		手がかり一切なし	「ハルハス個交」と向一とかなした	
	原発性免疫不全症候群 原発性免疫不全症候群	トリパノソーマ症 先天性補体欠損症	B569 D841	QTNU 883823	3トリパノソーマ症	その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用	
	原発性免疫不全症候群	C1p欠損症	D841	334300			た アンカン。MAI (スクンロバニは AV が、 F. グラ 自 の MAI コート マッカ	
65	原発性免疫不全症候群	C1r欠損症	D841			類似病名あるが決められない	先天性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のようにさらに細分類される。C1q 欠損症(C1QA、C1QB、C1QC)、C1r 欠損症(C1R)、C1s 欠損症(C1S)、C4 欠損症(C4A、C4B)、C2 欠損症(C2)、C3 欠損症(C3)、C5 欠損症(C5A、C5B)、C6 欠損症(C6)、C7 欠損症(C7)、C8 欠損症(C8A、C8B)、C9 欠損症(C9)、Factor D 欠損症(CFD)、Properdin 欠損症(PFCn)、Factor In 欠損症(CFIn)、Factor H 欠損症(CFH)、MASP1欠損症(MASP1)、3MC 症候群(CLK1)、MASP2 欠損症(MASP2)、Ficolin3 関連免疫不全症(FCN3)	
	原発性免疫不全症候群	C1s欠損症	D841			ない	先天性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のようにさらに細分類される。C1q 欠損症(C1QA、C1QB、C1Q C)、C1r 欠損症(C1R)、C1s 欠損症(C1S)、C4 欠損症(C4A、C4B)、C2 欠損症(C2)、C3 欠損症(C3)、C5 欠損症(C5A、C5B)、C6 欠損症(C6)、C7 欠損症(C7)、C8 欠損症(C8A、C8B)、C9 欠損症(C9)、Factor D欠損症(CFD)、Properdin 欠損症(PFCn)、Factor In 欠損症(CFIn)、Factor H 欠損症(CFH)、MASP1欠損症(MASP1)、3MC 症候群(CLK1)、MASP2 欠損症(MASP2)、Ficolin3 関連免疫不全症(FCN3)	
65	原発性免疫不全症候群	C2欠損症	D842			類似病名あるが決められない	先天性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のよう ICさらに細分類される。C1g 欠損症(C1QA、C1QB、C1Q C)、C1r 欠損症(C1R)、C1s 欠損症(C1S)、C4 欠損症(C4A、C4B)、C2 欠損症(C2)、C3 欠損症(C3)、C5 欠損症(C5A、C5B)、C6 欠損症(C6)、C7 欠損症(C7)、C8 欠損症(C8A、C8B)、C9 欠損症(C10)、Factor D 欠損症(CFD)、Properdin 欠損症(PFCn_Q楔 同HĂ護 怀_Q Q楔 同ŔŔ	

示番 号	A. 指定難病名	B. 告示病名以外の指定難病対象疾病名	ICD-10-1 ICD-10-2 病名交換 用コード	病名コード	レセプト傷病名マスター	疑義フラグ	コード付与に関するの備考(類似病名あるがBと同一か決めきれない例と	ここは見て!	備考
65	原発性免疫不全症候群	C3欠損症	D843			類似病名あるが決められない	先天性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のようにさらに細分類される。C1q 欠損症(C1QA、C1QB、C1Q C)、C1r 欠損症(C1R)、C1s 欠損症(C1S)、C4 欠損症(C4A、C4B)、C2 欠損症(C2)、C3 欠損症(C3)、C5 欠損症(C5A、C5B)、C6 欠損症(C6)、C7 欠損症(C7)、C8 欠損症(C6)、C8B)、C9 欠損症(C1)、Factor D 欠損症(CFD)、Properdin 欠損症		
	原発性免疫不全症候群	C4欠損症	D844			類似病名あるが決められない	先天性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のようにさらに細分類される。C1q 欠損症(C1QA、C1QB、C1Q C)、C1r 欠損症(C1R)、C1s 欠損症(C1S)、C4 欠損症(C4A、C4B)、C2 欠損症(C2)、C3 欠損症(C3)、C5 欠損症(C5A、C5B)、C6 欠損症(C6)、C7 欠損症(C7)、C8 欠損症(C6)、C8B)、C9 欠損症(C1)、Factor D欠損症(CFD)、Properdin 欠損症		
65	原発性免疫不全症候群	C5欠損症	D845			類似病名あるが決められない	先天性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のようにさらに細分類される。C1q 欠損症(C1QA、C1QB、C1Q C)、C1r 欠損症(C1R)、C1s 欠損症(C1S)、C4 欠損症(C4A、C4B)、C2 欠損症(C2)、C3 欠損症(C3)、C5 欠損症(C5A、C5B)、C6 欠損症(C6)、C7 欠損症(C7)、C8 欠損症(C8A、C8B)、C9 欠損症(C11)、Factor D 欠損症(CFD)、Properdin 欠損症		
65	原発性免疫不全症候群	C6欠損症	D846			類似病名あるが決められない	先天性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のようにさらに細分類される。C1q 欠損症(C1QA、C1QB、C1Q C)、C1r 欠損症(C1R)、C1s 欠損症(C1S)、C4 欠損症(C4A、C4B)、C2 欠損症(C2)、C3 欠損症(C3)、C5 欠損症(C5A、C5B)、C6 欠損症(C6)、C7 欠損症(C7)、C8 欠損症(C8A、C8B)、C9 欠損症(C11)、Factor D 欠損症(CFD)、Properdin 欠損症		
65	原発性免疫不全症候群	C7欠損症	D847			類似病名あるが決められない	振症(CFD)、Figher 11 大張症 大天性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のよう にさらに細分類される。C1q 欠損症(C1QA、C1QB、C1Q C)、C1r 欠損 症(C1R)、C1s 欠損症(C1S)、C4 欠損症(C4A、C4B)、C2 欠損症 (C2)、C3 欠損症(C3)、C5 欠損症(C5A、C5B)、C6 欠損症(C6)、C7 欠損症(C7)、C8 欠損症(C8A、C8B)、C9 欠損症(C11)、Factor D 欠 損症(CFD)、Properdin 欠損症		
65	原発性免疫不全症候群	C8欠損症	D848			類似病名あるが決められない	振症(CFD)、Fiperdin 大張症 先天性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のよう にさらに細分類される。C1q 欠損症(C1QA、C1QB、C1Q C)、C1r 欠損 症(C1R)、C1s 欠損症(C1S)、C4 欠損症(C4A、C4B)、C2 欠損症 (C2)、C3 欠損症(C3)、C5 欠損症(C5A、C5B)、C6 欠損症(C6)、C7 欠損症(C7)、C8 欠損症(C8A、C8B)、C9 欠損症(C11)、Factor D 欠 損症(CFD)、Properdin 欠損症		
65	原発性免疫不全症候群	C9欠損症	D849			類似病名あるが決められない			
65	原発性免疫不全症候群	FactorD欠損症	D850			類似病名あるが決められない	先天性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のようにさらに細分類される。C1q 欠損症(C1QA、C1QB、C1QC)、C1r 欠損症(C1R)、C1s 欠損症(C1S)、C4 欠損症(C4A、C4B)、C2 欠損症(C2)、C3 欠損症(C3)、C5 欠損症(C5A、C5B)、C6 欠損症(C6)、C7 欠損症(C7)、C8 欠損症(C8A、C8B)、C9 欠損症(C11)、Factor D 欠		
65	原発性免疫不全症候群	Properdin欠損症	D851			類似病名あるが決められない	損症(CFD)、Properdin 欠損症 先天性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のよう にさらに細分類される。C1q 欠損症(C1QA、C1QB、C1Q C)、C1r 欠損 症(C1R)、C1s 欠損症(C1S)、C4 欠損症(C4A、C4B)、C2 欠損症 (C2)、C3 欠損症(C3)、C5 欠損症(C5A、C5B)、C6 欠損症(C6)、C7 欠損症(C7)、C8 欠損症(C8A、C8B)、C9 欠損症(C11)、Factor D 欠 損症(CFD)、Properdin 欠損症		
55	原発性免疫不全症候群	Factor1欠損症	D852			類似病名あるが決められない	表元性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のように治分に細分類される。C1q 欠損症(C1QA、C1QB、C1Q C)、C1r 欠損症(C1R)、C1s 欠損症(C1S)、C4 欠損症(C4A、C4B)、C2 欠損症(C2)、C3 欠損症(C3)、C5 欠損症(C5A、C5B)、C6 欠損症(C6)、C7 欠損症(C7)、C8 欠損症(C8A、C8B)、C9 欠損症(C11)、Factor D 欠損症(C7D)、Properdin 欠損症		
65	原発性免疫不全症候群	FactorH欠損症	D853			類似病名あるが決められない	先天性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のようにさらに細分類される。C1q 欠損症(C1QA、C1QB、C1Q C)、C1r 欠損症(C1R)、C1s 欠損症(C1S)、C4 欠損症(C4A、C4B)、C2 欠損症(C2)、C3 欠損症(C3)、C5 欠損症(C5A、C5B)、C6 欠損症(C6)、C7 欠損症(C7)、C8 欠損症(C6A、C8B)、C9 欠損症(C11)、Factor D 欠損症(CFD)、Properdin 欠損症		
65	原発性免疫不全症候群	MASP1欠損症	D854			類似病名あるが決められない	先天性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のようにさらに細分類される。C1q 欠損症(C1QA、C1QB、C1Q C)、C1r 欠損症(C1R)、C1s 欠損症(C1S)、C4 欠損症(C4A、C4B)、C2 欠損症(C2)、C3 欠損症(C3)、C5 欠損症(C5A、C5B)、C6 欠損症(C6)、C7 欠損症(C7)、C8 欠損症(C6A、C8B)、C9 欠損症(C11)、Factor D 欠損症(CFD)、Properdin 欠損症		
65	原発性免疫不全症候群	3MC症候群	D855			類似病名あるが決められない	振症(CFD)、Figher 1 大張症		
65	原発性免疫不全症候群	MASP2欠損症	D856			類似病名あるが決められない	損症 (CFD)、Properdin 欠損症 先天性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のよう にさらに細分類される。C1q 欠損症 (C1QA、C1QB、C1Q C)、C1r 欠損 症(C1R)、C1s 欠損症 (C1S)、C4 欠損症 (C4A、C4B)、C2 欠損症 (C2)、C3 欠損症 (C3)、C5 欠損症 (C5A、C5B)、C6 欠損症 (C6)、C7 欠損症 (C7)、C8 欠損症 (C8A、C8B)、C9 欠損症 (C11)、Factor D 欠 損症 (CFD)、Properdin 欠損症		
65	原発性免疫不全症候群	Ficolin3関連免疫不全症	D857			類似病名あるが決められない	損症 (CFD)、Properdin 欠損症 先天性補体欠損症 8849802 D841 先天性補体欠損症は、以下のよう にさらに細分類される。C1g 欠損症 (C1QA、C1QB、C1Q C)、C1r 欠損 症 (C1R)、C1s 欠損症 (C1S)、C4 欠損症 (C4A、C4B)、C2 欠損症 (C2)、C3 欠損症 (C3)、C5 欠損症 (C5A、C5B)、C6 欠損症 (C6)、C7 欠損症 (C7)、C8 欠損症 (C8A、C8B)、C9 欠損症 (C11)、Factor D 欠 損症 (CFD)、Properdin 欠損症		
65	原発性免疫不全症候群	遺伝子性血管性浮腫(C1インヒビター欠損症)1型				類似病名あるが決められない	<u>損症(GFD)、Properdin 欠損症</u> 遺伝性血管性浮腫 8846097 D841		
03									

告示番	A. 指定難病名	B. 告示病名以外の指定難病対象疾病名	ICD-10-1 ICD-10-	病名交換		レセプト傷病名マスター	疑義フラグ	コード付与に関するの備者(類似病名あるがBと同一か決めきれない例)	ここは見て! 備考
号	八. 祖之親祝石 「発性免疫不全症候群		100 10 1 100 10	4 用コード	州山 山 1	レビノ川場が石マスク	類似病名あるが決められ		には元 (二)
		遺伝子性血管性浮腫(C1インヒビター欠損症)3型					ない	遺伝性血管性浮腫 8846097 D841	
66 IgA		IgA腎症	N028		5831001	IgA腎症	類似病名あるが決められ		
		IgA腎炎					ない	IgA腎症 5831001 N028	
66 IgA	A腎症 A腎症	バージャー病	1731		4431001	バージャー病	類似病名あるが決められ		47 バージャ病にも同一病名あり
		IgA-IgG腎症					ない	IgA腎症 5831001 N028	
	· 発性囊胞腎 · 発性嚢胞腎	多発性嚢胞腎	Q613		8837063	3 多発性のう胞腎	類似病名あるが決められ		
		囊胞腎					ない	多発性のう胞腎 8837063 Q613	
	· 発性囊胞腎 · 色靱帯骨化症	常染色体劣性多発性嚢胞腎 黄色靱帯骨化症	Q611 M4889	VGUQ		日常染色体劣性多発性のう胞腎 日黄色靱帯骨化症			
69 後	縱靱帯骨化症	後縦靱帯骨化症	M4889	ARM1	8833497	7 後縦靱帯骨化症			
	節脊柱管狭窄症 発性大腿骨頭壊死症	広範脊柱管狭窄症 特発性大腿骨頭壊死症	M4800 M8705	DGNL A2PK		広範脊柱管狭窄症 特発性大腿骨頭壊死			
72 下	垂体性ADH分泌異常症	下垂体性ADH分泌異常症					対区ではののでは、大きな	抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 8833721 E222	
	垂体性ADH分泌異常症 垂体性ADH分泌異常症	中枢性尿崩症	E232	CEA5	2535006	中枢性尿崩症	類似病名あるが決められ		
		バゾプレシン分泌低下症					ない	尿崩症 2535005 E232	
	垂体性ADH分泌異常症 垂体性ADH分泌異常症	完全型中枢性尿崩症 部分型中枢性尿崩症	E232 E232	JNSK		完全型中枢性尿崩症 部分型中枢性尿崩症			
72 下	垂体性ADH分泌異常症	バゾプレシン分泌過剰症					親病名に統合の可能性	·ADH分泌過剰症(SIADH)とは、抗利尿ホルモン(ADH;バソプレシンと同	義)が異常に産生され、低ナトリウム血症を来す疾患である
	·垂体性TSH分泌亢進症 ·垂体性TSH分泌亢進症	下垂体性TSH分泌亢進症 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	E058 E220	HLN6		2 下垂体性TSH分泌亢進症 3 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症			
74 下	垂体性PRL分泌亢進症	下垂体性PRL分泌亢進症	E221		8849734	1 下垂体性プロラクチン分泌亢進症			
		クッシング病 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	E240	HHSQ	2550002	2 クッシング病	対区を自分のというと	コナドトロピン分泌異常 8833924 E230	
76 下	垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	中枢性思春期早発症	E228	EBAL	8837606	中枢性思春期早発症	類似物句ののかが次のりむ		
		下垂体ゴナドトロピン産生腫瘍 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	E220	V5RE	8849733	3 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	+31 / 10.00 W. WO.010	ゴナドトロピン分泌異常 8833924 E230	
78 下	垂体前葉機能低下症	下垂体前葉機能低下症	E230	. 511	8831247			「下垂体機能低下症」と同義	
78 下	垂体前葉機能低下症	ゴナドトロピン分泌低下症					類似病名あるが決められ ない	ゴナドトロピン分泌異常 8833924 E230 ??低ゴナドトロピン性性腺機能	低下症 8837874 E230
	垂体前葉機能低下症	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)分泌低下症	E230		8846072	2	その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用★	
	·垂体前葉機能低下症 ·垂体前葉機能低下症	甲状腺ホルモン(TSH)分泌低下症 成長ホルモン(GH)分泌不全症	E230 E230	L2SR	8849795	<mark>)</mark>) 成長ホルモン分泌不全	その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用★	r先天性TSH分泌低下症 I
78 下	垂体前葉機能低下症	GH分泌不全性低身長症(小児)	E230	MA70	8842944	4 成長ホルモン分泌不全性低身長症			
	· <u>垂体前葉機能低下症</u> ·垂体前葉機能低下症	成人GH分泌不全症 プロラクチン分泌低下症	E230 E230	Q4AC S553		成人成長ホルモン分泌不全 プロラクチン分泌低下症			
79 家	族性高コレステロール血症(ホモ接合	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	E780	MNH5	8845524	家族性高コレステロール血症・ホモ接合体			
	状腺ホルモン不応症 状腺ホルモン不応症	甲状腺ホルモン不応症 レフェトフ症候群	E078 E078	BP24 BP24		日状腺ホルモン不応症 ロフェトフ症候群			
80 甲:	状腺ホルモン不応症	REFETOFF症候群	E078	BP24	8841172	2			
	:天性副腎皮質酵素欠損症 :天性副腎皮質酵素欠損症	先天性副腎皮質酵素欠損症 先天性リポイド過形成症	E250	V3U7	8848210) 先天性リポイド副腎過形成症	類似病名あるが決められ	先天性副腎低形成症 8849801 Q891	
81 先	天性副腎皮質酵素欠損症	3β-水酸化ステロイド脱水素酵素欠損症	E250	V8KV		3β-水酸化ステロイド脱水素酵素欠損症			
	:天性副腎皮質酵素欠損症 :天性副腎皮質酵素欠損症	3 β ーヒドロキシステロイドデヒドロゲナーゼ 21ー水酸化酵素欠損症	E250	NT6M	8848311	21一水酸化酵素欠損症	親病名に統合の可能性	本症は副腎,性腺における3β-水酸化ステロイド脱水素酵素が先天的に	「欠損するため,副腎不全及び外性器異常をきたす疾患である。遺伝 ┃
81 先	天性副腎皮質酵素欠損症	11β-水酸化酵素欠損症	E250	QJ83	8848176	3 11 β 一水酸化酵素欠損症			
	:天性副腎皮質酵素欠損症 :天性副腎皮質酵素欠損症	17 α - 水酸化酵素欠損症 P450オキシドレダクターゼ欠損症	E250 E250	CP8K KP8J		7 17 α -水酸化酵素欠損症 B P450オキシドレダクターゼ欠損症			
82 先	:天性副腎低形成症	先天性副腎低形成症	Q891		8849801	<u> </u>	その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用	
		DAX-1異常症 SF-1/Ad4BP異常症(常染色体)	E274 E274	RU3T ELAL		DAX-1異常症 SF-1異常症			
82 先	天性副腎低形成症	IMAge症候群	E274	PPKJ	8848187	IMAge症候群			
83 P		<u> アジソン病 </u> 特発性アジソン病	E271 E271	H6Q4 JNR9		5 アジソン病 特発性アジソン病			
83 ア	ジソン病	多腺性自己免疫症候群	E310	T92A	8848211	多腺性自己免疫症候群1型			
83 75 83 75		多腺性自己免疫症候群 多腺性自己免疫症候群	E310 E310	E8QL SH3S		2 多腺性自己免疫症候群2型 3 多腺性自己免疫症候群3型			
83 75		I型(HAM症候群)	E271				親病名に統合の可能性	アジソン病に特発性副甲状腺機能低下症、皮膚カンジダ症を合併するエ	型(HAM症候群)と、アジソン病に橋本病などの自己免疫性甲状腺疾
83 75 83 75		II型(シュミット症候群) 部分的アジソン病	E271					アジソン病に特発性副甲状腺機能低下症、皮膚カンジダ症を合併する I アジソン病に特発性副甲状腺機能低下症、皮膚カンジダ症を合併する I	
84 サ.	ルコイドーシス	サルコイドーシス	D869	CR40 DMNJ		サルコイドーシスト			
85 特:	· <u>発性間質性肺炎</u> · 発性間質性肺炎	特発性間質性肺炎 特発性肺線維症	J841 J841	M6DJ	5163005	特発性間質性肺炎 特発性肺線維症			
	発性間質性肺炎 発性間質性肺炎	急性間質性肺炎 非特異性間質性肺炎	J841 J841	J8VH H5CA	1363003	3 急性間質性肺炎 7 非特異性間質性肺炎			
85 特:	発性間質性肺炎	特発性器質化肺炎	J841	FPM6	8845714	4 特発性器質化肺炎			
	発性間質性肺炎 発性間質性肺炎	剥離性間質性肺炎 呼吸細気管支炎関連性間質性肺疾患	J841 J841	Q5A5 CPUM		》剥離性間質性肺炎 呼吸細気管支炎関連性間質性肺疾患			
85 特:	発性間質性肺炎	リンパ球性間質性肺炎	J841	DAJ9	5168010	リンパ球性間質性肺炎			
	発性間質性肺炎 発性間質性肺炎	通常型間質性肺炎 びまん性肺胞傷害	J841 J841	K5A7 QP87		3 通常型間質性肺炎 びまん性肺胞傷害			
86 肺	i動脈性肺高血圧症	肺動脈性肺高血圧症	I270	A40C		ける。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
	i動脈性肺高血圧症 i動脈性肺高血圧症	遺伝性肺高血圧症 膠原病に伴う肺動脈性肺高血圧症	1270				親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性		
86 肺	動脈性肺高血圧症	先天性シャント性疾患に伴う肺動脈性肺高血圧症	1270				親病名に統合の可能性	肺動脈性肺高血圧症	
	i動脈性肺高血圧症 i動脈性肺高血圧症	門脈圧亢進症に伴う肺動脈性肺高血圧症 HIV感染に伴う肺動脈性肺高血圧症	1270				親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	肺動脈性肺高血圧症 肺動脈性肺高血圧症	
86 肺	動脈性肺高血圧症	薬剤誘発性の肺動脈性肺高血圧症	1270				親病名に統合の可能性	肺動脈性肺高血圧症	
	i動脈性肺高血圧症 i静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	呼吸器疾患に合併した肺動脈性肺高血圧症 肺静脈閉塞症	I270 I270	R71S	8845466	防静脈閉塞症	親病名に統合の可能性	肺動脈性肺高血圧症	
87 肺	i静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	肺毛細血管腫症	I270	R9UV	8846206	肺毛細血管腫症			
	性血栓塞栓性肺高血圧症性血栓塞栓性肺高血圧症	慢性血栓塞栓性肺高血圧症 特発性慢性肺血栓塞栓症	I272 I269	HCD3 B6QB		慢性血栓塞栓性肺高血圧症 特発性慢性肺血栓塞栓症			
89 リン	ンパ脈管筋腫症	リンパ脈管筋腫症	D219	NS9D		りしています。			
		結節性硬化症(TSC)に伴って発生するリンパ脈管筋腫症	D219				親病名に統合の可能性	リンパ脈管筋腫症	
89 17.	ンパ脈管筋腫症		52.0				かいからしていたロック・リカロエ		
89 リン	ンパ脈管筋腫症	(TSC-LAM) 孤発性リンパ脈管筋腫症(孤発性LAM)	D219				親病名に統合の可能性	リンパ脈管筋腫症	
89 リン 90 網		(TSC-LAM)	D219 H355	N4QE	8842213 8835687	網膜色素変性		リンパ脈管筋腫症 みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用	

告示番号	 A. 指定難病名	B. 告示病名以外の指定難病対象疾病名	ICD-10-1 ICD-	-10-2 病名交換	病名コート	レセプト傷病名マスター	疑義フラグ	コード付与に関するの備考(類似病名あるがBと同一か決めきれない例な	ここは見て! 備考
	ド・キアリ症候群	バッド・キアリ症候群	1820	- HJ-г QQ51		 バッド・キアリ症候群			
91 バット	ド・キアリ症候群	原発性バッド・キアリ症候群	1820				親病名に統合の可能性		
91 バット	ド・キアリ症候群 性門脈圧亢進症	一過性バッド・キアリ症候群 特発性門脈圧亢進症	1820 K766	N1SH	E70200	 特発性門脈圧亢進症	親病名に統合の可能性	バッド・キアリ症候群	
	性胆汁性胆管炎	特先住门旅往光连征 原発性胆汁性胆管炎	K743	H799		原発性胆汁性胆管炎			
93 原発	性胆汁性胆管炎	症候性原発性胆汁性胆管炎	K743	GS8G	8849027	症候性原発性胆汁性胆管炎			
	性胆汁性胆管炎 性硬化性胆管炎	無症候性原発性胆汁性胆管炎 原発性硬化性胆管炎	K743 K830	H12B FMAG		無症候性原発性胆汁性胆管炎 原発性硬化性胆管炎			
	性硬化性胆管炎	肝内型原発性硬化性胆管炎	K830	FMAG	3/61008	原光注使1.注胆官交	親病名に統合の可能性	原発性硬化性胆管炎	
94 原発	性硬化性胆管炎	肝外型原発性硬化性胆管炎	K830				親病名に統合の可能性	原発性硬化性胆管炎	
94 原発 95 自己	性硬化性胆管炎	肝内外型原発性硬化性胆管炎 自己免疫性肝炎	K830 K754	FGCF	E722000	自己免疫性肝炎	親病名に統合の可能性	原発性硬化性胆管炎	
96 DD-		クローン病	K509	SS1D	555900	クローン病			
96 クロー		回腸末端炎	K500	M4N4		回腸クローン病			
97 潰瘍		潰瘍性大腸炎 潰瘍性大腸炎	K510 K510	U6KH R9AT		急性激症型潰瘍性大腸炎 劇症型潰瘍性大腸炎			
97 潰瘍	性大腸炎	潰瘍性大腸炎	K510	J0RC	8845798	重症潰瘍性大腸炎			
97 潰瘍		<u>潰瘍性大腸炎</u> 潰瘍性大腸炎	K510 K512	P9N3 M4PU		<u>潰瘍性大腸炎·全大腸炎型</u> 潰瘍性大腸炎·直腸炎型			
97		潰瘍性大腸炎	K512	FELT		演場性人勝炎・直腸炎至 潰瘍性大腸炎・直腸S状結腸炎型			
97 潰瘍	性大腸炎	潰瘍性大腸炎	K518	T62M	8845754	潰瘍性大腸炎·左側大腸炎型			
97 潰瘍		潰瘍性大腸炎 潰瘍性大腸炎	K518 K519	NMG0 U9MD		急性潰瘍性大腸炎 ステロイド依存性潰瘍性大腸炎			
97		潰瘍性大腸炎	K519	L25G		ステロイド抵抗性潰瘍性大腸炎			
97 潰瘍	性大腸炎	潰瘍性大腸炎	K519	BCBM	8845766	活動期潰瘍性大腸炎			
97 潰瘍		<u>潰瘍性大腸炎</u> 潰瘍性大腸炎	K519 K519	GN1M HH6L		緩解期潰瘍性大腸炎 軽症潰瘍性大腸炎			
97 潰瘍		潰瘍性大腸炎	K519	TVCV		再燃緩解型潰瘍性大腸炎			
97 潰瘍		潰瘍性大腸炎	K519	DFEF		初回発作型潰瘍性大腸炎			
97 潰瘍		潰瘍性大腸炎 潰瘍性大腸炎	K519 K519	DEAM UC38		中等症潰瘍性大腸炎 潰瘍性大腸炎			
97 潰瘍		潰瘍性大腸炎	K519	RPQ7	8845759	潰瘍性大腸炎再燃			
97 潰瘍		潰瘍性大腸炎	K519	DKC2		潰瘍性大腸炎性若年性関節炎			
97 潰瘍		<u>潰瘍性大腸炎</u> 潰瘍性大腸炎	K519 O996	EB63 R679		慢性持続型潰瘍性大腸炎 潰瘍性大腸炎合併妊娠			
97 潰瘍	性大腸炎	潰瘍性大腸炎	Z904	J7ST	8845760	潰瘍性大腸炎術後			
	球性消化管疾患	消化管を主座とする好酸球性炎症症候群	KEOO	CDELL	004000	ᇰᄥᇎᄼᅚᆇᅅᅖᄜᄽ	親病名に統合の可能性	消化管を主座とする好酸球性炎症症候群(以下Eosinophilic Gastro-intesti	inal Disorder: EGIDとする)は、新生児-乳児における食物蛋白誘発
	球性消化管疾患 球性消化管疾患	新生児乳児食物蛋白誘発胃腸炎 好酸球性食道炎	K522 K20	SD5U SG70		食物蛋白誘発胃腸炎 好酸球性食道炎			
98 好酸	球性消化管疾患	好酸球性胃腸炎	K528	BFNR		好酸球性胃腸炎			
	球性消化管疾患 球性消化管疾患	好酸球性消化管疾患(新生児-乳児) 好酸球性消化管疾患(小児-成人)						消化管を主座とする好酸球性炎症症候群(以下Eosinophilic Gastro-intesti 消化管を主座とする好酸球性炎症症候群(以下Eosinophilic Gastro-intesti	
	特発性偽性腸閉塞症	慢性特発性偽性腸閉塞症	Q438	QK43	8848227	慢性特発性偽性腸閉塞症			mai Disorder、EdiDとする/は、利土光-孔光における長初虽白訪先
	膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	Q438 Q64			巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症			
	神経節細胞僅少症 ンシュタイン・テイビ症候群	腸管神経節細胞僅少症 ルビンシュタイン・テイビ症候群	Q438 Q872	AQDU HLHS		陽管神経節細胞僅少症 テイビ症候群			
102 ルビ	ンシュタイン・テイビ症候群	ヒストンアセチル化異常症					親病名に統合の可能性	ルビンシュタイン・テイビ症候群はヒストンアセチル化異常症と考えられる。	
103 CFC		CFC症候群 CFC症候群	Q878	AGPF	8848183	CFC症候群 心臓・顔・皮膚症候群			
103 CFC		コステロ症候群	Q871	KM9V	8845927	心臓・風・及周症疾症 コステロ症候群			
105 チャー		CHARGE症候群	Q878	DMEA		CHARGE症候群			
	ナピリン関連周期熱症候群 ナピリン関連周期熱症候群	クリオピリン関連周期熱症候群 家族性寒冷自己炎症症候群	D898 L500	H10L 8 R1V2		クリオピリン関連周期熱症候群 家族性寒冷自己炎症症候群			
	プログラス 単一	マックル・ウエルズ症候群	D898 E85			マックル・ウエルズ症候群			
	ナピリン関連周期熱症候群	新生児期発症多臓器系炎症性疾患	D898 M12	28 TV4J	8847034	新生児期発症多臓器系炎症性疾患			
	ナピリン関連周期熱症候群 歴史	慢性乳児神経皮膚関節症候群(CINCA症候群)	D898 M089	A66N	004474	艾左사柱장사明な火	親病名に統合の可能性	クリオピリン関連周期熱症候群は、慢性乳児神経皮膚関節炎症候群 (chro	onic infantile neurological cutaneous articular syndrome; CINCA) 、
	性特発性関節炎 性特発性関節炎	若年性特発性関節炎 全身型若年性特発性関節炎	M082	U6GP	8845133	若年性特発性関節炎 全身型若年性特発性関節炎			
107 若年	性特発性関節炎	関節型若年性特発性関節炎	M088	D5G7	8845118	関節型若年性特発性関節炎			
	受容体関連周期性症候群 型溶血性尿毒症症候群	TNF受容体関連周期性症候群 非典型溶血性尿毒症症候群	D898 D593	E74J BFP3		TNF受容体関連周期性症候群 非典型溶血性尿毒症症候群			
110 ブラウ		ブラウ症候群	D898	CFAS		ブラウ症候群			
110 ブラウ		NOD2変異に関連した全身性炎症性肉芽腫性疾患	D898		004140	# 	親病名に統合の可能性	NOD2変異に関連した全身性炎症性肉芽腫性疾患(ブラウ症候群/若年発病	症サルコイドーシス)
111 先天		先天性ミオパチー ネマリンミオパチー	G712 G712	H5JT C1SR		先天性ミオパチー ネマリンミオパチー			
111 先天	性ミオパチー	セントラルコア病	G712	NBQK		セントラルコア病			
<u>111 先天</u> 111 先天	性ミオパチー	中心核病	G712				親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性	先天性ミオパチー	
111 先天		マルチミニコア病	G712				親病名に統合の可能性		
111 先天	性ミオパチー	ミオチュブラーミオパチー	G712	Q3VR	8841427	ミオチューブラーミオパチー			
111 先天	<u>性ミオバチー</u> !性ミオパチー	中心核ミオパチー 先天性筋線維タイプ不均等症	G712				親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性		
		マリネスコ・シェーグレン症候群	G111	HK65	8841419	マリネスコ・シェーグレン症候群	初め石で帆台の可能圧	九人住气引入了	
113 筋ジ		筋ジストロフィー	G710	JRTT		筋ジストロフィー	7.0/11	7 1 1 1 1 1 1 1	- W. V I
113 筋ジ 113 筋ジ		ジストロフィン異常症 デュシェンヌ型筋ジストロフィー	G710 G710	G586	8848569 3591004	デュシェンヌ型筋ジストロフィー	その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用★女	ス性シストロフィン異常症
113 筋ジ	ストロフィー	ベッカー型筋ジストロフィー	G710	C6RE	3591001	ベッカー型筋ジストロフィー			
113 筋ジ		女性ジストロフィン異常症 顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー	G710	UK4N	8848569	女性ジストロフィン異常症 顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー			
113 筋ジ 113 筋ジ		関 関 同 同 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	G710 G710	RQ1A	308101	原田月Tエ腕至肋ンヘトロノイー	親病名に統合の可能性	顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー	
113 筋ジ	ストロフィー	顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー2	G710			Ado To the Lil No. 1		顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー	
113 筋ジ 113 筋ジ		筋強直性ジストロフィー 筋強直性ジストロフィー1	G711	NHRQ	3592016	筋強直性ジストロフィー	親病名に統合の可能性		
113 筋ジ		筋強直性ジストロフィー 1 筋強直性ジストロフィー2	G711				親病名に統合の可能性	筋強直性ジストロフィー	
113 筋ジ	ストロフィー	エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー	G710	LCRQ	8848466	エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー			
113 筋ジ 113 筋ジ		エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー1 エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー2	G/10					エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー	
113 筋ジ	ストロフィー	エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー3	G710				親病名に統合の可能性	エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー	
113 筋ジ		エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー4	G710					エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー	
113 筋ジ 113 筋ジ		エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー5 エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー6	G710					エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー	
113 筋ジ	ストロフィー	エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー7	G710				親病名に統合の可能性	エメリー・ドレイフス型筋ジストロフィー	
113 筋ジ 113 筋ジ		眼咽頭筋型筋ジストロフィー 肢帯型筋ジストロフィー	G710 G710	Q1K3 CDM5		眼咽頭筋型筋ジストロフィー 肢帯型筋ジストロフィー			
II3 MDン	A1 H21	以中土別ノハドロノ1ー	G/10	IONIO	0041410	灰巾生別ノハロリノ1一			

示番 号	A. 指定難病名	B. 告示病名以外の指定難病対象疾病名		ICD-10-2	病名交換 用コード	がロコート	レセプト傷病名マスター	疑義フラグ	コード付与に関するの備考(類似病名あるがBと同一か決めきれない例)	ここは見て! 備考
	ストロフィー性ミオトニー症候群ストロフィー性ミオトニー症候群	非ジストロフィー性ミオトニー症候群 先天性ミオトニー	G711		GUGU	8848658	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	親病名に統合の可能性	CLCN1遺伝子変異が原因の場合には、「先天性ミオトニー」と呼ばれ、遺	 伝の形式によって更に「トハヤン病 」と「ベッカー病 」とに 公かれ
	ストロフィー住ミオトニー症候群	トムゼン病	G711		QHH3	8848638	トムゼン病	がからに削らりり形に	OLONT 退伍于多英が原因の場合には、「九人はミオトーー」と呼ばれ、退	はの形式によりて更に下五セン病」というの一病」とに力がれた
	ストロフィー性ミオトニー症候群	ベッカー病	G711		MK63	8840028	ベッカー病	如点ならはなることは		
	ストロフィー性ミオトニー症候群 ストロフィー性ミオトニー症候群	カリウム惹起性ミオトニー ナトリウムチャネルミオトニー	G/11 G711					親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性	CLCNI遺伝子変異が原因の場合には、「先天性ミオトニー」と呼ばれ、遺 CLCNI遺伝子変異が原因の場合には、「先天性ミオトニー」と呼ばれ、遺	伝の形式によって更に「トムセン病」と「ヘッカー病」とに分かれ 伝の形式によって更に「トムセン病」と「ベッカー病」とに分かれ
4 非ジ	ストロフィー性ミオトニー症候群	先天性パラミオトニー	G711					親病名に統合の可能性	CLCN1遺伝子変異が原因の場合には、「先天性ミオトニー」と呼ばれ、遺	
5 遺伝	性周期性四肢麻痺 性周期性四肢麻痺	遺伝性低カリウム性周期性四肢麻痺	G723		GP4J	3440006	周期性四肢麻痺	知点なになるの可能性	(C+U+) / 林田如林四叶麻麻 A. J T. 以东於我(フ)	
5 退伍	(性周期性四肢麻痺 -性周期性四肢麻痺	遺伝性高カリウム(正カリウム)性周期性四肢麻痺 アンデルセン・タウィル症候群	G723					親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	低カリウム性周期性四肢麻痺、Andersen-Tawil症候群(アンデルセン・タ 低カリウム性周期性四肢麻痺、Andersen-Tawil症候群(アンデルセン・タ	
6 アトt	ピー性脊髄炎	アトピー性脊髄炎	G048				アトピー性脊髄炎	1967F3 11 - 19611 07 - 3 1361X	ESSY / TEMPORE THE PROPERTY OF	
7 脊髄 7 脊髄		脊髄空洞症 延恢に胃臓空洞症※無症医は胃臓空洞症及び枕光は胃臓	G950			3360003	脊髄空洞症	親病名に統合の可能性	 脊髄空洞症	
7 脊髄		<u> 空間 </u>	G950					親病名に統合の可能性		
7 脊髄	空洞症	2)キアリ奇形2型を伴う脊髄空洞症	G950					親病名に統合の可能性	脊髄空洞症	
7 脊髄		け、大学リカルをかくを整つには、 特発性脊髄空洞症(成員による分類で上記1)~3)および続	G950					親病名に統合の可能性	脊髄空洞症	
7 脊髄	2.2.河班	特先性骨髄空洞症(成員による分類で上記1)~3)およい続 発性を除く)	G950					親病名に統合の可能性	脊髄空洞症	
8 脊髄		脊髄髄膜瘤	Q059		CLHE		脊髄髄膜瘤			
8 脊髄		脊髄瘤 空間 では、	Q059		E84C	8836003	脊髄瘤	知点ないなみの可能性	中央 風味 風味 四共 45元	
8 脊髄8 脊髄		脊髄嚢瘤 脊髄瘤空洞症	G950		FPQ7	3360003	脊髄空洞症	親病名に統合の可能性	脊髄髄膜瘤 	
9 アイ	ザックス症候群	アイザックス症候群	G711		GVMG	8830158	アイザックス症候群			
	ザックス症候群	モルバン症候群	G608		A8RH	8840683	モルバン病	エバハリートロナン		
9 アイ 0 遺伝	<u>ザックス症候群</u> :性ジストニア	抗VGKC複合体抗体関連脳炎 遺伝性ジストニア	G241		U8BQ	8848454	遺伝性ジストニア	手がかり一切なし		
0 遺伝	性ジストニア	DYT1ジストニア	G241			2.2.3		親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
	性ジストニア	上肢型DYT1ジストニア	G241					親病名に統合の可能性	造伝性ジストニア	
	<u>性ジストニア</u> 性ジストニア	下肢型DYT1ジストニア DYT2ジストニア	G241					親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア 遺伝性ジストニア	1
0 遺伝	性ジストニア	DYT3ジストニア	G241					親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
	性ジストニア	XDP	G241					親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
	<u>性ジストニア</u> 性ジストニア	lubag DYT4ジストニア	G241					親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア 遺伝性ジストニア	1
0 遺伝	性ジストニア	DYT5ジストニア	G241					親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
	性ジストニア	瀬川病	G241		PHTH	8842320				
	<u>性ジストニア</u> 性ジストニア	ドパ反応性ジストニア DYT6ジストニア	G241		A2UB	8842321	ドーパ反応性ジストニア	親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
0 遺伝	性ジストニア	DYT7ジストニア	G241					親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
	性ジストニア	DYT8ジストニア	G241					親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
	<u>性ジストニア</u> 性ジストニア	発作性非運動誘発性ジスキネジア1 DYT9ジストニア	G241					親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア 遺伝性ジストニア	
	性ジストニア	発作性舞踏アテトーシス・痙性対麻痺	G241					親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
0 遺伝	性ジストニア	DYT10ジストニア	G241					親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
	<u>性ジストニア</u> 性ジストニア	反復発作性運動誘発性ジスキネジア1 DYT11ジストニア	G241					親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア 遺伝性ジストニア	
	性ジストニア	ミオクローヌス・ジストニア症候群	G241						遺伝性ジストニア	
0 遺伝	性ジストニア	DYT12ジストニア	G241					親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
	<u>性ジストニア</u> 性ジストニア	急性発症ジストニア・パーキンソニズム(RDP) 小児交互性片麻痺(AHC)	G241 G819			8849760		親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用	
	(ロンペパー) 性ジストニア	小脳失調症深部反射消失凹足視神経萎縮感覚神経障害性	0019			8049700				
		聴覚障害(CAPOS)	G241					親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
	性ジストニア	DYT13ジストニア DYT14ジストニア	G241					親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	<u> </u>
	性ジストニア 性ジストニア	DYT15ジストニア	G241					親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
0 遺伝	性ジストニア	DYT16ジストニア	G241					親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
0 遺伝	<u>性ジストニア</u> 性ジストニア	DYT17ジストニア DYT18ジストニア	G241					親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア 遺伝性ジストニア	<u> </u>
	(性ンストーア ・性ジストニア	日 1180ストーア 発作性労作誘発性ジスキネジア	G241 G241						遺伝性ジストニア	
0 遺伝	性ジストニア	DYT19ジストニア	G241					親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
	性ジストニア	反復発作性運動誘発性ジスキネジア2	G241						遺伝性ジストニア	
	性ジストニア 性ジストニア	DYT20ジストニア NBIA1	G241						遺伝性ジストニア 遺伝性ジストニア	1
0 遺伝	性ジストニア	Hallervorden-Spatz syndrome	G241					親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
	性ジストニア	Pantothenate kinase-associated neurodegeneration	G241						遺伝性ジストニア	
	<u>性ジストニア</u> 性ジストニア	HARP症候群 NBIA2a	G241						遺伝性ジストニア 遺伝性ジストニア	1
遺伝	性ジストニア	乳児神経軸索ジストロフィー	G318		DLV0	8848644	乳児神経軸索ジストロフィー			
	性ジストニア	NBIA2b	G241					親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
	<u>性ジストニア</u> 性ジストニア	Karak症候群 NBIA3	G241					親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア 遺伝性ジストニア	1
遺伝	性ジストニア	神経フェリチン症	G238		LJDT	8848552	神経フェリチン症			121神経フェリチン症にも同病名あり
	性ジストニア	NBIA4	G241	-	\/24E	0040404	無わルロプラフミン・血症	親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
	<u>性ジストニア</u> 性ジストニア	無セルロプラスミン血症 Fatty Acid Hydroxylase-associated neurodegeneration	E830		V245	884U491	無セルロプラスミン血症		VB (= 14.35 = 1 =)	
		(FAHN)	G241					親病名に統合の可能性	遺伝性ジストニア	
	フェリチン症 ヘモジデリン沈着症	神経フェリチン症 脳表へモジデリン沈着症	G238		LJDT		神経フェリチン症 脳表へモジデリン沈着症			120にも同病名あり
	ヘモンテリン沈有症 ヘモジデリン沈着症	脳表へモンテリン沈着症 古典型脳表へモジデリン沈着症	G968 G968		ALTJ ALTJ	8848652				
		表頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症		I678	ESGR	8847913	CARASIL			
		皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	F011	I678	T756		CADASIL			
	軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性 一症候群	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症 ペリー症候群	G318 G238	R068	J0NP PSPK	8848436	HDLS ペリー症候群			
	一 <u>炡候群</u>]側頭葉変性症	ヘリー症候群 前頭側頭葉変性症	Q310	KU08	Q420		ヘリー症候群 前頭側頭葉変性症			
7 前頭	側頭葉変性症	(行動異常型)前頭側頭葉変性症	G310			5050	The second secon	親病名に統合の可能性	前頭側頭葉変性症	
	側頭葉変性症	意味性認知症	G310]			類似病名あるが決められ	前頭側頭葉型認知症 8844891 G310 認知症の約1割を占める前頭側頭	
3 ビッ	カースタッフ脳幹脳炎	 ビッカースタッフ脳幹脳炎	G610		JH6L	8848661	ビッカースタッフ脳幹脳炎	ない		
9 痙攣	重積型(二相性)急性脳症	痙攣重積型(二相性)急性脳症	G934		T04V	8848705	痙攣重積型急性脳症			
9 痙攣	重積型(二相性)急性脳症	痙攣重積型(二相性)急性脳症	G934		CDDN		痙攣重積型二相性急性脳症			
	性無痛無汗症 性無痛無汗症	先天性無痛無汗症 遺伝性感覚自律神経性ニューロパチー4型	G608 G608	1	L5UQ KLT2		先天性無痛無汗症 遺伝性感覚性自律神経性ニューロパチー			4型と5型があるがマスターでは分けられてい
	キサンダー病	アレキサンダー病	E752		PAA2		アレキサンダー病			12227 0507 1715 (107) 17540 (0

示番 号	A. 指定難病名	B. 告示病名以外の指定難病対象疾病名	ICD-10-	-1 ICD-10-2 病名 用コ	交換 病名コ	1ード	レセプト傷病名マスター	疑義フラグ	コード付与に関するの備考(類似病名あるがBと同一か決めきれない例		備考
	プレキサンダー病 プレキサンダー病	延髄・脊髄優位型(2型)アレキサンダー病中間型(3型)アレキサンダー病	E752					親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性	アレキサンダー病では多彩な神経症状がみられますが、大きく「大脳優化アレキサンダー病では多彩な神経症状がみられますが、大きく「大脳優化	2型」、「延髄・脊	髄優位型」、「中間型」の4つの型に分類できます
	・レイザンダー病 た天性核上性球麻痺	中间型(3型)アレキザンダー病 先天性核上性球麻痺	G122	UM34	8849	9541		祝衲石に祝音の可能性	アレキザンダー病では多彩な仲経症状がみられますが、入さく 人脳後1	Z空」、「延髄*1	一平成30年6月傷病名マスター追加のためKDB会
3 1	ビウス症候群	メビウス症候群	Q870	VKQN	1 8840	0547 メ	ごウス症候群				
	隔視神経形成異常症/ドモルシア症候 隔視神経形成異常症/ドモルシア症候		Q044 Q044	D5RE	8845	5421 中	隔視神経形成異常症	親病名に統合の可能性	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群(指定難病134)		
	「 <u>楠悦神経形成英常症/ドモルンチ症候</u> 7イカルディ症候群	アイカルディ症候群	Q878	UMEN	8830	0323 ア	イカルディ症候群	税例石に献立の円配注	中間祝神社が収集帯症/ドモルノケ症候件(指足無例 134)		
	1側巨脳症	片側巨脳症	Q045	TS70	8846	6338 片	側巨脳症				
37	艮局性皮質異形成	限局性皮質異形成	Q048	LPJ	8849	9527	_				平成30年6月傷病名マスター追加のためKDB
37 涯	艮局性皮質異形成	限局性皮質異形成タイプ1a	Q048					親病名に統合の可能性	限局性皮質異形成タイプ		4C.
	限局性皮質異形成 	限局性皮質異形成タイプ1b	Q048					親病名に統合の可能性	限局性皮質異形成タイプ		
	艮局性皮質異形成 艮局性皮質異形成	限局性皮質異形成タイプ1c 限局性皮質異形成タイプ2a	Q048 Q048					親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	限同性皮質異形成タイプ 限局性皮質異形成タイプ		
37 阻	艮局性皮質異形成	限局性皮質異形成タイプ2b	Q048					親病名に統合の可能性	限局性皮質異形成タイプ		
	<u>艮局性皮質異形成</u> 艮局性皮質異形成	限局性皮質異形成タイプ3a 限局性皮質異形成タイプ3b	Q048					親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	限局性皮質異形成タイプ		
	8.同注及負 共形成 艮局性皮質異形成	限局性及負異形成タイプ3c	Q048					親病名に統合の可能性			
	艮局性皮質異形成	限局性皮質異形成タイプ3d	Q048					親病名に統合の可能性	限局性皮質異形成タイプ		
38 7	申経細胞移動異常症	神経細胞移動異常症						類似病名あるが決められない	先天性脳奇形 7424005 Q049 神経細胞移動異常症は、しばしば重篤な	てんかんを伴う	大脳半球の形成異常症であり、灰白質の配置
38 神	申経細胞移動異常症	古典型滑脳症						類似病名あるが決められ	滑脳症 8831390 Q043		
00 4	+ 67 (m 15 10 51 FB ++ c+		0.040	41154	0040	0504 477	my co de	ない	7月11日11上 003 1 390 (3043		
	申経細胞移動異常症 申経細胞移動異常症	無脳回症 厚脳回	Q043 Q043	AUB1			脳回症 脳回症				
38 神	申経細胞移動異常症	異所性灰白質	Q048	M9MS	7424	4016 異	所性灰白質				
	申経細胞移動異常症 申終細胞移動異常症	皮質下帯状異所性灰白質	Q043	GBJ2	8848	8657皮	質下帯状異所性灰白質	新州 <u>住夕もてが</u> からよ			
30 作	申経細胞移動異常症	脳室周囲結節状異所性灰白質	Q043					類似病名あるが決められ ない	異所性灰白質 7424016 Q048		
	申経細胞移動異常症 	多小脳回	Q043	R81P	8848	8 <mark>604</mark> 多	小脳回	その他	みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用		
38 神	申経細胞移動異常症	傍シルビウス裂多小脳回						類似病名あるが決められたい	多小脳回 8848604 Q043		
38 神	申経細胞移動異常症							·40 ·	多小脳回 8848604 Q043		
1		敷石様皮質異形成						親病名に統合の可能性	▽「先天性両側性傍シルビウス裂症候群」は、「神経細胞移動異常症」に		
138 72	申経細胞移動異常症	製脳症	Q046	AK7S	99/11	1168 裂	- No.		包含される		
	神経細胞移動異常症	孔脳症	Q046	QEMI		4001 孔					
	申経細胞移動異常症 	ミラー・ディカー症候群	Q878	PRHO	8844	4328 ₹	ラー・ディカー症候群	***			
38 4	申経細胞移動異常症	X 連鎖性滑脳症	Q043					類似病名あるが決められない	滑脳症 8831390 Q043		
39	· 卡天性大脳白質形成不全症	先天性大脳白質形成不全症	G378	UL46	8848	8586 先	天性大脳白質形成不全症	75.0			
	· 天性大脳白質形成不全症	ペリツェウス・メルツバッハ病	E752	N6KF			リツェウス・メルツバッハ病				
	t天性大脳白質形成不全症 t天性大脳白質形成不全症	ペリツェウス・メルツバッハ様病1 基底核および小脳萎縮を伴う髄鞘形成不全症	G378 G378	LJJ9 RNSF			リツェウス・メルツバッハ様病1 底核および小脳萎縮を伴う髄鞘形成不全症				
139	大性大脳白質形成不全症	18q欠失症候群	Q935	P4SF	8848	8425 18	3q欠失症候群				
	· 天性大脳白質形成不全症	アラン・ハーンドン・タドリー症候群	G378	F69K			ラン・ハーンドン・ダドリー症候群				
	t天性大脳白質形成不全症 t天性大脳白質形成不全症	Hsp60 シャペロン病	G378 E888	R2T3 H3P9	8848	8437円: 6137 サ	sp60 シャペロン病 ラ病				
139	大性大脳白質形成不全症	小脳萎縮と脳梁低形成を伴うび漫性大脳白質形成不全症	G378	L4UU	8848	8435 H	CAHC				
	t天性大脳白質形成不全症 t天性大脳白質形成不全症	先天性白内障を伴う髄鞘形成不全症 失調、歯牙低形成を伴う髄鞘形成不全症	G378 G378	JQEK HQT3			天性白内障を伴う髄鞘形成不全症 調と歯牙低形成を伴う髄鞘形成不全症				
	<u>[天性大脳白質形成不主症</u> 天性大脳白質形成不全症		G376	HQTS	0040	0000	調と困ず低形成を干り腿粗形成个主症	類似病名あるが決められ			
		脱髓型末梢神経炎						ない	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 8841670 G618		
	t天性大脳白質形成不全症 t天性大脳白質形成不全症	脱髄型末梢神経障害 中枢性髄鞘形成不全症							対応する病名なし 対応する病名なし		
139	· 天性大脳白質形成不全症	ワーデンバーグ症候群							対応する病名なし		
	·天性大脳白質形成不全症	ヒルシュスプルング病	Q431	UEC			ルシュスプルング病				正式00万0日/左右フラカー 泊切のも b//DD
	うべ症候群 毎馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	ドラベ症候群 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	G404 G402	RQ1N CEJH			-				平成30年6月傷病名マスター追加のためKDB 平成30年6月傷病名マスター追加のためKDB
			GIOZ	0201	0010	0021	_				なし。
42 ₹	オクロニー欠神てんかん	ミオクロニー欠神てんかん	G404	AGF	8849	9552	_				平成30年6月傷病名マスター追加のためKDI
43 =	オクロニー脱力発作を伴うてんかん	 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	G404	QKHO							なし。 平成30年6月傷病名マスター追加のためKDI
							-				なし。
	/ノックス・ガスト一症候群 ウエス ト症候群	レノックス・ガストー症候群 ウエスト症候群	G404 G404	HBMF D4R7	8841 3456		ノックス・ガストー症候群				「ウェスト庁候群」け立成20年6月梅庁タラス
	フエ <u>スト症候群</u> 大田原症候群	ワエスト症候群 大田原症候群	G404 G404	D4R7							「ウエスト症候群」は平成30年6月傷病名マストルの10円の10円の10円の10円の10円の10円の10円の10円の10円の10円
	関ミオクロニー脳症	早期ミオクロニー脳症	G404	T8ND			_				** 次30年0万
48 遊	遊走性焦点発作を伴う乳児でんかん	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	G401	NEQT	8849	9555	_				平成30年6月傷病名マスター追加のためKDE なし。
49 F	†側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	G405	S08R	8840	0001片	側痙攣片麻痺てんかん症候群				-50
	環状20番染色体症候群	環状20番染色体症候群	Q932	RFQ6			—				平成30年6月傷病名マスター追加のためKDE
	ラスムッセン脳炎	ラスムッセン脳炎	G048	G405 KFAN			<u> </u>			 	なし。 平成30年6月傷病名マスター追加のためKDB
	アCDH19関連症候群	PCDH19関連症候群	G404	UTD0							平成30年6月傷病名マスター追加のためKDB
											なし。 一下成30年0万 家物石マヘメー 垣加のためのしまた。
	推治頻回部分発作重積型急性脳炎 推治頻回部分発作重積型急性脳炎	難治頻回部分発作重積型急性脳炎 特異な脳炎・脳症後てんかんの一群(粟屋、福山型)	G405	PR35	8849	9547	_	親病名に統合の可能性	 難治頻回部分発作重積型急性脳炎 acute encephalitis with refractory,	enetitive nartia	+-1 seizures (AFRRPS) は極めて難治かつ頬回の
53 糞	惟治頻回部分発作重積型急性脳炎	FIRES	G405					親病名に統合の可能性	難治頻回部分発作重積型急性脳炎 acute encephalitis with refractory,	epetitive partia	seizures (AERRPS) は極めて難治かつ頻回の
53 糞	推治頻回部分発作重積型急性脳炎	NORSE症候群 冷波時間期持続性神冷波をデオブルかん性脳症	G405	SMR	1 0040	0520		親病名に統合の可能性	難治頻回部分発作重積型急性脳炎 acute encephalitis with refractory,	epetitive partia	seizures (AERRPS) は極めて難治かつ頻回の 干成30平0万陽納石マステー造加のために
	:波睡眠期持続性棘徐波を示すてんか ランドウ・クレフナー症候群	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症 ランドウ・クレフナー症候群	G408 F803	SMR E6P6							
56 レ	/ツト症候群	レット症候群	F842	GG34			ツト症候群				
	ルル 左 候 群	典型的レット症候群	F842	T T				親病名に統合の可能性		1	
	<u>/ット症候群</u> スタージ・ウェーバー症候群	非典型的レット症候群 スタージ・ウェーバー症候群	F842 Q858	CF29	8835	5730 ヌ	タージ・ウェーバ症候群	親病名に統合の可能性	レツト延候群		
58 紹	吉節性硬化症	結節性硬化症	Q851	VQ87	7595	5005 結	節性硬化症				
	色素性乾皮症 2.素性************************************	色素性乾皮症	Q821	SRS	8834	4194 色	素性乾皮症	加売りには入る一かり			XP(xeroderma pigmentosum)の略、色素性
	色素性乾皮症 色素性乾皮症	色素性乾皮症A群 色素性乾皮症B群	Q821					親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性		1	1
59 住	色素性乾皮症	色素性乾皮症C群	Q821					親病名に統合の可能性	色素性乾皮症	1	1
1 5	色素性乾皮症	色素性乾皮症D群 色素性乾皮症E群	Q821					親病名に統合の可能性	色素性乾皮症		
	色素性乾皮症							親病名に統合の可能性	1年表現 医肠状	1	1

10	
Column	
The content of the	
### 1997	
10	は優性・劣性に分けられている。
1.	
10	
### 1995	
19 19 19 19 19 19 19 19	
10	疫不全症候群にも同一疾患あり
19	
10	
10	
10	いていかいないかの違いあり
10	- 今よ、) 畑八笠の 芝ル缸拌みを
10	・
10	
10	c \点标* (***
10	rness) 症候群、トルノマン・シャナリ
10	
19. 日本語の表現を表現。	
10 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	
10 10 10 10 10 10 10 10	(本ナレイ)ファ ファール・ニー・
1-02 日本会会会生	
10.1 日本語画版	<u> </u>
18. 日本日本学年 19.19 (
1882 日本地名の日本語	
10. 四次では、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	
100 日本記書の報酬	:ほとんどみられない。【不全型 inco
60 日本紀代の大き屋 1982年代の大き屋 1982年代の大き屋 1982年 19	
1981	
18] 上一ラス・クリンスを受け	
16 1 - フライ・プリスを発展 本教生 - フェック・アンスを発展 15 1 - フェック・アンスを発展	
19 1 - フラス・デリンスの目標 世帯教学・一タス・デリスの日報 19 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
103	
19 2 - マラス・ダンスな音音 デング・メール・高級主導発素・大演等エーラス・ダンロス 金銭 19 2 - タング・メール・一と技術 19 2 - タング・スター 19 2 - タング・スタ	
GE 25 10 10 10 10 10 10 10 1	
17	
77	
17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	
172 No. Fine (機能等 VATE (MEX) VATE	
178	
175 カフィーリー金銭暦 ウフィーリー金銭暦 ロコインローリー金銭暦 ロロインローリー金銭暦 ロロインローリー金銭目 ロロインローリーの金銭目 ロロインローコーローリーの金銭目 ロロインローリーの金銭目 ロロインローリーの金銭目 ロロインローリーの金銭目 ロロインローコーローリーの金銭目 ロロインローリーの金銭目 ロロインローリーの金銭目 ロロインローリーの金銭目 ロロインローコーローリーの金銭目 ロロインローリーの金銭目 ロロインローリーの金銭目 ロロインローリーの金銭目 ロロインローコーローリーの金銭目 ロロインローローリーの金銭目 ロロインローローリーの金銭目 ロロインローローリーの金銭目 ロロインローローリーの金銭目 ロロインローローリーの金銭目 ロロインローリーの金銭目 ロロインローローリーの金銭目 ロロインローリーの金銭目 田田石の田・ローローローローローローローローローローローローローローローローローローロー	clerosing leukoencephalopathy (PL
777 シスペール症候肝調素素 シュベール症候肝調素素 O448 O615 O616 O615 O616	
177 シスペール産業料型連携機 セニナール・ローケン産業料 1045 1045 1045 1077 シスペール産業料型連携機 セニナール・ローケン産業料 1045	
777 ジュベール症候群間速疾患 COACH症候群 OA70	
177 173 179 17	
178 大マット・ウィルソン産核群	<u>ァーローソン症1</u> 矢矸 (UMIM: 200900)
180	
181	
182	
183	
183 ファイファー症候群 ファイン・シリス症候群 口スレン・トレービクスラー症候群 ロスレン・トレン・近夜群 ロスレン・トレン・近代群 ロスレン・トレン・近代学が フェレン・トレン・近代学が フェレン・トレン・近代学が フェレン・トレン・近代学が フェレン・トレン・近代学が ロスレン・トレン・近代学が ロスレン・トレン・グロスレー・ロスレー・ロスレー・ロスレー・ロスレー・ロスレー・ロスレー・ロスレー・	
184 アントレー・ピクスラー症候群	伝子を受け継ぐことで発症します。重
185 コフィン・シリス症候群	<u>広子を受け継ぐことで発症します。</u> 重
186 □スムンド・トムソン症候群	
187 欧舞伎症候群 バレー・ジェロルド症候群 の870 L387 8848477 歌舞伎症候群 取舞伎症候群 の870 L387 8848477 歌舞伎症候群 取舞伎症候群 の870 L387 8848477 歌舞伎症候群 の870 UVLN 7590001 多牌症候群 多牌症候群 9890 UVLN 7590001 多牌症候群 9890 UVLN 7590001 多牌症候群 9890 L9VG 7590002 無脾症候群 9880 P340	- P立ナ 計 444 し 上 フ 345 34 た り か い ー ・ホ
187 歌舞伎症候群 歌舞伎症候群 公890 UVLN 759001 多脾症候群 多脾症候群 公890 UVLN 759001 多脾症候群 第 大いたい 大いたいにはらい 大いたい 大いたい 大いたい 大いたいにはらいにはらいにはらいにはらいにはらいにはらいにはらいにはらいにはらいにはら	
189 無牌症候群	
191 ウェルナー症候群	
191 ウェルナー症候群 ウェルナー症候群 日348 TBCP 2598001 ウェルナー症候群 日348 TBCP 2598001 ウェルナー症候群 日348 TBCP 2598001 ウェルナー症候群 日348 日349	
193 プラダー・ウィリ症候群 プラダー・ウィリ症候群	
194 ソトス症候群 ソトス症候群 Q873 CJ5J 8836812 ソトス症候群 195 ヌーナン症候群 Q871 CFCJ 8838638 ヌーナン症候群 D871 CFCJ 8838638 マーナン症候群 D871 D872 マーナン症候群 D872 P719 D872 P719 D872 アング・シンプソン症候群 D872 P719 D872 P8848678 マング・シンプソン症候群 D872 P874 P742 P742<	
195 ヌーナン症候群 ヌーナン症候群 Q871 CFCJ 8838638 ヌーナン症候群 196 ヤング・シンプソン症候群 ヤング・シンプソン症候群 Q870 F719 DNNS 8848678 ヤング・シンプソン症候群 サング・シンプソン症候群 197 1p36欠失症候群 1p36欠失症候群 1p36欠失症候群 Q935 FFKF 8848426 1p36欠失症候群 198 4p欠失症候群 4p欠失症候群 Q933 QMER 8848427 4p欠失症候群	
197 1p36欠失症候群 1p36欠失症候群 1p36欠失症候群 Q935 FFKF 8848426 1p36欠失症候群 9848426 1p36欠失症候群 198 4p欠失症候群 4p欠失症候群 4p欠失症候群 4p欠失症候群	
198 4p欠失症候群 4p欠失症候群 Q933 QMER 8848427 4p欠失症候群	
199 5p欠失症候群	
200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群 第14番染色体父親性ダイソミー症候群 第14番染色体父親性ダイソミー症候群 201 アンジェルマン症候群 アンジェルマン症候群 VAUB 8830402 アンジェルマン症候群 アンジェルマン症候群	

	B. 告示病名以外の指定難病対象疾病名	ICD-10-1	ICD-10-2	病石父授 用コード	病名コート		疑義フラグ	コード付与に関するの備考(類似病名あるがBと同一か決めきれない例な	ここは見て!	備考
スミス・マギニス症候群	スミス・マギニス症候群	Q938 Q938		HFFA TEGJ		スミス・マギニス症候群 22g11. 2欠失症候群			-	65 百杂州名克工人产纪翌1-1 中
22q11.2欠失症候群	22q11. 2欠失症候群 エマヌエル症候群	Q938 Q928		FN1K		ZZqTTZ欠失症候群 エマヌエル症候群				65 原発性免疫不全症候群にも同一疾患症
エマヌエル症候群	11/22混合トリソミー	Q928		IIII	0040400	エ、ハエル症ਲ和	親病名に統合の可能性	エマヌエル症候群は、古くは22番過剰派生染色体症候群、11/22混合トリン	ソミー、部分トリ	 Jソミー11/22などと呼ばれていましたが、長年
エマヌエル症候群	22番過剰派生染色体症候群	Q928						エマヌエル症候群は、古くは22番過剰派生染色体症候群、11/22混合トリ		
脆弱X症候群関連疾患	脆弱X症候群関連疾患	Q992		MHUU		脆弱X症候群関連疾患				
脆弱X症候群関連疾患	脆弱×随伴振戦·失調症候群	Q992		CDB1		脆弱X随伴振戦·失調症候群				
脆弱X症候群	脆弱X症候群	Q992		HGJV		脆弱X症候群				
総動脈幹遺残症	総動脈幹遺残症	Q200		PPQU	8848599	総動脈幹遺残症	知点なに休みの可能性	ψΛ 종 μ Π΄ χΔ ' Φ Τὰ μ΄ □		
総動脈幹遺残症	総動脈幹遺残症I型	Q200					親病名に統合の可能性	総動脈幹遺残症		
総動脈幹遺残症 総動脈幹遺残症		Q200					親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	<u>総動脈幹遺残症</u> 総動脈幹遺残症		
総動脈幹遺残症	総動脈幹	Q200		PPQU	7450002	総動脈幹遺残症	秋州石 こ 日 0月 日 エ	「総動脈幹遺残症」と同じものとして「総動脈幹」を追加		
修正大血管転位症	修正大血管転位症	Q205		NB29	7451011					
完全大血管転位症	完全大血管転位症	Q203		HE3M	8831636	完全大血管転位症				
完全大血管転位症	完全大血管転位症1型	Q203		GTTC	8848480	完全大血管転位症1型				
完全大血管転位症	完全大血管転位症2型	Q203		A73R	8848481	完全大血管転位症2型				
完全大血管転位症	完全大血管転位症3型	Q203		MCRD	8848482	完全大血管転位症3型				
完全大血管転位症	完全大血管転位症4型	Q203				W > ± ±	親病名に統合の可能性	完全大血管転位症		
単心室症	単心室症	Q204		RL1C	8837116	単心室症	如广为与体人。可处地	2000年200日 - 1000日 - 1	+** * **) T A C II & D T A
単心室症	単心室循環器症候群	Q204		T01111	0004045	+ 2.65 R P 产品器	親病名に統合の可能性	単心室症:単心室循環症候群では、重度の慢性低酸素血症、多呼吸、易	披労感などの心	<u>い个全症状を呈する。</u>
<u>左心低形成症候群</u>	左心低形成症候群	Q234		T8HU		左心低形成症候群				
□三尖弁閉鎖症 □三尖弁閉鎖症	三尖弁閉鎖症 単心室循環器症候群	Q224 ?		A4PD	8834112	三尖弁閉鎖症	手がかけ…わた!			
	単心至循環番延候群 鎖症 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	Q255		HG1E	99/955/	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	手がかり一切なし			
心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉		?	-	HUIL	004000	心主中的人頂と円がない。加助脈闭頭症	手がかり一切なし			
心室中隔入損を伴う肺動脈閉鎖症		Q213	1	QUT4	884855	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1 12 13 17 93140			1
心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症		Q213		~~!!	20 10000	1 may visc (1 / mp symma) spenie	親病名に統合の可能性	○	であるため. 極	型ファローとも呼ばれます。
ファロー四徴症	ファロー四徴症	Q213		MH8Q	8839593	ファロー四徴症	1000 A 1 - 400 EL AN 1-1 UP T	- 二、1000000011000000000000000000000000000		
両大血管右室起始症	両大血管右室起始症	Q201		COM2		両大血管右室起始症				
エプスタイン病	エプスタイン病	Q225		V7CE	8848464	エプスタイン病				
アルポート症候群	アルポート症候群	Q878		PHAV		アルポート症候群				
アルポート症候群	X連鎖型アルポート症候群	Q878					親病名に統合の可能性			
アルポート症候群	常染色体劣性アルポート症候群	Q878					親病名に統合の可能性	アルボート症候群		
ギャロウェイ・モワト症候群	ギャロウエイ・モワト症候群	Q897		G0CR		ギャロウエイ・モワト症候群	*** ** * * * * * * * * * * * * * * * *	₩ /		
ギャロウェイ・モワト症候群	Galloway-Mowat症候群	Q897		G0CR		イ・モワト症候群	親病名に統合の可能性	ギャロウエイ・モワト症候群の英語版 D列~G列入力した		
急速進行性糸球体腎炎	急速進行性糸球体腎炎	N019		F82S		急速進行性糸球体腎炎				
抗糸球体基底膜腎炎 一次性ネフローゼ症候群	抗糸球体基底膜腎炎 一次性ネフローゼ症候群	N017 N049		LBA6 BPF3		抗糸球体基底膜腎炎 ネフローゼ症候群				
一次性ネフローゼ症候群	微小変化型ネフローゼ症候群	N049		NA95		微小変化型ネフローゼ症候群				
- 次性ネフローゼ症候群 一次性ネフローゼ症候群	膜性腎症	N052		J7A1		膜性腎症				
一次性ネフローゼ症候群		N051		HBLV	4039038					
一次性ネフローゼ症候群	膜性増殖性糸球体腎炎	N055		T46M	8840229	X XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX				
┃ 一次性ネフローゼ症候群 ┃ 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	一次性膜性增殖性糸球体腎炎	N055		T46M	8840229	膜性増殖性糸球体腎炎				「一次性」の有無の相違あり
一次性膜性増殖性糸球体腎炎	──次性膜性増殖性糸球体腎炎 I 型	N055		V80D	8840230	膜性増殖性糸球体腎炎1型				「一次性」の有無の相違あり
一次性膜性増殖性糸球体腎炎	メサンギウム増殖性糸球体腎炎	N053		FR53	8840538	メサンギウム増殖性糸球体腎炎				
一次性膜性増殖性糸球体腎炎	慢性·巣状型一次性膜性増殖性糸球体腎炎	N055					親病名に統合の可能性	その形態より1型、11型(現在のデンスデポジット病)、111型に分類される。臨	床的には、無症	<u> 定候性から急性腎炎、慢性腎炎あるいはネス</u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎	急性·巣状型一次性膜性増殖性糸球体腎炎	N055					親病名に統合の可能性	その形態より1型、11型(現在のデンスデポジット病)、111型に分類される。臨	床的には、無症	<u> 症候性から急性腎炎、慢性腎炎あるいはネス</u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎	慢性・びまん型一次性膜性増殖性糸球体腎炎	N055					親病名に統合の可能性	その形態よりⅠ型、Ⅱ型(現在のデンスデポジット病)、Ⅲ型に分類される。臨		
一次性膜性増殖性糸球体腎炎	非分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎	NU55				-	親病名に統合の可能性	その形態より「型、「「型(現在のデンスデポジット病)、「「型に分類される。 臨		
一次性膜性増殖性糸球体腎炎						•	親病名に統合の可能性	その形態より1型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 その形態より1型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨	体 印川ーは、無九	正候性からるは有炎、慢は有炎のるいはか. 完候性から刍性堅火 愠性堅火なるいける
一一少性眼性理相性多种体管炎	急性・びまん型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 管内増殖刑一次性膜性増殖性糸球体腎炎	N055					知法女! 粉合())可能性		序的にけ 無点	
│一次性膜性増殖性糸球体腎炎 │一次性膜性増殖性糸球体腎炎	管内增殖型一次性膜性增殖性糸球体腎炎	N055 N055				Ī	親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性	その形態より「型」「「型(現在のデンスデポジット病)」「「型に分類される。臨	床的には、無症	正候性から急性腎炎、慢性腎炎あるいはネラ
一次性膜性増殖性糸球体腎炎	管内增殖型一次性膜性增殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性增殖性糸球体腎炎	N055 N055 D690	N082	VCAQ	2878004	紫斑病腎炎	親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性	その形態より「型、「「型(現在のデンスデボジット病)、 「「型に分類される。 臨	床的には、無症床的には、無症	正候性から急性腎炎、慢性腎炎あるいはネ:
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎	管内增殖型一次性膜性增殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性增殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎	N055 N055 N055 D690 N251	N082	VCAQ JB11		紫斑病腎炎 先天性腎性尿崩症		その形態よりⅠ型、Ⅱ型(現在のデンスデポジット病)、Ⅲ型に分類される。臨	床的には、無症	正候性から急性腎炎、慢性腎炎あるいはネ
一次性膜性增殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症	管内增殖型一次性膜性增殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性增殖性糸球体腎炎		N082		8848582 8848479	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型)		その形態よりⅠ型、Ⅱ型(現在のデンスデポジット病)、Ⅲ型に分類される。臨	床的には、無症床的には、無症	正族性から急性腎炎、慢性腎炎あるいはネニ
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病	N251 N301 I780	N082	JB11 F584 KRJF	8848582 8848479 8848472	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病		その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症	N251 N301 1780 1780	N082	JB11 F584 KRJF KRJF	8848582 8848479 8848472 4480004	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症		その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、II型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 閉塞性細気管支炎	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型-次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎	N251 N301 1780 1780 J448	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS	8848582 8848479 8848472 4480004 4912004	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎		その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 長性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	N251 N301 1780 1780 J448 J840	N082	JB11 F584 KRJF KRJF	8848582 8848479 8848472 4480004 4912004	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症	親病名に統合の可能性	その形態より1型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性出血性毛細点管支炎 下性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) F4P	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN	8848582 8848479 8848472 4480004 4912004 5160007	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症		その形態より1型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型-次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840 J840	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS	8848582 8848479 8848472 4480004 4912004 5160007	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎	親病名に統合の可能性	その形態より1型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先5)	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型-次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 長性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 長性) PAP 長性) 自己免疫性肺胞蛋白症 長性) 自己免疫性PAP	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840 J840 J840	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN	8848582 8848479 8848472 4480002 4912002 5160000	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性	その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先5) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先5) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先5) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は失5) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は失5)	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 長性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 長性) PAP 長性) 自己免疫性肺胞蛋白症 長性) 自己免疫性 PAP	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN	8848582 8848479 8848472 4480002 4912002 5160000	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性手がかり一切なし	その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先5) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先5) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先5) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先5) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先5)	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) 早AP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性内科P 医性) 自己免疫性PAP 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性時胞蛋白症	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840	N082	JB11 F584 KRJF KRJF TOKS FFUN EVFC	8848582 8848473 8848472 4480004 4912004 5160003 8848559	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性	その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3)	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性PAP 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 提供性肺胞蛋白症	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN	8848582 8848473 8848472 4480004 4912004 5160003 8848559	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性手がかり一切なし手がかり一切なし	その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先3)	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) 日己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性PAP 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 提供性肺胞蛋白症	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN EVFC	8848582 8848475 8848477 4480002 5160003 8848555 8848588	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性手がかり一切なし	その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 見足免疫性下降 医性) 見足免疫性下降 医性) 地震中枢 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF TOKS FFUN EVFC	8848582 8848475 8848477 4480002 5160003 8848555 8848588	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性手がかり一切なし手がかり一切なし手がかり一切なし手がかり一切なし	その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は失月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は失月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は失月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は失月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は失月)	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 見足免疫性下降 医性) 見足免疫性下降 医性) 地震中枢 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN EVFC	8848582 8848475 8848475 4480004 4912004 516000 8848559 8848588 884863	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性手がかり一切なし手がかり一切なし	その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性所胞蛋白症 医性) 遺伝性肺胞蛋白症 医性) 境無性PAP 医性) 遺伝性肺胞蛋白症 医性) 遺伝性性胞蛋白症	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF TOKS FFUN EVFC P4ER RQK8	8848582 8848475 8848475 4480004 4912004 516000 8848559 8848588 884863	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性手がかり一切なし手がかり一切なし手がかり一切なし手がかり一切なし	その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸 肺胞蛋白症(PAP)	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肿胞蛋白症 医性) 持天性肿胞蛋白症 医性) 先天性PAP 医性) 先天性PAP 医性) 持条性PAP 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肝胞蛋白症	N251 N301 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6	8848582 8848473 8848472 4480000 5160001 8848550 8848550 8848560 8848633 7942008	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし	その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸 肺胞蛋白症(PAP)	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性PAP 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 境宏性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 境保性 PAP 医性) 境保性 PAP 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF TOKS FFUN EVFC P4ER RQK8	8848582 8848473 8848472 4480000 5160001 8848550 8848550 8848560 8848633 7942008	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし	その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸 肺胞蛋白症(PAP) 肺胞蛋白症(PAP)	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肿胞蛋白症 医性) 持天性肿胞蛋白症 医性) 先天性PAP 医性) 先天性PAP 医性) 持条性PAP 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肝胞蛋白症	N251 N301 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6	8848582 8848473 8848472 4480000 5160001 8848550 8848550 8848560 8848633 7942008	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし	その形態より「型、「I型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛紅肺胞蛋白症(PAP) 肺胞蛋白症(PAP) 肺胞低換気症候群 AHS は、呼吸器・胸郭・神経・筋肉系に異常がなく、肺機能検査上明ら	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肿胞蛋白症 医性) 持天性肿胞蛋白症 医性) 先天性PAP 医性) 先天性PAP 医性) 持条性PAP 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肝胞蛋白症	N251 N301 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6	8848582 8848473 8848472 4480000 5160001 8848550 8848550 8848560 8848633 7942008	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし	その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸 肺胞蛋白症(PAP) 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 AHS は、呼吸器・胸郭・神経・筋肉系に異常がなく、肺機能検査上明ら かな異常が認められないにもかかわ	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肿胞蛋白症 医性) 持天性肿胞蛋白症 医性) 先天性PAP 医性) 先天性PAP 医性) 持条性PAP 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肝胞蛋白症	N251 N301 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6	8848582 8848473 8848472 4480000 5160001 8848550 8848550 8848560 8848633 7942008	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし	その形態より「型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸 肺胞蛋白症(PAP) 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 AHS は、呼吸器・胸郭・神経・筋肉系に異常がなく、肺機能検査上明ら かな異常が認められないにもかかわ らず、日中に肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性尿腑症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型-次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肿胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 持天性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症	N251 N301 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6	8848582 8848473 8848472 4480000 5160001 8848550 8848550 8848560 8848633 7942008	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	その形態より「型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛維 肺胞蛋白症(PAP) 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 AHS は、呼吸器・胸郭・神経・筋肉系に異常がなく、肺機能検査上明らかな異常が認められないこもかかわ らず、日中に肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈する病態である。肺胞低換気は覚醒	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞蛋白症(自己免疫性又は先刃肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺肺	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肿胞蛋白症 医性) 持天性肿胞蛋白症 医性) 先天性PAP 医性) 先天性PAP 医性) 持条性PAP 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肝胞蛋白症	N251 N301 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6	8848582 8848473 8848472 4480000 5160001 8848550 8848550 8848560 8848633 7942008	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし	その形態より「型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛経肺胞蛋白症(PAP) 肺胞蛋白症(PAP) 林路 は、呼吸器・胸郭・神経・筋肉系に異常がなく、肺機能検査上明らかな異常が認められないこもかかわらず、日中に肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈する病態である。肺胞低換気は覚醒中よりも睡眠中に悪化する。原因としては呼吸の化学(代謝)調節系を構	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 栄斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先見) 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肿胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 持天性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症	N251 N301 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6	8848582 8848473 8848472 4480000 5160001 8848550 8848550 8848560 8848633 7942008	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	その形態より「型、「I型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛系 肺胞蛋白症(PAP) 肺胞低換気症候群 AHS は、呼吸器・胸郭・神経・筋肉系に異常がなく、肺機能検査上明ら かな異常が認められないにもかかわ らず、日中に肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈 する病態である。肺胞低換気は覚醒 中よりも睡眠中に悪化する。原因としては呼吸の化学(代謝)調節系を構 成する化学受容体の異常(不全)が	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肿胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 持天性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症	N251 N301 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6	8848582 8848473 8848472 4480000 5160001 8848550 8848550 8848560 8848633 7942008	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	その形態より「型、「I型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛統 肺胞蛋白症(PAP) 肺胞低換気症候群 AHS は、呼吸器・胸郭・神経・筋肉系に異常がなく、肺機能検査上明らかな異常が認められないにもかかわらず、日中に肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈する病態である。肺胞低換気は覚醒中よりも睡眠中に悪化する。原因としては呼吸の化学(代謝)調節系を構成する化学受容体の異常(不全)が一部関与していると推定されている。Phenotype A は従来、原発性肺胞	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肿胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 持天性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症	N251 N301 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6	8848582 8848473 8848472 4480000 5160001 8848550 8848550 8848560 8848633 7942008	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	その形態より「型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛維 肺胞蛋白症(PAP) 肺胞低換気症候群 AHS は、呼吸器・胸郭・神経・筋肉系に異常がなく、肺機能検査上明らかな異常が認められないにもかかわらず、日中に肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈する病態である。肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈する病態である。肺胞低換気に覚醒中よりも睡眠中に悪化する。原因としては呼吸の化学(代謝)調節系を構成する化学受体の異常(不全)が、同時に変化する。原因としては呼吸の化学(代謝)調節系を構成する化学受体の異常(不全)が、Phenotype A は従来、原発性肺胞低換気症候群(primary alveolar	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性尿崩症 間質性尿筋炎(ハンナ型) オスラー病 閉塞性細分質を変態 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 境免性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肿胞蛋白症 医性) 持発性肿胞蛋白症 医性) 持発性肿肉蛋白症 医性) 持発性肿肉蛋白症	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6	8848582 8848473 848472 4480004 5160001 8848558 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	その形態より1型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛維 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 AHS は、呼吸器・胸郭・神経・筋肉系に異常がなく、肺機能検査上明らかな異常が認められないにもかかわらず、日中に肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈する病態である。肺胞低換気は覚醒中よりも睡眠中に悪化する。原因としては呼吸の化学(代謝)調節系を構成する化学受容体の異常(不全)が一部関与していると推定されている。Phenotype A は従来、原発性肺胞低換気症候群(primary alveolar hypoventilation syndrome: PAH)と考えられていた病型である。	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性尿病症 間質性療胱炎(ハンナ型) オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又以生免月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又以生免月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又以生免月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又以生免月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又以生免月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又以生免月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又以生免月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又以生免月) 肺胞蛋白症(自己免疫性又以生免月) 肺胞低換気症(食用) 肺胞低換気症(食用) 肺胞低換気症(疾群 肺胞低換気症(疾群 肺胞低換気症(疾群 肺胞低換気症(疾群	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) PAP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性内科P 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 持条性肺胞蛋白症 医性) 持条性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 時発性肺胞蛋白症	N251 N301 1780 1780 J448 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6 A63Q	8848582 8848473 8848472 4480000 4912004 516000 8848553 8848563 7942008	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 造伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症 肺胞低換気症候群	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	その形態より「型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛維 肺胞蛋白症(PAP) 肺胞低換気症候群 AHS は、呼吸器・胸郭・神経・筋肉系に異常がなく、肺機能検査上明らかな異常が認められないにもかかわらず、日中に肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈する病態である。肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈する病態である。肺胞低換気に覚醒中よりも睡眠中に悪化する。原因としては呼吸の化学(代謝)調節系を構成する化学受体の異常(不全)が、同時に変化する。原因としては呼吸の化学(代謝)調節系を構成する化学受体の異常(不全)が、Phenotype A は従来、原発性肺胞低換気症候群(primary alveolar	床的には、無症	<u> </u>
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞蛋白症(自己免疫性又は先男肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群肺胞低換気症候群	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 境免性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肿胞蛋白症 医性) 持発性肿胞蛋白症 医性) 持発性肿肉蛋白症 医性) 持発性肿肉蛋白症	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6	8848582 8848473 8848472 4480000 4912004 516000 8848553 8848563 7942008	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	その形態より「型、「I型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛統肺胞蛋白症(PAP) 肺胞蛋白症(PAP) AHS は、呼吸器・胸郭・神経・筋肉系に異常がなく、肺機能検査上明らかな異常が認められないにもかかわらず、日中に肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈する病態である。肺胞低換気は覚醒中よりも睡眠中に悪化する。原因としては呼吸の化学(代謝)調節系を構成する化学受容体の異常(不全)が一部関与していると推定されている。Phenotype A は従来、原発性肺胞低換気症候群(primary alveolar hypoventilation syndrome: PAH)と考えられていた病型である。肺動脈性肺高血圧症(Pulmonary Arterial Hypertension: PAH)	床的には、無症	主体性から急性腎炎、慢性腎炎あるいはネス
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 閉塞性細気管支炎	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型-次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性肿胞蛋白症 医性) 自己免疫性PAP 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肿胞蛋白症 医性) 持条性肿胞蛋白症 医性) 持条性中AP 医性) 持条性肿胞蛋白症 医性) 特条性肿胞蛋白症 医性) 特条性肿胞蛋白症	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6 A63Q BRCP	8848582 8848473 8848472 4480000 4912004 5160001 8848558 8848588 8848583 7942008 8833313	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 造伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症 肺胞低換気症候群	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	その形態より1型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛維 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 AHS は、呼吸器・胸郭・神経・筋肉系に異常がなく、肺機能検査上明らかな異常が認められないにもかかわらず、日中に肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈する病態である。肺胞低換気は覚醒中よりも睡眠中に悪化する。原因としては呼吸の化学(代謝)調節系を構成する化学受容体の異常(不全)が一部関与していると推定されている。Phenotype A は従来、原発性肺胞低換気症候群(primary alveolar hypoventilation syndrome: PAH)と考えられていた病型である。	床的には、無症	主体性から急性腎炎、慢性腎炎あるいはネス
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先牙) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先牙) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先牙) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先牙) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先牙) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先牙) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先牙) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先牙) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先牙) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先牙) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先牙) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先牙) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先牙) 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性内AP 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞低換気症候群 カーニー変合 ウォルフラム症候群	N251 N301 1780 1780 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6 A63Q BRCP	8848582 8848473 848472 4480000 4912004 5160001 8848558 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588 8848633 7942008 884863	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症 肺胞低換気症候群 原発性肺胞低換気症候群	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸肺胞蛋白症(PAP) 肺胞低換気症候群 AHS は、呼吸器・胸郭・神経・筋肉系に異常がなく、肺機能検査上明らかな異常が認められないにもかかわらず、日中に肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈する病態である。肺胞低換気は覚醒中よりも睡眠中に悪化する。原因としては呼吸の化学(代謝)調節系を構成する化学受容体の異常(不全)が一部関与していると推定されている。Phenotype A は従来、原発性肺胞低換気症候群(primary alveolar hypoventilation syndrome: PAH)と考えられていた病型である。肺動脈性肺高血圧症(Pulmonary Arterial Hypertension:PAH) α1-アンチトリプシン欠乏症(α1-antitrypsin deficiency: AATD)は、α1-スかつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用	床的には、無症	主体性から急性腎炎、慢性腎炎あるいはネコ ・も呼ばれる疾患 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿麻症 間質性膀胱炎 (ハンナ型) オスラー病 オスラー病 閉塞性細丘症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性以は先ラ 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 時間低換気症候群 時間低換気症候群 時間低換気症候群 中プンチトリブシン欠乏症 カーニー複合 ウォルフラム症候群 ウォルフラム症候群	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型ー次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) PAP 医性) 自己免疫性PAP 医性) 自己免疫性PAP 医性) 先天性肺胞蛋白症 医性) 境伝性PAP 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性PAP 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 病疾性PAP 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性肺胞蛋白症 医性) 持発性所胞蛋白症 医性) 持発性原及症候群 肺胞低換気症候群フェノタイプA 肺胞低換気症候群フェノタイプB 原発性肺胞低換気症候群フェノタイプB 原発性肺胞低換気症候群 カーエー複合 ウォルフラム症候群 DIDMOAD症候群	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6 A63Q BRCP S2R8 S2R8 Q5LA	8848582 8848477 4480000 4912004 5160001 8848558 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588 884858 884858 884858 884858 884858	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 境低性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症 肺胞低換気症候群 原発性肺胞低換気症候群 の発性肺胞低換気症候群	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 AHS は、呼吸器・胸郭・神経・筋肉系に異常がなく、肺機能検査上明らかな異常が認められないにもかかわらず、日中に肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈する病態である。肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈する病態である。肺胞低換気は覚醒中よりも睡眠中に悪化する。原因としては呼吸の化学(代謝)調節系を構成する化学受容体の異常(不全)が一部関与していると推定されている。Phenotype A は従来、原発性肺胞低換気症候群(primary alveolar hypoventilation syndrome: PAH)と考えられていた病型である。肺動脈性肺高血圧症(Pulmonary Arterial Hypertension: PAH) α1-アンチトリプシン欠乏症(α1-antitrypsin deficiency: AATD)は、α1-アンかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用	床的には、無症	主体性から急性腎炎、慢性腎炎あるいはネコ ・も呼ばれる疾患 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先ラ 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群 肺胞低換気症候群	管内増殖型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 分葉型一次性膜性増殖性糸球体腎炎 紫斑病性腎炎 先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性毛細血管拡張症 閉塞性細気管支炎 医性) 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 自己免疫性肺胞蛋白症 医性) 持天性肺胞蛋白症 医性) 養天性肺胞蛋白症 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性肺胞蛋白症 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性PAP 医性) 遺伝性腎胞蛋白症 医性) 病療性肺胞蛋白症 医性) 病疾性腎腫瘍白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性肺胞蛋白症 医性) 特発性腎臓療症候群フェノタイプA 肺胞低換気症候群フェノタイプB 原発性肺胞低換気症候群フェノタイプB 原発性肺胞低換気症候群 カーニー複合 ウォルフラム症候群 DIDMOAD症候群 ストロ ベルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	N251 N301 1780 1780 J448 J840 J840 J840 J840 J840 J840 J8	N082	JB11 F584 KRJF T0KS FFUN EVFC P4ER RQK8 SJU6 A63Q BRCCP S2R8 S2R8 Q5LA SJFS	8848582 8848477 4480000 4912004 5160001 8848558 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588 8848588 884858 884858 884858 884858 884858	先天性腎性尿崩症 間質性膀胱炎(ハンナ型) オスラー病 遺伝性出血性末梢血管拡張症 閉塞性細気管支炎 肺胞蛋白症 自己免疫性肺胞蛋白症 先天性肺胞蛋白症 遺伝性肺胞蛋白症 特発性肺胞蛋白症 肺胞低換気症候群 原発性肺胞低換気症候群	親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 手がかり一切なし 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	その形態よりI型、II型(現在のデンスデポジット病)、III型に分類される。臨 オスラー病は、遺伝性出血性末梢血管拡張症あるいは遺伝性出血性毛糸肺胞蛋白症(PAP) 肺胞低換気症候群 AHS は、呼吸器・胸郭・神経・筋肉系に異常がなく、肺機能検査上明らかな異常が認められないにもかかわらず、日中に肺胞低換気(高度の高二酸化炭素血症と低酸素血症)を呈する病態である。肺胞低換気は覚醒中よりも睡眠中に悪化する。原因としては呼吸の化学(代謝)調節系を構成する化学受容体の異常(不全)が一部関与していると推定されている。Phenotype A は従来、原発性肺胞低換気症候群(primary alveolar hypoventilation syndrome: PAH)と考えられていた病型である。肺動脈性肺高血圧症(Pulmonary Arterial Hypertension:PAH) α1-アンチトリプシン欠乏症(α1-antitrypsin deficiency: AATD)は、α1-スかつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用みつかった。病名マスタ2017にはないが、厚労省の病名コードより引用	床的には、無症	主体性から急性腎炎、慢性腎炎あるいはネコ ・も呼ばれる疾患 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

備考	ここは見て!	コード付与に関するの備考(類似病名あるがBと同一か決めきれない例が	疑義フラグ	ンセプト傷病名マスター	7.13	-1 ICD-10-2 ³	100 10	B. 告示病名以外の指定難病対象疾病名	A. 指定難病名
		ペルオキシソーム形成異常症 8848670 E713 ペルオキシソーム形成異常症(Peroxisome Biogenesis Disorders; PBD)はペルオキシソームの膜の生合成や蛋白の局在にかかわるPEX遺 レス関係による微熱な仕機能等に無ち悪	類似病名あるが決められな				E713	PEX遺伝子異常症	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ パーを除く。)
		伝子異常による常染色体劣性遺伝性疾患			BA08 883783	E	Q878	ツェルベーガー症候群	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ
				新生児型副腎白質ジストロフィー	BTCG 884855	+ +	E713	新生児型副腎白質ジストロフィー	ィーを除く。) ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ
-				乳児レフサム病	IALIQ		E713		/ィーを除く。) ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ
	出分類>1 ペル	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234)<织	親病名に統合の可能性	10000 7 7 - 77	00.00		E713	根性点状軟骨異形成症1型	ィーを除く。) ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ
		ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234) < 9	親病名に統合の可能性				E713		<u>ィーを除く。)</u> ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ
							E713		<u>ィーを除く。)</u> ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ
		ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234) <彩	親病名に統合の可能性					アシルーCoAオキシダーゼ (AOX) 欠損症	'ィーを除く。) ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ
		ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234)<系	親病名に統合の可能性				E713	D與許系(DBP)欠損症	/ィーを除く。) ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ
.形成異常症(PEX遺伝子異常症 	患分類>1. ペノ	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234)<射	親病名に統合の可能性				E713	ステロールキャリアプロテインX欠損症 -	パーを除く。) ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ
、形成異常症(PEX遺伝子異常症	患分類>1. ペル	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234)<射	親病名に統合の可能性		MATEU	4	E713	Z-メテルアシル-GOAフセマーセ欠損症	ィーを除く。)
				レフサム病	M7FK 884117	^	G601		ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロリィーを除く。)
、形成異常症(PEX遺伝子異常症	患分類>1. ペル	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234)<卵	親病名に統合の可能性				E713	プラスマローゲン合成系酵素欠損症	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ パーを除く。)
、形成異常症(PEX遺伝子異常症	患分類>1. ペノ	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234)<躬	親病名に統合の可能性				E713	根性点状軟骨異形成症2型	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ ィーを除く。)
·形成異常症(PEX遺伝子異常症	患分類>1. ペル	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234)<躬	親病名に統合の可能性				E713	根性点状軟骨異形成症3型	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ バーを除く。)
				原発性高シュウ酸尿症	LA3G 884144	L	E748	原発性高シュウ酸尿症	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
				/ 無カタラーゼ血症	DKCK 277600	ı	E803	アカタラセミア(無カタラーゼ血症)	イー とはく。/ ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ パーを除く。)
───── 、形成異常症(PEX遺伝子異常症	 患分類>1. ペノ	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234) <纸	親病名に統合の可能性				E713	ツェルベーガースペクトラム	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ
────────────────────────────────────	患分類>1. ペル	 ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234)<织	親病名に統合の可能性				E713	ペルオキシソーム β 酸化系酵素欠損症	/ィーを除く。) ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ ・・・・・・
		ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234)<パ	親病名に統合の可能性				E713	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ィーを除く。) ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ
		ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234) < タ	親病名に統合の可能性				E713	AMCR欠損症	<u>ィーを除く。)</u> ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ
							E713		<u>ィーを除く。)</u> ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ
		ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234) <彩	親病名に統合の可能性					SCPx欠損症	<u>'ィーを除く。)</u> ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ
		ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234)<系	親病名に統合の可能性				E713	AOX欠損症	/ィーを除く。) ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロ
、形成異常症(PEX遺伝子異常症 	:患分類>1. ペル	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)(指定難病234)<织	親病名に統合の可能性	引副甲状腺機能低下症	CF8U 884459	4	E713 E209	急性レフサム病 副甲状腺機能低下症	リィーを除く。) 副甲状腺機能低下症
いとばもせるよりあため言いいか	ハッルエニトフロ	到田华的機能低于点片 到田华的十八下之人。	知点ないなみの可能性	特発性副甲状腺機能低下症	JG1F 252100	J	E200	特発性副甲状腺機能低下症	副甲状腺機能低下症 副甲状腺機能低下症 副甲状腺機能低下症
いら低刀ルンリム皿症や高リノ皿	が必体 トレーチのド	副甲状腺機能低下症は、副甲状腺ホルモン(parathyroid hormone: PTH)	親病名に統合の可能性 手がかり一切なし		884459	8844593	E209	PTH不足性副甲状腺機能低下症 家族性孤発性副甲状腺機能低下症	副甲状腺機能低下症
		偽性副甲状腺機能低下症		偽性副甲状腺機能低下症 	KQCJ 275402	K	E201	偽性副甲状腺機能低下症 偽性副甲状腺機能低下症la型	為性副甲状腺機能低下症 為性副甲状腺機能低下症
		偽性副甲状腺機能低下症 偽性副甲状腺機能低下症					E201	偽性副甲状腺機能低下症Ib型 偽性副甲状腺機能低下症Ic型	為性副甲状腺機能低下症 為性副甲状腺機能低下症
		偽性副甲状腺機能低下症			20411		E201	偽性副甲状腺機能低下症II型	為性副甲状腺機能低下症
				副腎皮質刺激ホルモン不応症 ACTH不応症			E274 E274	副腎皮質刺激ホルモン不応症 ACTH不応症	<u>副腎皮質刺激ホルモン不応症</u> 副腎皮質刺激ホルモン不応症
					SOAU 884818			TripleA症候群	副腎皮質刺激ホルモン不応症
W L 7 = 1 18 ± 11 = 1 ± 17 =				TripleA症候群	NGCP 884819	Q395	E274		
		副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。ACTH不応症は、無涙症(alacrin 副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgra		TripleA症候群	NGCP NGCP NGCP	Q395 Q395 Q395	E274 E274	Allgrove症候群 トリプルA症候群	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症
		副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgro			NGCP NGCP NGCP	Q395 Q395 Q395 C	E274	Allgrove症候群 トリプルA症候群 ビタミンD抵抗性くる病	副腎皮質刺激ホルモン不応症
		副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgre ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339	親病名に統合の可能性類似病名あるが決められない	TripleA症候群	NGCP 884819 NGCP NGCP DFCR 883950	Q395 Q395 Q395 C	E274 E274 E833 E833	Allgrove症候群 トリプルA症候群	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 ピタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 ピタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
		副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgre ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。 原発性低リン血症くる病 8833309 E833	親病名に統合の可能性類似病名あるが決められない	TripleA症候群	NGCP 884819 NGCP NGCP DFCR 883950	Q395 Q395 Q395 C	E274 E274 E833	Allgrove症候群 トリプルA症候群 ビタミンD抵抗性くる病	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 ごタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
		副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgre ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。 原発性低リン血症くる病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。	親病名に統合の可能性 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められ	TripleA症候群	NGCP 884819 NGCP NGCP DFCR 883950	Q395 Q395 Q395 C	E274 E274 E833 E833	Allgrove症候群 トリブルA症候群 ビタミンD抵抗性くる病 ビタミンD抵抗性骨軟化症 低リン血症性くる病・骨軟化症	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 ピタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 ピタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
		副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgre ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。 原発性低リン血症くる病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833	親病名に統合の可能性 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない	TripleA症候群 ピタミンD抵抗性〈る病	NGCP NGCP NGCP DFCR 883950 DFCR	Q395 Q395 Q395 D	E274 E274 E833 E833 E833	Allgrove症候群 トリブルA症候群 ビタミンD抵抗性くる病 ビタミンD抵抗性骨軟化症 低リン血症性くる病・骨軟化症	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
		副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgre ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。 原発性低リン血症くる病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。 原発性低リン血症を841379 E833 低リン血症 8841379 E833	親病名に統合の可能性 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない	TripleA症候群 ピタミンD抵抗性〈る病	NGCP 884819 NGCP NGCP DFCR 883950	Q395 Q395 Q395 D	E274 E274 E833 E833	Allgrove症候群 トリブルA症候群 ビタミンD抵抗性くる病 ビタミンD抵抗性骨軟化症 低リン血症性くる病・骨軟化症	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
		副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgre ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症 8841379 E833 低リン血症 8841379 E833 別名、低リン血症性とる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症性る病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症でる病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833	親病名に統合の可能性 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない	TripleA症候群 ピタミンD抵抗性〈る病	NGCP NGCP NGCP DFCR 883950 DFCR	Q395 Q395 Q395 D	E274 E274 E833 E833 E833	Allgrove症候群 トリブルA症候群 ビタミンD抵抗性くる病 ビタミンD抵抗性骨軟化症 低リン血症性くる病・骨軟化症	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 グタミンD抵抗性くる病ノ骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病ノ骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病ノ骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病ノ骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病ノ骨軟化症
		副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgre ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症 8841379 E833 低リン血症 8841379 E833 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症(る病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症(る病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833 ビタミンD 反乏性骨軟化症 8848002 M8339 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 胆瘍性低リン血症性骨軟化症 2682012 M8389	親病名に統合の可能性 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない	TripleA症候群 ピタミンD抵抗性〈る病	NGCP NGCP NGCP DFCR 883950 DFCR	Q395 Q395 Q395 D	E274 E274 E833 E833 E833	Allgrove症候群 トリブルA症候群 ビタミンD抵抗性くる病 ビタミンD抵抗性骨軟化症 低リン血症性くる病・骨軟化症 低リン血症性骨軟化症 くる病 後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 グタミンD抵抗性くる病ノ骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病ノ骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病ノ骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病ノ骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病ノ骨軟化症
常としては、ALADIN(AAAS)異常	ve症候群)におい - - - - -	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgre ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症名の病 8833309 E833 低リン血症を移動である。原発性低リン血症である。原発性低リン血症である。原発性低リン血症である。原発性低リン血症をある。原発性低リン血症をある。原発性低リン血症をある。原発性低リン血症をある。原発性低リン血症をある。原発性低リン血症をある。原発性低リン血症をある病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833 ビタミンD灰乏性骨軟化症 8848002 M8339 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 世界性低リン血症性骨軟化症 2682012 M8389 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症	親病名に統合の可能性 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない	TripleA症候群 ピタミンD抵抗性〈る病	NGCP NGCP NGCP DFCR 883950 DFCR	Q395 Q395 Q395 D	E274 E274 E833 E833 E833 E833	Allgrove症候群 トリブルA症候群 ビタミンD抵抗性くる病 ビタミンD抵抗性骨軟化症 低リン血症性くる病・骨軟化症 低リン血症性骨軟化症 くる病 後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 生生ンD抵抗性くる病/骨軟化症 生生ンD抵抗性くる病/骨軟化症 性をシンD抵抗性くる病/骨軟化症 性をシンD抵抗性くる病/骨軟化症 性をシンD抵抗性くる病/骨軟化症 性をシンD抵抗性くる病/骨軟化症 性をシンD抵抗性くる病/骨軟化症 性をシンD抵抗性くる病/骨軟化症 性をシンD抵抗性くる病/骨軟化症
常としては、ALADIN(AAAS)異常 低抗性くる病・骨軟化症といい、図	ve症候群)にお(- 	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgre ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症くる病 8833309 E833 低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症とる病 8833309 E833 低リン血症をはる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症とる病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833 ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症腫瘍性低リン血症性骨軟化症 2682012 M8389 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 数密には、診断基準の該当性に加え、①血清リン低値、および②FGF23元	親病名に統合の可能性 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない	TripleA症候群 ピタミンD抵抗性〈る病	NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP DFCR 883950 DFCR 883950 DFCR 268900	Q395 Q395 Q395 D	E274 E274 E833 E833 E833 E833	Allgrove症候群 トリブルA症候群 ビタミンD抵抗性くる病 ビタミンD抵抗性骨軟化症 低リン血症性くる病・骨軟化症 低リン血症性骨軟化症 くる病 後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症 腫瘍性骨軟化症 FGF23関連低リン血症 ビタミンD依存性くる病	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
常としては、ALADIN(AAAS)異常 低抗性くる病・骨軟化症といい、図	ve症候群)にお(- 	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgre ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症名の病 8833309 E833 低リン血症を移動である。原発性低リン血症である。原発性低リン血症である。原発性低リン血症である。原発性低リン血症をある。原発性低リン血症をある。原発性低リン血症をある。原発性低リン血症をある。原発性低リン血症をある。原発性低リン血症をある。原発性低リン血症をある病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833 ビタミンD灰乏性骨軟化症 8848002 M8339 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 世界性低リン血症性骨軟化症 2682012 M8389 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症	親病名に統合の可能性 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない	TripleA症候群 ビタミンD抵抗性くる病 くる病 ビタミンD依存性くる病	NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP	Q395 Q395 Q395 D	E274 E274 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E83	Allgrove症候群 トリブルA症候群 ビタミンD抵抗性くる病 ビタミンD抵抗性骨軟化症 低リン血症性くる病・骨軟化症 低リン血症性骨軟化症 くる病 後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症 腫瘍性骨軟化症 FGF23関連低リン血症 ビタミンD依存性くる病 ピタミンD依存性くる病	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症
常としては、ALADIN(AAAS)異常 低抗性くる病・骨軟化症といい、図	ve症候群)にお(- 	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgre ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症くる病 8833309 E833 低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症とる病 8833309 E833 低リン血症をはる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症とる病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833 ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症腫瘍性低リン血症性骨軟化症 2682012 M8389 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 数密には、診断基準の該当性に加え、①血清リン低値、および②FGF23元	親病名に統合の可能性 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない	TripleA症候群 ビタミンD抵抗性〈る病 どタミンD依存性〈る病 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症	NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP DFCR 883950 DFCR 883950	Q395 Q395 Q395 D	E274 E274 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E83	Allgrove症候群 トリブルA症候群 ビタミンD抵抗性骨軟化症 ビタミンD抵抗性骨軟化症 低リン血症性骨軟化症 低リン血症性骨軟化症 くる病 後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症 腫瘍性骨軟化症 FGF23関連低リン血症 ビタミンD依存性骨軟化症 ビタミンD依存性骨軟化症 ビタミンD依存性	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症
常としては、ALADIN(AAAS)異常 近抗性くる病・骨軟化症といい、区	ve症候群)にお(- 	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgre ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症くる病 8833309 E833 低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症とる病 8833309 E833 低リン血症をはる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症とる病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833 ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症腫瘍性低リン血症性骨軟化症 2682012 M8389 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 数密には、診断基準の該当性に加え、①血清リン低値、および②FGF23元	親病名に統合の可能性 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない	TripleA症候群	NGCP 884819 NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP LH3C 268900 LH3C 268900 LH3C 268900 LH3C 268900 LH3C 268900 LH3C 268900	Q395 Q395 Q395 C	E274 E274 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E83	Allgrove症候群 トリブルA症候群 ビタミンD抵抗性くる病 ビタミンD抵抗性骨軟化症 低リン血症性くる病・骨軟化症 低リン血症性骨軟化症 くる病 後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症 腫瘍性骨軟化症 FGF23関連低リン血症 ビタミンD依存性くる病 ビタミンD依存性であった。 ビタミンD依存性であった。 ビタミンD依存性であった。 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ロジタミンD依存症 ロジタミンD依存症 ロジタミンD依存症 ロジタミンD依存症 ロジタミンD依存症 ロジタミンD依存症 ロジタミンD依存症 ロジタミンD依存症	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症
製としては、ALADIN(AAAS)異常 抵抗性くる病・骨軟化症といい、区 生を示すくる病(骨軟化症)を来す he)をL-チロシン(Tyr)に変換す	ve症候群)におい 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgri ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。 原発性低リン血症くる病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833 別名、低リン血症せくる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。 原発性低リン血症くる病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833 ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 腫瘍性低リン血症性骨軟化症 2682012 M8389 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 ビクミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 能密には、診断基準の該当性に加え、①血清リン低値、および②FGF23行 ビタミンD依存性くる病/骨軟化症は、ビタミンD依存症ともいい、遺伝性に	親病名に統合の可能性 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	TripleA症候群 ビタミンD抵抗性〈る病 どタミンD依存性〈る病 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症	NGCP 884819 NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP LH3C 268900 LH3C 268900 LH3C 268900 LH3C 268900 LH3C 268900 LH3C 268900	Q395 Q395 Q395 C	E274 E274 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E83	Allgrove症候群 トリブルA症候群 ビタミンD抵抗性くる病 ビタミンD抵抗性骨軟化症 低リン血症性くる病・骨軟化症 低リン血症性骨軟化症 くる病 後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症 腫瘍性骨軟化症 FGF23関連低リン血症 ビタミンD依存性くる病 ビタミンD依存性で 関係を発生の体育性の デタミンD依存症 アクミンD依存症 アクミンD依存性 アクミンDktが	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 タミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グラミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グラミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グラミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グラミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グラミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グラミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グラミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症 グラミンD依存性くる病/骨軟化症
悲比せくる病・骨軟化症といい、図 生を示すくる病(骨軟化症)を来す he)をL-チロシン(Tyr)に変換する	ve症候群)におい 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgri ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。 原発性低リン血症くる病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833 別名、低リン血症はる病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833 ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 理瘍性低リン血症性骨軟化症 2682012 M8339 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 を2シD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 酸密には、診断基準の該当性に加え、①血清リン低値、および②FGF237 ビタミンD依存性くる病/骨軟化症は、ビタミンD依存症ともいい、遺伝性に	親病名に統合の可能性 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	TripleA症候群	NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP DFCR 883950 DFCR 268900 LH3C 268900 K9LT 268900 K9LT 268900 L4BA 268900 MF9U 88396	Q395 Q395 Q395 D	E274 E274 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E83	Allgrove症候群 トリブルA症候群 ビタミンD抵抗性くる病 ビタミンD抵抗性骨軟化症 低リン血症性くる病・骨軟化症 低リン血症性骨軟化症 くる病 後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症 腫瘍性骨軟化症 FGF23関連低リン血症 ビタミンD依存性(る病 ビタミンD依存性骨軟化症 ビタミンD依存性骨軟化症 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 レジョンD依存症 レジョンD依存性 レジョンD依存症 レグョンD依存性 レジョンD依存性 レジョンD依存性 レジョンD依存性 レジョンD依存症 レグョンD依存性 レジョンD依存症 レグョンD依存症 レグョンDk	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症 グタミンD依存性くる病/骨軟化症
悲比せくる病・骨軟化症といい、図 生を示すくる病(骨軟化症)を来す he)をL-チロシン(Tyr)に変換する	ve症候群)におい 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgri ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症くる病 8833309 E833 似名、低リン血症を含病 8833309 E833 別名、低リン血症を含病 8833309 E833 以の血症を表病 8833309 E833 低リン血症を含病 8833309 E833 低リン血症を含病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833 ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2.原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症腫瘍性低リン血症性骨軟化症 2682012 M8389 ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症酸では、診断基準の該当性に加え、①血清リン低値、および②FGF23引きのには、診断基準の該当性に加え、①血清リン低値、および②FGF23引きタミンD依存性くる病/骨軟化症は、ビタミンD依存症ともいい、遺伝性にフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(ドフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(ドフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(ドフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(ド	親病名に統合の可能性 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	TripleA症候群	NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP	Q395 Q395 Q395 D	E274 E274 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E83	Allgrove症候群 トリブルA症候群 ビタミンD抵抗性くる病 ビタミンD抵抗性骨軟化症 低リン血症性くる病・骨軟化症 低リン血症性骨軟化症 くる病 後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症 腫瘍性骨軟化症 FGF23関連低リン血症 ビタミンD依存性くる病 ビタミンD依存性であった。 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ログタミンD依存症 ログラミンD依存症 ログラミンDならな ログラミンDな ログラテム ログラミンDな ログラミンDな ログラミンDな ログラミンDな ログラミンDな ログラミンDな ログラミンDな ログラミンDな ログラミンDな ログラミンD	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グラミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病 グタミンD核存性とる病 グタミンD核存性とる病 グタミンD核存性とる病 グタミンD核存性とる病 グタミンD核存性とる病 グタミンD核存性とる病 グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは グター グター グター グター グター グター グター グター
悲比せくる病・骨軟化症といい、図 生を示すくる病(骨軟化症)を来す he)をL-チロシン(Tyr)に変換する	ve症候群)におい 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgri ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症くる病 8833309 E833 似名、低リン血症を 8841379 E833 別名、低リン血症を 8841379 E833 以名、低リン血症を 8841379 E833 低リン血症 8841379 E833 ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 ビタミンD灰乏性骨軟化症 8848002 M8339 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 歴瘍性低リン血症性骨軟化症 2682012 M8389 ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 総正は、診断基準の該当性に加え、①血清リン低値、および②FGF23では、診断基準の該当性に加え、①血清リン低値、および②FGF23では、診断基準の該当性に加え、①血清リン低値、および②FGF23では、診断基準の該当性に加え、①血清リン低値、および②FGF23では、シールイトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トローム・ローム・ローム・ローム・ローム・ローム・ローム・ローム・ローム・ローム・	親病名に統合の可能性 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	TripleA症候群	NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP	Q395 Q395 Q395 D	E274 E274 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E83	Allgrove症候群 トリブルA症候群 ビタミンD抵抗性骨軟化症 低リン血症性くる病・骨軟化症 低リン血症性骨軟化症 (る病 後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症 腫瘍性骨軟化症 FGF23関連低リン血症 ビタミンD依存性骨軟化症 ビタミンD依存症 BH4欠損症 BH4欠廃症 BH4反応性高Phe血症 高チロシン血症1型 高チロシン血症1型 高チロシン血症1型	副腎皮質刺激ホルモン不応症 シミンD抵抗性くる病/骨軟化症 ジタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 ジタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 ジタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 ジタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 ジタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 ジタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 ジタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 ジタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性くる病/骨軟化症 ジタミンD依存性とる病/骨軟化症
悲比せくる病・骨軟化症といい、図 生を示すくる病(骨軟化症)を来す he)をL-チロシン(Tyr)に変換する	ve症候群)におい 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症。トリプルA(TripleA)症候群(Allgri ビタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 別名、低リン血症性くる病骨軟化症と呼ばれる疾患である。原発性低リン血症くる病 8833309 E833 低リン血症 8841379 E833 別名、低リン血症をくる病 8833309 E833 低リン血症を 8841379 E833 低リン血症 8841379 E833 ピタミンD欠乏性骨軟化症 8848002 M8339 ピタミンD灰乏性骨軟化症 8848002 M8339 ピタミンD抵抗性くる病/骨軟化症(指定難病238)2. 原因・後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 理瘍性低リン血症性骨軟化症 2682012 M8389 ピタミンD抵抗性骨軟化症の代表的疾患である腫瘍性骨軟化症 態密には、診断基準の該当性に加え、①血清リン低値、および②FGF237 ピタミンD依存性くる病/骨軟化症は、ピタミンD依存症ともいい、遺伝性にフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェニルケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェールケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェールケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェールケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェールケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェールケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェールケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェールケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアウニン血症(トフェールケトン尿症(高フェニルアウニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェールケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェールケトン尿症(高フェニルアラニン血症)。高フェニルアラニン血症(トフェールケトン尿症)。高フェニルアラニン血症(トフェールケトン尿症)。高フェニルアラニン血症(トフェールケトン尿症)。高フェニルアウニン血症(トフェールケトン尿症)。高フェニルアウニン血症(トフェールケトン尿症)。高フェニルアウニン血症(トフェールケトン尿症)。高フェニルアウニン血症(トフェールケトン尿症)。高フェニルアウニン血症(トフェールケトン尿症)。高フェニルケトン血症(トフェールケトン尿症)。1200年1200年1200年1200年1200年1200年1200年1200	親病名に統合の可能性 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 類似病名あるが決められない 親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	TripleA症候群	NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP NGCP	Q395 Q395 Q395 D	E274 E274 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E833 E83	Allgrove症候群 トリブルA症候群 ビタミンD抵抗性くる病 ビタミンD抵抗性骨軟化症 低リン血症性くる病・骨軟化症 低リン血症性骨軟化症 くる病 後天性ビタミンD抵抗性骨軟化症 腫瘍性骨軟化症 FGF23関連低リン血症 ビタミンD依存性くる病 ビタミンD依存性であった。 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ビタミンD依存症 ログタミンD依存症 ログラミンD依存症 ログラミンDならな ログラミンDな ログラテム ログラミンDな ログラミンDな ログラミンDな ログラミンDな ログラミンDな ログラミンDな ログラミンDな ログラミンDな ログラミンDな ログラミンD	副腎皮質刺激ホルモン不応症 副腎皮質刺激ホルモン不応症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性くる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グラミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病/骨軟化症 グタミンD核存性とる病 グタミンD核存性とる病 グタミンD核存性とる病 グタミンD核存性とる病 グタミンD核存性とる病 グタミンD核存性とる病 グタミンD核存性とる病 グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンD核存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは存性を グタミンDは グター グター グター グター グター グター グター グター

告示番 号	A. 指定難病名	B. 告示病名以外の指定難病対象疾病名	ICD-10-1	1 ICD-10-2	病名交換 用コード	病名コート	レセプト傷病名マスター	疑義フラグ	コード付与に関するの備考(類似病名あるがBと同一か決めきれない例が	ここは見て!	備考
242	高チロシン血症2型	高チロシン血症2型			HJ-r	884723			2012年頃病名削除されている		
	高チロシン血症2型	急性型高チロシン血症2型	E702					親病名に統合の可能性	高チロシン血症2型		
	<u>高チロシン血症2型</u> 高チロシン血症2型	亜急性型高チロシン血症2型 慢性型高チロシン血症2型	E702					親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	高チロシン血症2型 高チロシン血症2型		
243	高チロシン血症3型	高チロシン血症3型	E702		QCSF		高チロシン血症3型	17677 H 1 - 176 H 47 - 3 136 H			
	高チロシン血症3型 高チロシン血症3型	高チロシン血症3型 急性型高チロシン血症3型	E702			884723		 親病名に統合の可能性	2012年頃病名削除されている 高チロシン血症3型		
	<u> 同プロンノ皿延3室</u> 高チロシン血症3型	西急性型高チロシン血症3至	E702					競病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	同アロンノ単征3至 高チロシン血症3型		
	高チロシン血症3型	慢性型高チロシン血症3型	E702					親病名に統合の可能性	高チロシン血症3型		
	メープルシロップ尿症 プロピオン酸血症	メープルシロップ尿症(MSUD) プロピオン酸血症	E710 E711		DJBJ G8A5		メープルシロップ尿症 プロピオン酸血症				
245	プロピオン酸血症	軽症プロピオン酸血症	E711					親病名に統合の可能性	プロピオン酸血症		
	メチルマロン酸血症 イソ吉草酸血症	メチルマロン酸血症 イソ吉草酸血症	E711 E711		VDMR L5KN		メチルマロン酸血症 イソ吉草酸血症				
	<u> 17日早阪皿症</u> グルコーストランスポーター1欠損症	17百早阪皿症 グルコーストランスポーター1欠損症(GLUT-1 DS)/GLUT		G948	MA2J		イソ <u> 1 1 1 1 1 1 1 </u>				
	15° 11 E 11 Th 1 = 1 Th	1欠損症									
	グルタル酸血症1型 グルタル酸血症2型	グルタル酸血症1型 グルタル酸血症2型	E723 E713		QGTA LJ09		グルタル酸血症1型 グルタル酸血症2型				
250	グルタル酸血症2型	マルチプルアシルCoA脱水素酵素欠損症	E713		2003	004717	アルアル設皿派と主	親病名に統合の可能性	グルタル酸血症2型(指定難病250)マルチプルアシルCoA脱水素酵素が	て損症などと記載	」
	グルタル酸血症2型	新生児期発症型グルタル酸血症2型	E713					親病名に統合の可能性	グルタル酸血症2型(指定難病251)3. 症状本症は重症度や発症年齢 グルタル酸血症2型(指定難病251)3. 症状本症は重症度や発症年齢	から1)新生児排	明発症型、2)乳幼児・学童期発症型、及び3)成人乳
	<u>グルタル酸血症2型</u> グルタル酸血症2型	乳幼児・学童期発症型グルタル酸血症2型 成人発症型グルタル酸血症2型	E713					親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性	グルタル酸血症2至(指定難病251)3. 症状本症は重症度や発症年齢	から1)新生児類	明発症型、2)乳幼児・学童期発症型、及び3)成人乳 明発症型、2)乳幼児・学童期発症型、及び3)成人乳
251	尿素サイクル異常症	尿素サイクル異常症	E722		BB3L		尿素サイクル異常症				
	<u>尿素サイクル異常症</u> 尿素サイクル異常症		E722 E722		BB3L G0GG		<u>先天性尿素サイクル異常症</u> Nーアセチルグルタミン酸合成酵素欠損症				
251	尿素サイクル異常症	NAGS欠損症	E722		G0GG	004044	17 アピアルアルアペン 設 日 次 辞示 八 京 派	親病名に統合の可能性	N-アセチルグルタミン酸合成酵素(NAGS)欠損症では、NAGの合成低下を	ときたす常染色の	本劣性遺伝性疾患である。
	尿素サイクル異常症 尿素サイクル 異常症	カルバミルリン酸合成酵素欠損症	E722		U5D5		カルバミルリン酸合成酵素欠損症				
	<u>尿素サイクル異常症</u> 尿素サイクル異常症	オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症 OTC欠損症	E724 E724		Q345 Q345	684493	オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症	親病名に統合の可能性	オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症。尿素サイクルの二段階目の反	L 応(カルバミル!	L リン酸とオルニチンからシトルリンを合成)を司る酵素
251	尿素サイクル異常症	アルギニノコハク酸尿症	E722			883032	アルギニノコハク酸尿症				
251	尿素サイクル異常症	アルギニン血症	E722					類似病名あるが決められ ない	厚労省病名マスタ★高アルギニン血症 8833331 E722		
251	尿素サイクル異常症	CPSI欠損症	E722					類似病名あるが決められ	カルバミルリン酸合成酵素(CPS1)欠損症8844943 E722		
251	 尿素サイクル異常症	シトルリン血症(古典型、I型)	E722		ARPN	004054	シトルリン血症1型	ない	7.77 / 7		
	<u> </u>	」シトルリン血症(古典型、I型) 古典型シトルリン血症	E722		ARPN	884854	リントルリン血症(空		「シトルリン血症(古典型、I型)」と同じとみなした		
252	リジン尿性蛋白不耐症	リジン尿性蛋白不耐症	E723		A64J	884504	リジン尿性蛋白不耐症				
	先天性葉酸吸収不全 ポルフィリン症	先天性葉酸吸収不全 ポルフィリン症	D528 E802		TAU7 LU66		先天性葉酸吸収不全 ポルフィリン症				
	ポルフィリン症 ポルフィリン症	急性ポルフィリン症	E802		DEGA		急性ポルフィリン症				
	ポルフィリン症	急性間欠性ポルフィリン症	E802 E802		Q07E ALAE	883231					
	<u>ポルフィリン症</u> ポルフィリン症	遺伝性コプロポルフィリン症 異型性ポルフィリン症	E802		U05F	8830573 883042	遺伝性コプロポルフィリン症 異型性ポルフィリン症				
	ポルフィリン症	皮膚型ポルフィリン症	E802					親病名に統合の可能性	ポルフィリン症とはポルフィリン体あるいはその関連物質が、皮膚、血液、	肝臓その他の肌	蔵器に蓄積して生じる複数の病気の総称です。
254	ポルフィリン症	赤芽球性(骨髄性)プロトポルフィリン症	E802					類似病名あるが決められ ない	遺伝性赤芽球増殖性ポルフィリン症 8830577 E800 赤芽球増殖性プロトポルフィリン症 8835970 E800		
254 7	ポルフィリン症	晩発性皮膚ポルフィリン症	E801		M1MQ	883015	晩発性皮膚ポルフィリン症	7,00	どちらがあてはまる?		
	ドルフィリン症 ドルフィリン症		E802		WITIVIQ	000910	5元 圧及肩バルフィリン証	類似病名あるが決められ	先天性ポルフィリン症 8836372 E802		
054		先天性骨髄性ポルフィリン症 	5000					ない	元大任バルフィリン症 6630372 E602		
204 /	ポルフィリン症	X連鎖優性プロトポルフィリン症	E802					類似病名あるが決められ ない	プロトポルフィリン症 8839923 E800		
254 7	ポルフィリン症	肝性骨髄性ポルフィリン症	E802					類似病名あるが決められ	肝性ポルフィリン症 2771007 E802		
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	複合カルボキシラーゼ欠損症	D818		RGFR	884866	複合カルボキシラーゼ欠損症	7,50			
	複合カルボキシラーゼ欠損症 複合カルボキシラーゼ欠損症	ホロカルボキシラーゼ合成酵素欠損症	D818		QSP0	884605	ホロカルボキシラーゼ合成酵素欠損症	親病名に統合の可能性	複合カルボキシラーゼ欠損症 は(1)ホロカルボキシラーゼ合成酵素(HC	OVÆH 를 AVE	
	核ロガルパインノーで大俣症 筋型糖原病	ビオチニダーゼ欠損症 筋型糖原病	E740	G736	F2C9	884849	筋型糖原病	税内石に献立のり能性	複古ガルハインノーで欠損症 は(T)ハロガルハインノーで古成的系(NO	3/大俣 症 3/と((2)にオテーターセス損症 4), 5) の 2 種類に入別され
256	筋型糖原病	筋型糖原病Ⅱ型(ポンペ(Pompe)病)	E740		B3TV	883801	糖原病2型				
	<u>筋型糖原病</u> 筋型糖原病	筋型糖原病Ⅱ型(ポンペ(Pompe)病) 筋型糖原病Ⅲ型(コーリー(Cori)病)	E740 E740		B3TV PP5G	271001	ポンペ病 糖原病3型				糖原病3型は筋型と肝型がある。
	筋型糖原病	筋型糖原病III型(コーリー(Cori)病)	E740		PP5G		コリ病				糖原病3型は筋型と肝型がある。
	筋型糖原病	」筋型糖原病Ⅲ型(コーリー(Cori)病)	E740		PP5G	883962	フォーブス病				糖原病3型は筋型と肝型がある。
∠30	筋型糖原病	筋型糖原病V型(マッカードル(McArdle)病) 	E740		LK5P	883801	B.糖原病5型				糖原病3型は筋型と肝型がある。 肝型糖原病Ⅲ型にも「コリ病」「フォーブス病」同一系
0	Arts Till light FEE arts	of Till the FE of Carles									患名あり
	筋型糖原病 筋型糖原病	筋型糖原病V型(マッカードル(McArdle)病) 筋型糖原病VII型(Tarui病)	E740 E740		LK5P SFKT		マックアードル病 糖原病7型				
256	筋型糖原病	筋型糖原病O型	E740		T57B	884862	糖原病O型				
	<u>筋型糖原病</u> 筋型糖原病	糖原病4型 アンダーソン病	E740 E740				糖原病4型 アンダーソン病				どったのでH列の病名入れました 問題なければ色洋 どったのでH列の病名入れました 問題なければ色洋
	<u>助</u> 空糖原病 筋型糖原病	所型糖原病IX型	E740 E740		AE1R	884863	糖原病9型			∪クリア暦石笠日/	こつにのでH列の病名人れました 同題なければ色深 糖原病9型は筋型と肝型がある。
256	筋型糖原病	筋型糖原病X型	E740		AE1R	884862	糖原病10型				
	<u>筋型糖原病</u> 筋型糖原病	筋型糖原病XI型(Kanno病) 筋型糖原病XII型	E740 E740	1	DVH9 AA35	884862	糖原病11型 糖原病12型				
256	筋型糖原病		E740		S5S6	884862	糖原病13型				
	筋型糖原病	筋型糖原病XIV型	E740		HK7M		糖原病14型				
	<u>筋型糖原病</u> 肝型糖原病	<u>筋型糖原病XV型</u> 肝型糖原病	E740 E740	K778	S95E	884847	<u>糖原病15型 </u>				
257	肝型糖原病	肝型糖原病	E740	K778	S95E	883287	グリコーゲン性びまん性肝肥大症				
	肝型糖原病 肝型糖原病	肝型糖原病I型 肝型糖原病II型 ※筋型糖原病II型(コーリー(Cori)病)と同	E740 E740		RKSB PP5G		糖原病1型 糖原病3型				糖原病3型は筋型と肝型がある。
257	肝型糖原病	肝型糖原病Ⅲ型 ※筋型糖原病Ⅲ型(コーリー(Cori)病)と同	E740		PP5G	883386	コリ病				糖原病3型は筋型と肝型がある。
	肝型糖原病	肝型糖原病Ⅲ型 ※筋型糖原病Ⅲ型(コーリー(Cori)病)と同			PP5G		フォーブス病				糖原病3型は筋型と肝型がある。
	肝型糖原病 肝型糖原病	肝型糖原病Ⅳ型 肝型糖原病Ⅳ型	E740 E740		H9F8 H9F8		糖原病4型 アンダーソン病				糖原病4型は筋型と肝型がある。 糖原病4型は筋型と肝型がある。
	肝型糖原病	肝型糖原病VI型	E740		B2MD	883801	糖原病6型				*************************************
	肝型糖原病	肝型糖原病VI型	E740		B2MD	883878	ハース病糖原病9型				
257			E740	1	AE1R						糖原病9型は筋型と肝型がある。
257 257	肝型糖原病	肝型糖原病IX型 ※筋型糖原病IX型と同疾患 肝型糖原病Ia型グルコース-6-ホスファターゼ欠損症	E740		TNV1	88480/	川糖原病1a型				
257 257 257 257	肝型糖原病 肝型糖原病 肝型糖原病	肝型糖原病Ia型グルコース-6-ホスファターゼ欠損症 肝型糖原病Ia型グルコース-6-ホスファターゼ欠損症	E740 E740		TNV1	271000	フォンギールケ病				
257 257 257 257 257	肝型糖原病 肝型糖原病	肝型糖原病Ia型グルコース-6-ホスファターゼ欠損症	E740			271000					

### 1957年 1957年	告示番 号	A. 指定難病名	B. 告示病名以外の指定難病対象疾病名	ICD-10-1	ICD-10-2	病名交換 用コード	病名コード	レセプト傷病名マスター	疑義フラグ	コード付与に関するの備考(類似病名あるがBと同一か決めきれない例	ここは見て! 備考
20						-					
### 1987											
### 1985年			症								
### 1985年											
10											
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	257 肝型糖	唐原病	肝型糖原病IXb β サブユニット異常症(肝筋型)	E740						肝型糖原病	
1985年											
日本											
19	257 肝型糖	唐原病									
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日											
100 10											
19				L/10		UEGV	8848434	GALT欠損症	秋州1010川日07円形圧	11 至相原物	
1982年									親病名に統合の可能性	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	
Page			レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症			BUVM	8849518				ナル ナル
19			古典型LCAT欠損症	E/86					親病名に統合の可能性	LCAT欠損症には古典型(LCAT活性10%未満)と部分欠損型(LCAT活性	±15~40%) がある。
19			如八石岩型。04.7石岩点	E786					知点なに然入の可能性		+1F - 400() \\$\tau 7
1985			部分欠損至LGAT欠損症						祝衲石に枕古のり配性	LCAT人技证には古典型(LCAT活性10%未満)と部分人技型(LCAT活性	E13~40%) // തരം
19			魚眼病	E786					親病名に統合の可能性	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症(指定難病259)	腎障害を来さず角膜混濁のみを呈する「魚眼病」というLCAT欠損症(
1975 1975	260		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	5700			0040504				平成30年6月傷病名マスター追加のためKDB登録
19	シトスプ	·		E780		N62A					なし。
10	261 タンジー	ール病	タンジール病	E786		L139	8830371	アルファリポ蛋白欠乏症			立げ20た0日左右フラナ カニュナルバーでは
19	262 原発性	生高カイロミクロン血症	原発性高カイロミクロン血症	E783		H71L	8849528	_			平成30年6月陽病名マスター追加のためKDB登録
19	263 脳腱黄1	 色腫症		E755		J97L	8838707				1.000
100 10	263 脳腱黄1	色腫症	27ーヒドロキシラーゼ欠損症	E755					親病名に統合の可能性	脳腱黄色腫症(27-ヒドロキシラーゼ欠損症)は、シトクロムP-450(CYP)	遺伝子異常によりCYP蛋白である27-ヒドロキシラーゼ(CYP27)活性だ
19.0 1											
100 10											
550											
100 10											
100 日本語画作											
100 日本には日本 1970											
10 日本の日本日							8831283	家族性地中海熱			
20년 日本				D898		RB20	8848134	高IgD症候群			
19 日本作業を配置される問題を記す 日本作業を担当しています。				D898		NMN7	8848643	山條• 而村症候群	親病名に統合の可能性	高IgD症候群(メハロン酸キナーセ火損症)	
Public								<u> </u>			
70. 1.0 1.			11版 仕無風 仕関即炎・塚祖 仕版及症・アク不症 作群				8848441			「PAPA症候群」と同じとみなしに	
702			PAPA症候群	D898		L1FL	8848441	PAPA症候群			
201			│ │慢性 五発性多発性骨 髓炎	D898		VRR6	8848673	 慢性再発性多発性骨髓炎			
272 12 年後の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の											
171 19 19 19 19 19 19 19											
272 771-771-772 191-10					Q766						
575 カナナンアング音楽形成在											
27日 大田市地区							8847883	タナトフォリック骨異形成症			
272 校理報報信											
27.1 名誉等が在 代育物品度							8847892				
278 技術報報後度 179							8838352	軟骨異栄養症			
272 日本的画の画像室 巨大リンド電音が「電影を開発を選手が、場合の世間に対しては、大きないます。							7564006	胎児性軟骨異栄養症			
279 日本科学的・資産部口管理的で求られ 日本科学的・資産の日間では、また。											
200 日本動物保養和(開始機能限定は回数機 大型物解毒物(開始機能を)											
202 フリッハ・トレノネー・ウェーバー 値検射 フリッパル・トレノネー・ウェーバー 値検射 0.02 0.003 0.004 0.003 0.004 0.003 0.004 0.003 0.004 0.003 0.004 0.003 0.004 0.003 0.003 0.004 0.003	280 巨大動	静脈奇形(頚部顔面又は四肢病	巨大動静脈奇形(頚部顔面又は四肢病変)								
2022 東大平馬車等原産業で食物	280 巨大動	静脈奇形(頚部顔面又は四肢病	巨大動静脈奇形(頚部顔面又は四肢病変)	Q273		C858	8848492	巨大動静脈奇形(四肢病変)			
2026 東天性参加庫等別展業性質血 東大性参加庫料の展素性質血 D644 CFGS B889270 東大性参加庫料の展素性質血 D645 (大作 SP	<u>変)</u> 281 クリッペ	ペル・トレノネー・ウェーバー症候群	 クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候理								
28.24 ダイアモン・ブラックフン・資血 ダイアモン・ブラックフン・資血 夕イアモン・ブラックフン・資血 夕イアモン・ブラックフン・浸血 夕イアモン・ブラックフン・浸血 夕日の 夕イアモン・ブラックフン・浸血 夕日の 夕イアモン・ブラックフン・浸血 夕日の							8836270	先天性赤血球形成異常性貧血			
284	283 後天性	:赤芽球癆	後天性赤芽球癆	D609		KM2A	8833581	後天性赤芽球ろう			
263 通信性験芽球性質血 ファンコ - 発血							8848607	ダイアモンド・ブラックファン貧血			
286 遺伝性鉄芽球性負血 遺伝性鉄芽球性負血 遺伝性鉄芽球性負血 D640 D640											
ロラルタイと産業料	286 遺伝性	生鉄芽球性貧血	遺伝性鉄芽球性貧血	D640		C9LA	8830580	遺伝性鉄芽球性貧血			
日ご発性後大性液固因子欠乏症 表天性血疾病			エプスタイン症候群	D696	H905	V9PL	8848463	エプスタイン症候群			TI #00/F 1 D F F F F F F F F F
288 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 後天性血友病A 日色免疫性後天性次元因の子欠乏症 日色免疫性後天性水石の子欠乏症 日色免疫性後天性水石の子欠乏症 日色免疫性後天性水石の子欠乏症 日色免疫性後天性水石の子欠乏症 日色免疫性後天性水石の子欠乏症 日色免疫性後天性凝固の子欠乏症 日色免疫性を大足凝固の子欠乏症 日色皮性を大足凝固の子欠乏症 日色皮性を大足凝固の子欠乏症 日色皮性を大足凝固の子欠乏症 日色皮性を大足凝固の子欠乏症 日色皮性を大足凝固の子欠定症 日色皮性を大足凝固の子欠定症 日色皮性を大足変に対しなシェスプルンが病 日色皮性を大足を持起を大足のエスプルンが病 日色皮性を大足変に対しなシェスプルンの病 日色皮性を大足を対しために大皮性を大足を大皮性を大足を大皮性を大足を大皮性を大足を大皮性を大足を大皮性を大足を大皮性を大皮性を大足を大皮性を大足を大皮性を大皮性を大皮性を大皮性を大皮性を大皮性を大皮性を大皮性を大皮性を大皮性	288 目己免	已按任佞大任凝固因于欠之症	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	D684		FN7B	8849353	-			
自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 表生性が表質の子次乏症 表生性が表質の子次之症 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 第5因子インヒビター 第6日子インヒビター 第6日子・ビル道所領症 第6日子・ビル道所領症 第6日子・ビル道所領症 第6日子・ビル道所領症 第6日所領症 第6日所領症 第6日所領症 第6日の日 第6日の日 第6日本日 第6日子・ビル道所領症 第6日の日 第6日子・ビル道所領症 第6日子・ビル道所領症 第6日子・ビル道の日 第6日子・ビルゴン・ビルゴン・ビルゴン・ビルゴン・ビルゴン・ビルゴン・ビルゴン・ビルゴン	288 自己免	免疫性後天性凝固因子欠乏症		D684		M757	8845658	後天性血友病A			1'4Co
Ref			自己免疫性後天性フォンウィルブランド因子(von Willebrand)						親病名に統合の可能性	白己免疫性後天性凝固因子を予定	
288 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 自己免疫性後天性凝固男子欠乏症 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 第5因子インヒビター 1089 1039 10	000 5	2.点块处于4.均田田コニニニ				0055	00.15.55		かたがっていたログリ形性	ロロル及は仮へは一般凹凸す人と症	TI POOK I DIE POOK I D
288 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 第5因子インヒビター				D684		S3RP	8849354	_	 	自己免疫性後天性縣因因之夕多症	平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
289 クロンカイト・カナダ症候群 クロンカイト・カナダ症候群 D199 JJ31 8843694 クロンカイト・カナダ症候群 290 非特異性多発性小腸潰瘍症 非特異性多発性小腸潰瘍症 291 ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小 ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型) Q431 CUJL 8848594 291 ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小 トルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型) Q431 SRL1 884までから症 総排泄腔外反症 Q641 MLRD 8845173 292 総排泄腔遺残 総排泄腔遺残 Q437 Q42R 8836688 293 総排泄腔遺残 総排泄腔遺残 Q437 Q42R 8836688 294 先天性横隔膜へルニア 先天性横隔膜へルニア 295 乳幼児肝巨大血管腫 乳幼児肝巨大血管腫 別幼児肝巨大血管腫 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 Q2RG 5762012 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 Q2RG 5762012 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 Q2RG 5762012 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 Q2RG 5762014 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 Q2RG 62RG 5762014 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 Q2RG 62RG 8383686 先天性順質 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 Q2RG 62RG 5762014 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 Q2RG 63RG 8363686 先天性順度	288 自己免	<u>- 汉 工 及 入 工 颁 国 囚 丁 人 之 址 </u> 免疫性後 天性 凝固 因 子 欠 乏 症		D684					親病名に統合の可能性	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	
291 ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小 ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型) Q431 CUJL 8848594 全結腸型ヒルシュスプルング病 291 ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型) Q431 SRL1 8848545 小腸型ヒルシュスプルング病 292 総排泄腔外反症 総排泄腔外反症 Q641 MLRD 8845173 総排泄腔外反症 293 総排泄腔遺残 Q437 Q42R 8836688 総排泄腔過残 294 先天性横隔膜ヘルニア 先天性横隔膜ヘルニア Q790 E4J4 8836145 先天性横隔膜ヘルニア 295 乳幼児肝巨大血管腫 乳幼児肝巨大血管腫 D180 RGNT 8849819 乳幼児肝巨大血管腫 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 5762012 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 5762014 四位 </td <td>289 クロンナ</td> <td>カイト・カナダ症候群</td> <td>クロンカイト・カナダ症候群</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7 7 7 7 1/O (±</td> <td></td> <td></td>	289 クロンナ	カイト・カナダ症候群	クロンカイト・カナダ症候群						7 7 7 7 1/O (±		
291 ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小 腸型) ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型) Q431 SRL1 8848545 小腸型ヒルシュスプルング病 292 総排泄腔分反症 総排泄腔遺残 Q437 Q42R 8836688 総排泄腔遺残 293 総排泄腔遺残 Q437 Q42R 8836688 総排泄腔遺残 294 先天性横隔膜ヘルニア 先天性横隔膜ヘルニア Q790 E4J4 8836145 先天性横隔膜ヘルニア 295 乳幼児肝巨大血管腫 乳幼児肝巨大血管腫 D180 RGNT 8849819 乳幼児肝巨大血管腫 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 5762012 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 P1道閉鎖症 Q442 G2RG 5762014 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 Q442 Q2RG 5762014 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症											
陽型) 845343 小陽型とリステングが 292 総排泄腔対反症 総排泄腔対反症 Q641 MLRD 8845173 総排泄腔遺残 293 総排泄腔遺残 総排泄腔遺残 Q437 Q42R 8836688 総排泄腔遺残 294 先天性横隔膜へルニア 先天性横隔膜へルニア Q790 E4J4 8836145 大天性横隔膜へルニア 295 乳幼児肝巨大血管腫 乳幼児肝巨大血管腫 D180 RGNT 8849819 乳幼児肝巨大血管腫 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 Q2RG 5762012 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 Q2RG 5762014 胆道閉鎖症											
292 総排泄腔外反症 総排泄腔功反症 Q641 MLRD 8845173 総排泄腔功反症 293 総排泄腔遺残 総排泄腔遺残 Q437 Q42R 8836688 総排泄腔遺残 294 先天性横隔膜へルニア 先天性横隔膜へルニア Q790 E4J4 8836145 先天性横隔膜へルニア 295 乳幼児肝巨大血管腫 乳幼児肝巨大血管腫 乳幼児肝巨大血管腫 別849819 乳幼児肝巨大血管腫 296 胆道閉鎖症 Q442 Q2RG 5762012 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 B12 Q442 Q2RG 5762014 即道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 Q442 Q2RG 5762014 即道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 Q442 Q2RG 5762014 即道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 B12 Q442 Q2RG 5762014 即道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 B12 Q442 Q2RG 5762014 即道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 B12 Q2RG 5762014 即道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 B12 Q2RG 5762014 即道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 B12 Q2RG 5762014 即道閉鎖症 D18	腸型)		ニルンユハンルンフ	Q701		JILI	8848545	小腸型ヒルシュスプルング病			
294 先天性横隔膜ヘルニア 先天性横隔膜ヘルニア Q790 E4J4 8836145 先天性横隔膜ヘルニア 295 乳幼児肝巨大血管腫 乳幼児肝巨大血管腫 D180 RGNT 8849819 乳幼児肝巨大血管腫 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 5762012 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 5762014 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 5762014 胆道閉鎖 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 5836286 先天性胆道閉鎖症	292 総排泄										
295 乳幼児肝巨大血管腫 乳幼児肝巨大血管腫 別別児肝巨大血管腫 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 5762012 胆道閉鎖症 問題間鎖症 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 5762014 胆道閉鎖症 問題閉鎖症 問題閉鎖症 回過 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 5762014 胆道閉鎖症 回過 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 8836286 先天性胆道閉鎖症											
296 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 5762012 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 5762014 胆道閉鎖症 296 胆道閉鎖症 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 8836286 失天性胆道閉鎖症	294	± (関 									
296 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 5762014 胆道閉鎖 296 胆道閉鎖症 Q442 G2RG 8836286 長天性胆道閉鎖症	296 胆道閉	閉鎖症	胆道閉鎖症				5762012	胆道閉鎖症			
290 胆退闭鎖症							5762014	胆道閉鎖			
297 アラジール症候群 アラジール症候群 Q447 AD8H 8830321 アラジール症候群 D85			胆道閉鎖症 アラジール症候群	Q442 Q447		G2RG AD8H	8836286	先天性胆道閉鎖症 アラジール症候群			

298 遺伝性膵炎 299 遺伝性膵炎 299 嚢胞性線維症 299 嚢胞性線維症 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 301	1	レーベル遺伝性視神経症	K861 E849 E849 M359 M359 K861 K861 K830 K118 N119 H355 H355 H355 H355 H355 H355 H355 H35		MV49	8838762 8835706 8848113 8842274 8848112 8848115 8848114 8830978 8840886 88435687 8837588 8846069 8844121 8849766 88485156 8849258 8849351 8849440 8849440 8849449 8849449	遺伝性膵炎 のう胞性線維症 膵のう胞性線維症 IgG4関連疾患 自己免疫性膵炎 IgG4関連硬化性胆管炎 IgG4関連をとして、 IgG4関連をのでは、 IgG4関連疾患 IgG4関連をのでは、 IgG4関連をのでは、 IgG4関連をのでは、 IgG4関連をのでは、 IgG4関連をのでは、 IgG4関連をのでは、 IgG4関連をのでは、 IgG4関連をのでは、 IgG4関連をのでは、 IgG4関連疾患 IgG4関連をのでは、 IgG4関連疾患 IgG4関連疾患 IgG4関連をのでは、 IgG4関連をのでは	親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性親病名に統合の可能性		スタルガルト病、錐体杆体ジストロフィー、卵黄状黄斑ジストロフィー 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録 なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録 なし。
299 嚢胞性線維症 299 嚢胞性線維症 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 301 黄斑ジストロフィ 301 世ーベル遺伝性 302 レーベル遺伝性 302 レーベル遺伝性 303 アッシャー症候割 305 遅発性内リンバ 306 好酸球性副鼻腔 307 カナバン病 308 進行性白質脳症 308 進行性自質脳症 308 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	イー イー イー イー イー イー ・ 視神経症 ・ 視神経症 ・ 現神経症 ・ 現神経症 ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	嚢胞性線維症 肝嚢胞性線維症 日頃の4関連疾患 日頃の4関連疾患 日頃の4関連疾患 自己免疫性膵炎 日頃の4関連疾患を表 自己免疫性膵炎 日頃の4関連疾患・ 田崎のは、	E849 E849 M359 M359 K861 K830 K118 N119 H355 H355 H355 H355 H355 H312 H472 H472 Q878 H903 H810 J328 E752 G319 E752 G934 G318 G403 G403 G403 G403 Q897		KP9S SQJN PVCP HPE1 H27S RKDM GCMM J3AG MGSO HRVL PLPH PLPH K59V N891 VM8P V5RN TP0K FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF QG6N	8835706 8848113 8842274 8848112 8848115 8848114 8830978 8840886 8843848 8841636 8835687 8837588 8849669 8844121 8849766 8848614 8845156 8849258 8849440 8849440 8849449 8849449 8849449	膜のう胞性線維症 IgG4関連疾患 自己免疫性膵炎 IgG4関連硬化性胆管炎 IgG4関連ラリッツ病 IgG4関連マンリッツ病 IgG4関連腎臓病 黄斑ジストロフィー 卵黄状黄斑ジストロフィー 黄色斑眼底 維体ジストロフィー 錐体杆体ジストロフィー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	親病名に統合の可能性	IgG4関連疾患	平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録 なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
299 嚢胞性線維症 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 301 黄斑ジストロフィ 302 レーベル遺伝性 302 レーベル遺伝性 303 アッシャー症候 304 若辛発症型 106 107	イー イー イー イー イー イー イー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	肝嚢胞性線維症 IgG4関連疾患 自G4関連疾患 自己免疫性膵炎 IgG4関連硬化性胆管炎 IgG4関連硬化性胆管炎 IgG4関連環腺・眼窩および唾液腺病変 IgG4関連腎臓病 黄斑ジストロフィー 卵黄状黄斑ジストロフィー 卵黄状黄斑ジストロフィー 卵黄状大黄斑ジストロフィー 銀体がストロフィー 錐体がストロフィー 錐体がストロフィー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E849 M359 M359 K861 K830 K118 N119 H355 H355 H355 H355 H355 H355 H3755 H375 H37		SQJN PVCP HPE1 H27S RKDM GCMM J3AG MGSO HRVL PLPH K59V N891 VM8P V5RN TP0K FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF QG6N	8848113 8842274 8848112 8848115 8848114 8830978 8840886 8843848 8841636 8835687 8837588 884664 8849121 8849766 8848514 8849156 8849440 8849440 8849440 8849449 8849449	IgG4関連疾患 自己免疫性膵炎 IgG4関連硬化性胆管炎 IgG4関連をクリッツ病 IgG4関連腎臓病 黄斑ジストロフィー 卵黄状黄斑ジストロフィー 黄色斑眼底 錐体ジストロフィー 錐体杆体ジストロフィー ・中心性輪紋状脈絡膜萎縮症 レーベル遺伝性視神経症 レーバー遺伝性視神経を縮症 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎	親病名に統合の可能性	IgG4関連疾患	平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録 なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
300	イー イー イー イー イー イー ・視神経症 ・現神経症 ・現神経症 ・現神経症 ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	「EG4関連疾患包括 自己免疫性膵炎 1gG4関連硬化性胆管炎 1gG4関連硬化性胆管炎 1gG4関連硬腺・眼窩および唾液腺病変 1gG4関連腎臓病 黄斑ジストロフィー 卵黄状黄斑ジストロフィー(ベスト病) Stargardt病 オカルト黄斑ジストロフィー 錐体ジストロフィー 単体がストロフィー 中心性輪紋状脈絡膜ジストロフィー 中心性輪紋状脈絡膜ジストロフィー レーベル遺伝性視神経症 レーベル遺伝性視神経症 レーベル遺伝性視神経症 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎 カナバン病 進行性白質脳症 皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症 皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症 白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 自質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 自質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 自質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 も質消失病 のフンフェルリト・ルンドボルグ病 ラフオラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 9q34欠失症候群	M359 K861 K830 K8118 N119 H355 H355 H355 H355 H355 H355 H312 H472 H472 Q878 H903 H810 J328 E752 G319 E752 G319 E752 G319 E752 G318 G403 G403 G403 G403 Q897		PVCP HPE1 H27S RKDM GCMM J3AG MGSO HRVL PLPH PLPH K59V N891 VM8P V5RN TPOK FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF QG6N	8842274 8848112 8848115 8848114 8830978 8840886 8843848 8841636 8835687 8837588 8846069 8844121 8849766 8848614 884955 8849258	自己免疫性膵炎 IgG4関連硬化性胆管炎 IgG4関連ミクリッツ病 IgG4関連ミアリッツ病 IgG4関連腎臓病 黄斑ジストロフィー 卵黄状黄斑ジストロフィー 黄色斑眼底 雄体がストロフィー 錐体杆体ジストロフィー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録 なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 301 黄斑ジストロフィ 301 大変ジストロフィ 302 レーベル遺伝性 302 レーベル遺伝性 302 レーベル遺伝性 302 レーベル遺伝性 308 がかかいの場合 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 308 進行性自質脳症 308 進行性主オクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	1	自己免疫性膵炎 IgG4関連硬化性胆管炎 IgG4関連硬化性胆管炎 IgG4関連環際・眼窩および唾液腺病変 IgG4関連ア際病 黄斑ジストロフィー 卵黄状黄斑ジストロフィー(ベスト病) Stargardt病 オカルト黄斑ジストロフィー 錐体ジストロフィー 錐体ジストロフィー 錐体がストロフィー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	K830 K118 N119 H355 H355 H355 H355 H355 H355 H375 H375		HPE1 H27S RKDM GCMM J3AG MGSO HRVL PLPH PLPH K59V N891 VM8P V5RN TPOK FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF QG6N	8848112 8848114 8830978 8840866 8843848 8841636 8835687 8837588 8848684 8849121 8849766 8848514 8849515 8849440 8849440 8849431 8849449 8849449	IgG4関連硬化性胆管炎 IgG4関連等クリッツ病 IgG4関連ミクリッツ病 IgG4関連腎臓病 黄斑ジストロフィー 卵黄状黄斑ジストロフィー 黄色斑眼底 錐体がストロフィー 錐体杆体ジストロフィー 単体杆体ジストロフィー 中心性輪紋状脈絡膜萎縮症 レーベル遺伝性視神経症 レーバー遺伝性視神経萎縮症 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎			平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録 なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 300 IgG4関連疾患 301 黄斑ジストロフィ 301 東斑ジストロフィ 301 東斑ジストロフィ 301 東斑ジストロフィ 301 東斑ジストロフィ 302 レーベル遺伝性 303 アッシャー症候割 304 若年発症型両側 305 遅発性内リンパ 306 好酸球性副鼻腔 307 カナパン病 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 308 進行性自質脳症 308 進行性自質脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	イー ・・・・・・・・	IgG4関連硬化性胆管炎 IgG4関連環際・眼窩および唾液腺病変 IgG4関連環腺・眼窩および唾液腺病変 IgG4関連腎臓病 黄斑ジストロフィー 卵黄状黄斑ジストロフィー(ペスト病) Stargardt病 オカルト黄斑ジストロフィー 錐体ジストロフィー 錐体がストロフィー 錐体がストロフィー 錐体がストロフィー 単体がは脈絡膜ジストロフィー 中心性輪紋状脈絡膜ジストロフィー レーベル遺伝性視神経症 レーベル遺伝性視神経症 レーベル遺伝性視神経症 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎 カナパン病 進行性自質脳症 皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症 白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性自質脳症 白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性自質脳症 塩行性ミオクローヌスてんかん ウンフェルリヒト・ルンドボルグ病 ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 1934欠失症候群	K830 K118 N119 H355 H355 H355 H355 H355 H355 H375 H375		HPE1 H27S RKDM GCMM J3AG MGSO HRVL PLPH PLPH K59V N891 VM8P V5RN TPOK FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF QG6N	8848112 8848114 8830978 8840866 8843848 8841636 8835687 8837588 8848684 8849121 8849766 8848514 8849515 8849440 8849440 8849431 8849449 8849449	IgG4関連硬化性胆管炎 IgG4関連等クリッツ病 IgG4関連ミクリッツ病 IgG4関連腎臓病 黄斑ジストロフィー 卵黄状黄斑ジストロフィー 黄色斑眼底 錐体がストロフィー 錐体杆体ジストロフィー 単体杆体ジストロフィー 中心性輪紋状脈絡膜萎縮症 レーベル遺伝性視神経症 レーバー遺伝性視神経萎縮症 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎	親病名に統合の可能性	黄斑ジストロフィー: 障害される視細胞の種類や関連する遺伝子によって	平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
300 IgG4関連疾患 301 黄斑ジストロフィ 302 レーベル遺伝性計 302 レーベル遺伝性計 303 アッシャー型に使き 304 若年発症で削 305 遅発性内リンパ 306 好酸球性副鼻腔 307 カナパン病 308 進行性白質脳症 308 進行性自質脳症 308 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	イー ・・・・・・・・	IgG4関連涙腺・眼窩および唾液腺病変 IgG4関連腎臓病 黄斑ジストロフィー 卵黄状黄斑ジストロフィー(ベスト病) Stargardt病 オカルト黄斑ジストロフィー 錐体がストロフィー 錐体がストロフィー 錐体がストロフィー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	N119 H355 H355 H355 H355 H355 H355 H312 H472 H472 Q878 H903 H810 J328 E752 G319 E752 G319 E752 G318 G403 G403 G403 G403 G403 Q897		H27S RKDM GCMM J3AG MGSO HRVL PLPH PLPH K59V N891 VM8P V5RN TPOK FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF QG6N	8848115 8848114 8830978 8840886 8843848 8841636 8835687 8837588 8848684 8844069 8844121 8849766 8848614 8849515 88494351 8849440 8849439 8834949	IgG4関連ミクリッツ病 IgG4関連等階級病 黄斑ジストロフィー 動変大策強ジストロフィー 黄色斑眼底 雄体ジストロフィー 雄体杆体ジストロフィー 中心性輪紋状脈絡膜萎縮症 レーベル遺伝性視神経症 レーベル遺伝性視神経症 レーバー遺伝性視神経療 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎	親病名に統合の可能性	黄斑ジストロフィー:障害される視細胞の種類や関連する遺伝子によって	平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録 なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 302 レーベル遺伝性注 302 レーベル遺伝性 303 アッシャー症候割 305 遅発性内リンパ 306 好酸球性副鼻腔 307 カナバン病 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	イー イー イー イー イー イー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	黄斑ジストロフィー 卵黄状黄斑ジストロフィー(ベスト病) Stargardt病 オカルト黄斑ジストロフィー 錐体ジストロフィー 錐体ジストロフィー 錐体がストロフィー 全体が表にできる。 サーベル遺伝性視神経症 レーベル遺伝性視神経症 レーベル遺伝性視神経症 アッシャー症候群 若年発症型向性感音難聴 遅発性内リンパが腫 好酸球性副鼻腔炎 カナパン病 進行性白質脳症 皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症 白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 生行性ミオクローヌスてんかん ウンフェルリヒト・ルンドボルグ病 ラフオラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 1934欠失症候群	H355 H355 H355 H355 H355 H355 H355 H375 H37		RKDM GCMM J3AG MGSO HRVL PLPH PLPH K59V N891 V5RN TPOK FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF	8830978 8840886 8843848 8841636 8835687 8837588 8844664 8844121 8849766 8848614 8845156 8849258 8849440 8849440 8849449 8849449	黄斑ジストロフィー 卵黄状黄斑ジストロフィー 黄色斑眼底 雄体ジストロフィー 錐体杆体ジストロフィー ・中心性輪放状脈絡膜萎縮症 レーベル遺伝性視神経症 レーバー遺伝性視神経療縮症 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎	親病名に統合の可能性	黄斑ジストロフィー: 障害される視細胞の種類や関連する遺伝子によって	平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録 なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 302 レーベル遺伝性名 302 レーベル遺伝性名 303 アッシャー症候割 304 若年発症型両側 305 遅発性内リンパ 306 好酸球性副鼻腔 307 カナパン病 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	イー ・・・・・・・・	卵黄状黄斑ジストロフィー(ベスト病) Stargardt病 オカルト黄斑ジストロフィー 錐体がストロフィー 錐体杆体ジストロフィー 錐体杆体ジストロフィー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	H355 H355 H355 H355 H355 H312 H472 Q878 H903 H810 J328 E752 G319 E752 G934 G403 G403 G403 G403 Q897		J3AG MGSO HRVL PLPH K59V N891 VM8P V5RN TPOK FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF	8840886 8843848 8841636 8835687 8837588 8846669 8844121 8849766 88485156 8849258 8849351 8849440 8849439 8849449 8849489	卵黄状黄斑ジストロフィー 黄色斑眼底 錐体ジストロフィー 錐体杆体ジストロフィー 中心性輪紋状脈絡膜萎縮症 レーベル遺伝性視神経症 レーベー遺伝性視神経萎縮症 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎	親病名に統合の可能性	黄斑ジストロフィー:障害される視細胞の種類や関連する遺伝子によって	平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録 なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 302 レーベル遺伝性社 302 レーベル遺伝性社 303 アッシャー症候素 304 若年発症型両側 305 遅発性内リンパ 306 好酸球性副鼻腔 307 カナバン病 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 309 進行性ミオクロ 309 進行性ミオクロ 309 進行性ミオクロ 309 進行性ミオクロ 309 進行性ミオクロ 309 進行性医オクロ 309 進行性医オクロ 309 進行性医球療 310 先天異常症候群	イー イー イー イー イー ・視神経症 ・現神経症 群 則性感音難聴 水腫 空炎 症 症 症 症 に ーヌスてんかん ーヌスてんかん ーヌスてんかん ーヌスてんかん ・ マスてんかん ・ マスてんかん ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Stargardt病 オカルト黄斑ジストロフィー 錐体ゲンストロフィー 錐体がストロフィー 錐体が大トロフィー 錐体杆体ジストロフィー 中心性輪紋状脈絡膜ジストロフィー レーベル遺伝性視神経症 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎 カナバン病 進行性白質脳症 皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症 白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 造行性ミオクローヌスでんかん ウンフェルリヒト・ルンドボルグ病 ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 19344ケ失症候群	H355 H355 H355 H355 H312 H472 H472 Q878 H903 H810 J328 E752 G319 E752 G934 G318 G403 G403 G403 G403 G403 Q897		J3AG MGSO HRVL PLPH K59V N891 VM8P V5RN TPOK FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF	8843848 8841636 8835687 8837588 8848684 8849069 8844121 8849766 8848614 8849515 8849351 8849440 8849431 8849489 8834977	黄色斑眼底 錐体ジストロフィー 錐体杆体ジストロフィー ・中心性輪紋状脈絡膜萎縮症 レーベル遺伝性視神経症 レーベル遺伝性視神経萎縮症 アッシャー症候群 若年発症を動側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎	親病名に統合の可能性	黄斑ジストロフィー:障害される視細胞の種類や関連する遺伝子によって	平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録 なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 302 レーベル遺伝性社 302 レーベル遺伝性社 303 アッシャー症候表 304 若年発症型両例 305 遅発性内リンパ 306 好酸球性副鼻腔 307 カナパン病 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	イー イー イー ・ 視神経症 ・ 視神経症 群 別性感音難聴 で水腫 空炎 症 症 症 症 症 に ーヌスてんかん ーヌスてんかん ーヌスてんかん ーヌスてんかん キスてんかん ・ はいかん ・ はいがし、 ・ はいがしいがしいがしいがしいがしいがしいがしいがしいがしいがしいがしいがしいがしい		H355 H312 H472 H472 Q878 H903 H810 J328 E752 G319 E752 G934 G318 G403 G403 G403 G403 Q897		MGSO HRVL PLPH PLPH K59V N891 VM8P V5RN TPOK FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF	8835687 8837588 8848684 8844669 8844121 8849766 8848614 8845156 8849258 8849351 8849440 8849431 8849449 8834977	錐体杆体ジストロフィー 中心性輪紋状脈絡膜萎縮症 レーベル遺伝性視神経症 レーバー遺伝性視神経萎縮症 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	親病名に統合の可能性	黄斑ジストロフィー:障害される視細胞の種類や関連する遺伝子によって	平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録 なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
301 黄斑ジストロフィ 301 黄斑ジストロフィ 302 レーベル遺伝性 302 レーベル遺伝性 303 アッシャー症候 304 若年発症型両側 305 遅発性内リン鼻 306 好酸球性副鼻腔 307 カナパン病 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 309 進行性三野脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先子異常症候群 310 先子異常症性 310 先子異常など 310 先子養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養	イー イー イー イー イー イー イー ・ 視神経症 ・ 視神経症 群 脚性感音難聴 ・ が水腫	 錐体杆体ジストロフィー 中心性輪紋状脈絡膜ジストロフィー レーベル遺伝性視神経症 レーベル遺伝性視神経症 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎 カナパン病 進行性白質脳症 皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症 白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 造行性ミオクローヌスてんかん ウンフェルリヒト・ルンドボルグ病 ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 1q部分重複症候群 9q34欠失症候群 	H355 H312 H472 H472 Q878 H903 H810 J328 E752 G319 E752 G934 G318 G403 G403 G403 G403 Q897		MGSO HRVL PLPH PLPH K59V N891 VM8P V5RN TPOK FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF	8835687 8837588 8848684 8844669 8844121 8849766 8848614 8845156 8849258 8849351 8849440 8849431 8849449 8834977	錐体杆体ジストロフィー 中心性輪紋状脈絡膜萎縮症 レーベル遺伝性視神経症 レーバー遺伝性視神経萎縮症 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー			なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
301 黄斑ジストロフィ 302 レーベル遺伝性社 303 レーベル遺伝性社 303 アッシャー症候割 304 若年発症型両側 305 遅発性内リンパ 306 好酸球性副鼻腔 307 カナパン病 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	イー	中心性輪紋状脈絡膜ジストロフィー レーベル遺伝性視神経症 レーベル遺伝性視神経症 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎 カナパン病 進行性白質脳症 皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症 白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 造行性ミオクローヌスてんかん ウンフェルリート・ルンドボルグ病 ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 19834年	H312 H472 H472 Q878 H903 H810 J328 E752 G319 E752 G934 G318 G403 G403 G403 G403 Q897		HRVL PLPH PLPH K59V N891 VM8P V5RN TPOK FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF	8837588 8848684 8844069 8844121 8849766 88495156 8849258 8849351 8849440 8849431 8849431 8849439 8834977	中心性輪紋状脈絡膜萎縮症 レーベル遺伝性視神経症 レーバー遺伝性視神経萎縮症 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎			なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
302 レーベル遺伝性注 302 レーベル遺伝性注 303 アッシャー症候割 304 若年発症型両側 305 遅発性内リンパ 306 好酸球性副鼻腔 307 カナパン病 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群	・視神経症 視神経症 群 別性感音難聴 砂水腫 空炎 定 定 定 一ヌスでんかん 一ヌスでんかん 一ヌスでんかん ド ・	レーベル遺伝性視神経症 レーベル遺伝性視神経症 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎 カナバン病 進行性白質脳症 皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症 白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 達行性ミオクローヌスでんかん ウンフェルリヒト・ルンドボルグ病 ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 19834欠失症候群	H472 H472 Q878 H903 H810 J328 E752 G319 E752 G934 G318 G403 G403 G403 G403 G403 Q897		PLPH PLPH K59V N891 VM8P V5RN TPOK FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF	8848684 8846069 8844121 8849766 8848614 8845156 8849258 8849351 8849440 8849431 8849439 8834977	レーベル遺伝性視神経症 レーバー遺伝性視神経萎縮症 アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎			なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
303 アッシャー症候割 304 若年発症型両側 305 遅発性内リンパ 306 好酸球性副鼻腔 307 カナバン病 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	群	アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎 カナバン病 進行性白質脳症 皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症 白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 増化性ネオクローヌスてんかん ウンフェルリヒトルンドボルグ病 ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 19834年	Q878 H903 H810 J328 E752 G319 E752 G934 G318 G403 G403 G403 G403 Q897		K59V N891 VM8P V5RN TPOK FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF QG6N	8844121 8849766 8848614 8845156 8849258 8849351 8849440 8849431 8849489 8834977	アッシャー症候群 若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎			なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
304 若年発症型両側 305 遅発性内リンパ 306 好酸球性副鼻腔 307 カナバン病 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候解 310 先天異常症候解 310 先天異常症候解 310 先天異常症候解 310 先天異常症候解 310 先天異常症候解	則性感音難聴 「水腫 空炎 「 症 に 一 ススてんかん ー ヌスてんかん ー ススてんかん ・ ー ヌスてんかん ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎 カナパン病 進行性白質脳症 皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症 白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 進行性ミオクローヌスてんかん ウンフェルリト・ルンドボルグ病 ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 1934年	H903 H810 J328 E752 G319 E752 G934 G318 G403 G403 G403 G403 G403		N891 VM8P V5RN TP0K FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF QG6N	8849766 8848614 8845156 8849258 8849351 8849440 8849431 8849489 8834977	若年発症型両側性感音難聴 遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎 - - -			なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
305 遅発性内リンパ 306 好酸球性副鼻腔 307 カナパン病 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	パ水腫 空炎 定 定 正 ーヌスでんかん ーヌスでんかん ーヌスでんかん ーヌスでんかん 学スでんかん 詳 詳 詳 詳 詳 詳 詳 詳 詳 詳 詳 詳 詳	理発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎 カナパン病 進行性白質脳症 皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症 白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 進行性ミオクローヌスでんかん ウンフェルリヒト・ルンドボルグ病 ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 19部分重複症候群 9934欠失症候群	H810 J328 E752 G319 E752 G934 G318 G403 G403 G403 G403 G403		VM8P V5RN TP0K FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF QG6N	8848614 8845156 8849258 8849351 8849440 8849431 8849489 8834977	遅発性内リンパ水腫 好酸球性副鼻腔炎			なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
306 好酸球性副鼻腔 307 カナバン病 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	空炎 定 定 定 一 ススてんかん ー ヌスてんかん ー ススてんかん ・ ー ススてんかん ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	好酸球性副鼻腔炎 カナパン病 進行性白質脳症 皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症 白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 進行性ミオクローヌスてんかん ウンフェルリヒト・ルンドボルグ病 ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 19南34次失症候群	J328 E752 G319 E752 G934 G318 G403 G403 G403 G403 G403 Q897		V5RN TP0K FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF QG6N	8845156 8849258 8849351 8849440 8849431 8849489 8834977	好酸球性副鼻腔炎 - - - -			なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	定 定 定 定 一マスてんかん ーマスてんかん ーマスてんかん ーマスてんかん 単 詳 詳 詳	進行性白質脳症 皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症 白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 進行性ミオクローヌスてんかん ウンフェルリヒト・ルンドボルグ病 ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 1q部分重複症候群 9q34欠失症候群	G319 E752 G934 G318 G403 G403 G403 G403 G403 Q897	G378	FT6U HMEJ MFRK G609 FUKF QG6N	8849351 8849440 8849431 8849489 8834977	_ 			なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	定 定 定 一ヌスてんかん ーヌスてんかん ーヌスてんかん ーヌスてんかん ド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症 白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 進行性ミオクローヌスてんかん ウンフェルリヒト・ルンドボルグ病 ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 19高34欠失症候群	G934 G318 G403 G403 G403 G403 G403 G897	G378	HMEJ MFRK G609 FUKF QG6N	8849351 8849440 8849431 8849489 8834977	_			
308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	定 定 定 一ヌスてんかん ーヌスてんかん ーヌスてんかん ーヌスてんかん ド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症 白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 進行性ミオクローヌスてんかん ウンフェルリヒト・ルンドボルグ病 ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 19高34欠失症候群	G934 G318 G403 G403 G403 G403 G403 G897	G378	HMEJ MFRK G609 FUKF QG6N	8849440 8849431 8849489 8834977	_			
308 進行性白質脳症 308 進行性白質脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	定	白質消失病 卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 進行性ミオクローヌスてんかん ウンフェルリヒト・ルンドボルグ病 ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 19南34年後症候群 9月34次失症候群	G934 G318 G403 G403 G403 G403 Q897		MFRK G609 FUKF QG6N	8849431 8849489 8834977				1
308 進行性白質脳症 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	定	卵巣機能障害を伴う進行性白質脳症 進行性ミオクローヌスてんかん ウンフェルリヒト・ルンドボルグ病 ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 1q部分重複症候群 9q34欠失症候群	G318 G403 G403 G403 G403 G403 Q897		G609 FUKF QG6N	8849489 8834977				i I
309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	一ヌスてんかん一ヌスてんかん一ヌスてんかん詳詳詳詳詳詳詳詳詳詳	ウンフェルリヒ・・ルンドボルグ病 ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 19部分重複症候群 9q34欠失症候群	G403 G403 G403 Q897		QG6N	8834977				
309 進行性ミオクロー 309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	一ヌスてんかん一ヌスてんかん詳詳詳詳詳詳詳詳	ラフォラ病 良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 1q部分重複症候群 9q34欠失症候群	G403 G403 Q897			000000	進行性ミオクローヌスてんかん			
309 進行性ミオクロー 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	—ヌスてんかん 詳 詳 詳 詳 詳 詳 詳	良性成人型家族性ミオクローヌス 先天異常症候群 1q部分重複症候群 9q34欠失症候群	G403 Q897		EMGA		ウンベルリヒトてんかん ラフォラ疾患			
310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	学 学 学 学 学	先天異常症候群 1q部分重複症候群 9q34欠失症候群	Q897		P2L4	8849492				十成30年1月陽柄石マヘブー垣加りためNDD豆琢
310 先天異常症候群 310 先天異常症候群 310 先天異常症候群	詳 詳 詳	9q34欠失症候群	0878		DSA1	8849374	_			平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
310	詳 詳				V9M9	8849233	-			なし。
310 先天異常症候群	詳 		Q878 Q871		MTGU S4CJ	8849234				
	詳	スミス・レムリ・オピッツ症候群	Q871		U8B4		スミス・レムリ・オピッツ症候群			
		微細欠失症候群等症候群						手がかり一切なし		
311 先天性三尖弁狭		先天性三尖弁狭窄症	Q224		KLN4		先天性三尖弁狭窄症			
312 先天性僧帽弁狭		<u> </u>	Q232				<u>先天性僧帽弁狭窄症</u>			
313 先天性肺静脈狭	侠窄症	先天性肺静脈狭窄症 	Q268		TVQP	8849377	_			なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
314 左肺動脈右肺動		左肺動脈右肺動脈起始症	Q257		UPD4	8849444	-			十成30年1月陽柄石マスター追加のためRDB豆稣 なし。
	候群(爪膝蓋骨症候群) 候群(爪膝蓋骨症候群)		Q872 Q872		J90B J90B	0037043	爪・膝蓋骨症候群	親病名に統合の可能性	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	
			Q872		0300	0007040	/ 旅盖月延快件	親病名に統合の可能性	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	
316 カルニチン回路		カルニチン回路異常症	E713		JUQP	8849259	_			ー 一 下 次 30 平 1 万
316 カルニチン回路		カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ1(CPT1)欠損症	E713		KNB1		CPT1欠損症			
316 カルニチン回路 316 カルニチン回路			E713 E713		EVTA NDQQ	884/146	CPT2欠損症			
010 7370—7 2 四四9	154.00	症	L/10		NDQQ	8849236	_			なし。
316 カルニチン回路		カルニチントランスポーター(OCTN-2)欠損症	E713		VGE5		一次性カルニチン欠乏症			
317 三頭酵素欠損症			E713		K14P	8849309	_		及产性物表 如果用物及产利 可从用物及产利 从用物以吸口及产口	平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
317 三頭酵素欠損症		新生児期発症型三頭酵素欠損症 乳幼児期発症型三頭酵素欠損症	E713						発症時期で、新生児期発症型、乳幼児期発症型、幼児期以降に発症し骨 発症時期で、新生児期発症型、乳幼児期発症型、幼児期以降に発症し骨	
317 三頭酵素欠損症		遅発型三頭酵素欠損症	E713						発症時期で、新生児期発症型、乳幼児期発症型、幼児期以降に発症し慣	
317 三頭酵素欠損症		発症前型三頭酵素欠損症	E713						発症時期で、新生児期発症型、乳幼児期発症型、幼児期以降に発症し骨	
318 シトリン欠損症		シトリン欠損症	E722		Q9HL	8848539	シトリン欠損症			
318 シトリン欠損症 318 シトリン欠損症		新生児肝内胆汁うっ滞症 新生児肝内胆汁うっ滞症	P788 E722		TN9V FG71		新生児肝内胆汁うっ滞症 シトリン欠損による新生児肝内胆汁うっ滞症			「ントリンス摂址」と「利土元肝内胆川プン滞址」が相
318 シトリン欠損症		成人発症II型シトルリン血症	E722		N6DU		成人発症II型シトルリン血症			7. 合わさった店里ターナップハス
319 セピアプテリン還	還元酵素(SR)欠損症 ·	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	E708		Q4TE	8849371	_			ナル30年1万陽州石マヘメール加りたGMDD豆螺 ナール30年1万陽州石マヘメール加りたGMDD豆螺
320 先天性グリコシル 321 非ケトーシス型高		先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症 非ケトーシス型高グリシン血症	E748		S83P MTCP	8849375	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー			
321 非ケトーシス型高 321 非ケトーシス型高		非ケトーンス型高グリンン皿症 新生児型非ケトーシス型高グリシン血症	E725 E725		P5KF		非ケトン性高クリンン皿症 新生児型非ケトン性高グリシン血症			
321 非ケトーシス型高	高グリシン血症	乳児型非ケトーシス型高グリシン血症	E725			20.7100		親病名に統合の可能性		
322 β —ケトチオラー	ーゼ欠損症	βケトチオラーゼ欠損症	E713		DPS1	8849462				平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
323 芳香族L-アミノ酸		芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	E708		DT44	8849463				なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
323 方合族L-アミノ部 324 メチルグルタコン		方省族L-アミノ酸脱灰酸酵素欠損症 メチルグルタコン酸尿症	E708		VV2J					TIXSOサI月物内白×ヘブー追加のためNDB登録
324 メチルグルタコン		メチルグルタコニルCoAヒドラターゼ欠損症	E711		7,720	557/140	/ / / / / / - /	親病名に統合の可能性		
324 メチルグルタコン	ン酸尿症 .	メチルグルタコン酸尿症II型	E711					親病名に統合の可能性	メチルグルタコン酸尿症	
324 メチルグルタコン		Barth症候群	E711		1			親病名に統合の可能性	メチルグルタコン酸尿症	
324 メチルグルタコン 324 メチルグルタコン		メチルグルタコン酸尿症Ⅲ型 Costeff症候群	E711	-	1			親病名に統合の可能性 親病名に統合の可能性	ケナルブルグコン酸水症	
324 メチルグルタコン		メチルグルタコン酸尿症IV型	E711		<u> </u>			親病名に統合の可能性	メチルグルタコン酸尿症	
324 メチルグルタコン	ン酸尿症 :	ミトコンドリア呼吸鎖異常症	E888					類似病名あるが決められた	は ミトコンドリア呼吸鎖複合体欠損症 8849840 E888	
324 メチルグルタコン		メチルグルタコン酸尿症V型	E711		1			親病名に統合の可能性	メチルグルタコン酸尿症	
324 メチルグルタコン 325 遺伝性自己炎症		DCMA症候群 NLRC4異常症	E711 D898		RE5N	8849237	_	親病名に統合の可能性	アナルソルグコン酸冰症	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
325 遺伝性自己炎症		ADA2欠損症	D898		SPPN	8849235				一一
325 遺伝性自己炎症		エカルディ・グティエール症候群	D898		MF2B	8849250	_			
325 遺伝性自己炎症		A20ハプロ不全症						手がかり一切なし	ベーチェット病類似の早期発症型自己炎症性疾患のA20ハプロ不全症	
326 大理石骨病			Q782		L66U	8837412	大理石骨病	却点々に仕入るマルド	十四丁基本 日於刑 「最於刑 十周刑 数日初が地ってい 、っとかった。	THO 4 호프니스 ** 7
326 大理石骨病 326 大理石骨病		新生児型/乳児型大理石骨病 中型大理石骨病	Q782					親病名に統合の可能性	大理石骨病:早発型、遅発型、中間型、腎尿細管性アンドーシスを伴う病: 大理石骨病:早発型、遅発型、中間型、腎尿細管性アンドーシスを伴う病:	<u> </u>
326 大理石骨病		中至人垤石育柄 遅発型大理石骨病	Q782		1				大理石骨病:早発型、遅発型、中間型、胃尿細管性アシドーシスを伴う病 大理石骨病:早発型、遅発型、中間型、腎尿細管性アシドーシスを伴う病	
		遺伝性血栓性素因による特発性血栓症	D689	I829	J5LD	8849245	_	1,5 1,5		平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録
328 前眼部形成異常		前眼部形成異常	Q139	<u> </u>	HN0T	8849378	_			なし。 平成30年1月傷病名マスター追加のためKDB登録

告示番 号	A. 指定難病名	B. 告示病名以外の指定難病対象疾病名	ICD-10-1	ICD-10-2 病名交換 用コード	病名コード	レセプト傷病名マスター	疑義フラグ	コード付与に関するの備考(類似病名あるがBと同一か決めきれない例と	ここは見て!	備考
		無虹彩症	Q131	FR8D	8840473	無虹彩				
	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄 症		Q321	PGQ6	8836173	先天性気管狭窄症				
330	选 先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄 症	先天性声門下狭窄症	Q311	EM58	8836260	先天性声門下狭窄症				
331	持発性多中心性キャッスルマン病	特発性多中心性キャッスルマン病	D477		8849813					
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	膠様滴状角膜ジストロフィー	H185	T5HM	8839787					
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	ハッチンソン・ギルフォード症候群	E348		8836702					

資料3 指定難病受給者の難病に係る医療費の自己負担上限額

病院、診療所における受療以外に、薬局での保険調剤、医療保険における訪問看護 ステーション が行う訪問看護及び介護保険における訪問看護等を含んだ1か月あたりの限度額は、以下である。

	 	ハの甘油	自己負担額上限額	頁(外来+入院)(患者	首負担割合:2割)
階層区分	()内の数字に	分の基準 は、夫婦2人世帯 ける年収の目安	一般	高額かつ長期*	人口呼吸器等 装着者
生活保護	-		0	0	0
低所得 I	市町村民税非課税	本人年収 ~80万円	2,500	2,500	
低所得Ⅱ	(世帯)	本人年収 80万円超~	5,000	5,000	
一般所得 I		村民税 .1万円未満 ~約370万円)	10,000	5,000	1,000
一般所得Ⅱ		村民税 25.1万円未満 -約810万円)	20,000	10,000	
上位所得	市町村民税2 (約810)	25.1万円以上 万円~)	30,000	20,000	
	入院時の食費			全額自己負担	

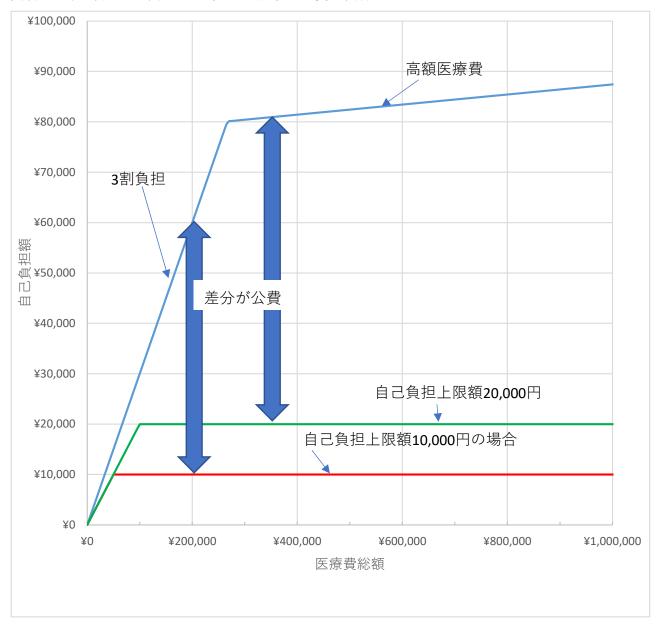
^{※「}高額かつ長期」とは、月ごとの医療費総額が5万円を超える月が年間6回以上ある者(例えば医療保険の2割負担の場合、 医療費の自己負担が1万円を超える月が年間6回以上)。

分担 資料 4

資料4 難病の公費負担区分

特記区分	所得区分			70歳未満				70歳以上		指	定難病受給者	
村配込刀	別特込万		適用区分	一部負担金	高額医療費		適用区分	一部負担金	高額医療費	階層区分	自己負担割合	自己負担上限額
区オ・多オ	低所得	低所得者Ⅰ	低所得者(住民税非課税者)		35,400円	低所得者	住民税非課税世帯 (年金収入80万円以 下など)	1割・2割	入院 15,000円、外来 8,000円	低所得者 I (住民税非課税 年収~80万)	変更なし	¥2,500
		低所得者Ⅱ	11)			低所得者Ⅱ	住民税非課税世帯	1割・2割	入院 24,600円、外来 8,000円	低所得者II(住民税非課 税 年収80~160万)	変更なし	¥5,000
区エ・多エ	一般	一般	~年収約370万円 標準報酬月額26万円以下	3割	57,600円	一般	年収156万~約370 万円 標準報酬月額26万円 以下	1割・2割	入院 57,600円、外来 18,000円	一般所得 I (年収~370 万)	3割⇒2割に低減	¥10,000
区ウ・多ウ	- AX		年収約370万~約770万円 標準報酬月額28万円以上		80,100円+ ([総医療費]-267,000 円)*0.01	現役並みⅠ	年収約370万~約 770万円 標準報酬月額28万~ 50万円	331	80,100円+ ([総医療費] - 267,000 円) *0.01	一般所得 I (年収~810 万)	3割⇒2割に低減	¥20,000
区イ・多イ	上位		年収約770万~約1,160万円 標準報酬月額53万円以上		167,400円 + ([総医療費] - 558,000 円) *0.01	現役並みⅡ	年収約770万~約 1,160万円 標準報酬月額53万~ 79万円	3割	167,400円+ ([総医療費]-558,000円) *0.01	上位所得(年収810万 ~)	3割→2割に低減	¥30,000
区ア・多ア		坦役並みⅢ	年収約1,160万円~ 標準報酬月額83万円以上	3割	252,600円 + ([総医療費] - 842,000 円) *0.01	現役並みⅢ	年収約1,160万円~ 標準報酬月額83万円 以上	3割	252,600円+ ([総医療費] - 842,000 円) *0.01	/		

資料 5 指定難病に対する自己負担上限額と公費の関係



資料 6 70 歳未満の特記事項別医療費分布 (2018 年度) ※医療費は点数を示す。

1. 特記事項区分別

					医卵	· 李春				. 0	
特記事項	特記事項名称						50パーセンタ	75パーセンタ	95パーセンタ	レセプト件	id0
区分	1310 4 7 11	最小値	最大値	平均値	ル	イル	イル	イル	イル	数	
NULL		0	2,356,620	5,183	223	702	1,777	4,107	20,120	1,535,918	450,737
	公	128	363,318	47,670	413	23,445	34,273	51,590	185,234	211	93
	長	131	5,153,377	135,415	4,032	16,409	46,562	166,961	511,455	13,042	3,268
	長 処		集計対象を								10未満
	後 保	集計対象统	集計対象外					集計対象統	集計対象	10未満	10未満
5		集計対象统	集計対象外			集計対象を			集計対象		10未満
	老 併	集計対象統	集計対象外	集計対象を	集計対象			集計対象を	集計対象	集計対象を	10未満
8	老 健	343	11,723	4,212	343	883	2,658	6,866	11,648	32	16
	施	80	44,100	2,353	338	410	620	2,076	10,692	2,239	399
	第三	122	208,700	8,948	219	556	2,376	8,922	32,353	502	235
11	薬 治	113	670,377	6,511	343	463	699	1,928	26,755	8,694	1,851
	器 治	534	275,059	26,032	1,088	1,377	6,866	12,929	98,626	23	11
	先 進	473	1,437,387	177,802	3,952	74,329	152,993	218,779	483,829	353	156
	制 超	集計対象統	集計対象を	集計対象を	集計対象	集計対象を		集計対象を	集計対象	集計対象を	10未満
	長 2	343	598,374	51,863	3,164	13,041	37,225	58,449	151,398	512	166
	上 位	343	338,852	28,117	1,434	5,375	11,461	32,886	105,000	907	211
18		116	671,659	22,659	543	2,866	8,602	24,803	91,991	23,587	4,960
	低 所	81	635,402	15,780	470	2,355	6,459	16,076	62,695	16,926	3,580
	高 半	246	15,508	5,873	246	3,600	4,738	7,235	15,508	14	13
	多上	3,290	195,582	69,746	29,511	49,614	63,462	90,960	130,855	81	20
	出 産	1,395	476,004	70,612	4,648	24,559	55,150	91,642	199,334	310	256
	区ア	89	2,770,792	16,839	607	2,354	5,255	15,977	63,445	88,934	20,338
	区イ	0	2,691,838	15,996	677	2,289	4,823	14,340	57,789	244,362	53,238
28	区ウ	-27,897	3,901,363	16,085	632	2,235	4,894	14,406	59,289	1,102,939	236,616
	区工	-1,485	2,803,585	14,712	720	2,353	5,034	13,409	55,537	1,074,234	226,822
	区才	12	2,404,473	12,424	685	2,428	5,253	12,533	42,278	503,762	106,292
	多ア	4,193	1,828,419	141,418	43,366	77,654	109,828	168,659	325,615	896	276
	多イ	1,609	2,012,359	138,052	35,880	63,870	101,272	165,621	333,085	3,361	892
	多ウ	1,941	2,633,385	105,071	23,140	48,158	77,223	132,531	261,553	20,791	5,787
34	多エ	1,680	2,875,254	82,013	24,445	47,811	64,705	94,492	190,412	21,929	5,749
	多才	1,717	1,050,237	73,264	20,681	44,310	58,436	86,387	174,675	4,217	1,254
36	加 治	集計対象统	集計対象外	集計対象统	集計対象	集計対象外	集計対象	集計対象统	集計対象	10未満	10未満
37	申出	集計対象统	集計対象外	集計対象统	集計対象	集計対象外	集計対象	集計対象统	集計対象	10未満	10未満
40		108	3,159	300	130	152	188	320	644	107	81
51		集計対象统	集計対象外	集計対象外	集計対象	集計対象外	集計対象外	集計対象外	集計対象	10未満	10未満
52		集計対象	集計対象を	集計対象外	集計対象	集計対象を	集計対象外	集計対象	集計対象	集計対象外	
90		集計対象外	集計対象を	集計対象外	集計対象	集計対象外	集計対象外	集計対象外	集計対象	10未満	10未満
92		集計対象外				集計対象外			集計対象		10未満
93		集計対象外	集計対象を	集計対象外	集計対象	集計対象外	集計対象外	集計対象外	集計対象	集計対象外	10未満
96		155	2,423,411	11,453	1,035	2,589	4,926	11,132	40,135	6,512	1,471
合計										4,675,467	1,124,788

2. レセプト種別

ا∜−طبا											
レセプト 区分	レセプト名称	最小値	最大値	平均値	5パーセンタイル	25パーセンタ イル	50パーセンタ イル	75パ ^ー センタ イル	95パ [°] ーセンタ イル	レセプト件 数	id0
dpc	DPC	-27,897	5,136,627	82,310	9,597	26,228	52,519	103,276	239,595	147,508	76,726
med1	医科入院	0	3,500,530	77,048	10,623	36,540	60,186	92,034	187,279	114,722	38,403
med2	医科入院外	270	5,153,377	6,045	411	658	1,438	3,303	26,973	3,441,684	645,011
pha	調剤	1	3,309,727	6,208	392	1,392	2,971	6,175	22,412	2,998,098	604,584
										6,702,012	

3. 全レセプト

レセプト		医療費							レセプト件	Î	
区分	レセプト名称	最小値	最大値	平均值	5パ [°] ーセンタイル	25パーセンタ イル	50パ [°] ーセンタ イル	75パ ^ー センタ イル	95パーセンタ イル	数	id0
all		-25,791	5,153,377	16,436	1,072	2,746	5,485	14,622	60,782	3,674,746	696,464

資料 7 70 歳以上の特記事項別医療費分布 (2018 年度) ※医療費は点数を示す。

1. 特記事項区分別

杜司車 15	性包束语		医療費								
区分	特記事項 名称	最小値	最大値	平均値	5パ [°] ーセンタイル	25パ [°] ーセンタ イル	50パ [°] ーセンタ イル	75パ [°] ーセンタ イル	95パ [°] ーセンタ イル	レセプト件 数	id0
NULL		-2,849	2,578,790	8,511	340	1,631	4,802	11,014	25,051	1,923,960	429,425
1	公	447	51,869	6,196	552	1,012	3,622	5,384	14,588	22	10
	長	360	2,578,031	61,705	5,832	32,368	40,322	78,515	143,729	4,766	1,284
	老 併	270	91,094	6,491	383	925	2,351	7,521	19,974	160	70
8	老 健	297	101,918	5,899	383	518	1,448	4,674	31,923	170	68
	施	65	172,420	3,677	338	412	1,169	4,278	15,359	19,661	4,202
10	第三	140	186,748	13,347	296	882	2,385	7,371	81,485	330	137
	薬 治	187	573,182	3,934		438	630	1,420			669
		集計対象外	集計対象を	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象外	集計対象を	10未満
13	先 進	413	442,925	30,642	1,069	1,417	2,296	13,057	120,788	41	16
14	制超	集計対象外	集計対象外	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象外	集計対象外	10未満
17	上 位	0	808,570	16,207	996	3,218	6,923	15,274	69,663	113,788	24,118
18	一般	0	1,744,468	15,748	663	2,626	6,031	14,554	68,532	1,003,546	190,30
19	低 所	55	719,048	11,766	517	2,277	5,103	11,429	50,569	586,618	110,958
20	ī	集計対象外	集計対象外	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象外	10未満	10未満
21	高半	166	64,433	9,859	340	1,491	3,201	9,530	60,063	29	29
22	多上	-7,550	707,656	65,298	30,607	48,440	60,527	75,484	110,279	5,710	1,209
26	区ア	105	385,807	15,189	634	2,146	5,134	13,140	67,480	243	243
27	区イ	343	83,007	9,271	468	2,143	4,278	9,086	31,683	192	192
28	区ウ	107	571,941	13,842	468	2,092	4,788	12,418	57,497	2,018	2,018
29	H 区	172	537,904	13,378	698	2,478	5,208	11,862	55,301	4,992	4,990
30	区才	132	360,074	10,537	734	2,472	5,062	10,611	38,085	3,092	3,092
31	多ア	集計対象外	集計対象外	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象外	10未満	10未満
32	多イ	集計対象外	集計対象外	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象外	10未満	10未満
33	多ウ	28,979	199,709	72,864	39,705	51,397	65,627	85,620	125,387	55	55
34	多エ	-16,000	798,933	65,377	42,005	50,097	60,948	74,226	107,410	42,638	8,769
35	多才	24,901	430,454	70,817	33,403	47,410	55,321	68,853	153,054	56	56
37	申出	集計対象外	集計対象を	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象外	集計対象外	10未満
40		25		311	121	159	196	312	1,025	221	149
91		集計対象外	集計対象を	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象	集計対象外	10未満	10未満
96		122	410,572	11,628			6,719				1,290

2. レセプト種別

レセプト	レセプト	医療費									
区分		最小値	最大値	平均値	5パ [°] ーセンタイ ル	25パーセンタ イル	50パーセンタ イル	75パ [°] ーセンタ イル	95パ [°] ーセンタ イル	レセプト件 数	id0
dpc	DPC	-31,719	1,744,468	70,702	9,595	31,354	59,064	91,816	172,482	80,835	41,634
med1	医科入院	0	2,578,790	58,751	15,931	45,578	55,086	70,671	104,100	204,292	48,566
med2	医科入院	266	2,578,031	5,213	411	714	2,120	6,966	17,615	2,682,389	487,992
pha	調剤	1	906,931	5,115	541	1,668	3,098	5,799	16,107	2,501,916	474,621

3. 全レセプト

	ı	I					Į.		L		
レセプト	レセプト				医療	費				しゅっぱんか	
	名称	目 小法	日十法	ᅲᄷ	5パーセンタイ	25パーセンタ	50パーセンタ	75パ [°] ーセンタ	95パーセンタ	レセプト件 数	id0
区分	つか	最小値	最大値	平均値	ル	イル	イル	イル	イル	奴	
all		-13,605	2,578,790	15,122	1,552	4,053	7,889	15,544	59,250	2,942,630	529,567

資料 8 難病患者 (70 歳未満) の 1 か月あたり医療費分布 (2018 年度) 「件数」は、延べ人数を示す。平均、最大、最小は、医療点数を示す。2500 点以降は掲載を省略 する。

医療点数	件数	平均	最小	最大
-1	10未満	集計対象外	集計対象外	集計対象外
0	10台	13	10未満	80
100	10未満	集計対象外	集計対象外	<u> </u>
200	73	270	213	295
300	26,110	359	306	399
400	17,859	438	400	499
500	12,586	554	500	599
600	18,136	653	600	699
700	23,420	749	700	799
800	25,573	851	800	899
900	29,228	950	900	999
1000	40,756	1,047	1,000	1,099
1100	35,463	1,149	1,100	1,199
1200	36,549	1,250	1,200	1,299
1300	38,662	1,350	1,300	1,399
1400	43,019	1,450	1,400	1,499
1500	43,284	1,550	1,500	1,599
1600	43,101	1,649	1,600	1,699
1700	44,405	1,750	1,700	
1800	46,409	1,850	1,800	1,899
1900	47,441	1,949	1,900	1,999
2000	48,030	2,050	2,000	2,099
2100	46,138	2,150	2,100	2,199
2200	47,283	2,250	2,200	2,299
2300	46,500	2,349	2,300	2,399
2400	46,086	2,450	2,400	2,499
2500	45,580	2,549	2,500	2,599

資料 9 難病患者 (70歳以上) の 1 か月あたり医療費分布 (2018年度) 「件数」は、延べ人数を示す。平均、最大、最小は、医療点数を示す。2500点以降は掲載を省略

する。

医療点数	件数	平均	最小	最大
-1	10未満	集計対象外	集計対象外	集計対象外
0	10未満	集計対象外	集計対象外	集計対象外
100	10未満	集計対象外	集計対象外	集計対象外
200	55	272	270	299
300	6,722	363	310	399
400	5,236	439	400	499
500	3,963	556	500	599
600	6,755	653	600	699
700	9,360	751	700	799
800	11,102	851	800	899
900	12,200	949	900	999
1000	14,588	1,049	1,000	1,099
1100	15,190	1,150	1,100	1,199
1200	15,978	1,250	1,200	1,299
1300	17,289	1,350	1,300	1,399
1400	18,641	1,450	1,400	1,499
1500	19,363	1,550	1,500	1,599
1600	19,640	1,650	1,600	1,699
1700	20,723	1,750	1,700	1,799
1800	21,361	1,850	1,800	1,899
1900	21,910	1,950	1,900	1,999
2000	22,728	2,050	2,000	2,099
2100	23,083	2,149	2,100	2,199
2200	23,515	2,250	2,200	2,299
2300	24,053	2,349	2,300	2,399
2400	24,275	2,450	2,400	2,499
2500	24,580	2,549	2,500	2,599

資料 10 公費の推定結果

特記区分	にア~オ以外が記載さ	れていた場合に								
#±======	年齢共通		70点	表未満		70歳以上				
特記区分	難病自己負担上限額	適用区分	一部負担金	合計人数	合計医療費	適用区分	一部負担金	合計人数	合計医療費	
区才·多	¥2,500	低所得者 I	3割	303,585	¥5,179,694,432	低所得者 I	1割	431,828	¥2,676,927,489	
オ	¥5,000	低所得者Ⅱ	3割	303,585	¥4,472,742,003	低所得者Ⅱ	1割	431,828	¥2,611,287,277	
区エ・多エ	¥10,000	一般	3割	1,295,671	¥20,973,777,971	一般	2割	1,393,804	¥18,346,793,712	
区ウ·多 ウ	¥20,000	現役並み I	3割	1,351,618	¥20,853,561,551	現役並み I	3割	563,667	¥9,202,202,634	
区イ・多イ		現役並みⅡ	3割	304,111	¥5,916,722,619	現役並みⅡ	3割	53,629	¥1,016,007,297	
区ア·多 ア	¥30,000	現役並みⅢ	3割	116,176	¥2,659,141,536	現役並みⅢ	3割	67,875	¥1,484,529,220	
合計		_		3.674.746	¥60.055.640.112			2.942.630	¥35.337.747.630	

資料 11 公費の推定結果 (特記区分にア〜オ以外が記載されていた場合は、「一般」 (区工) とした場合。)

性司 CZ 八	年齢共通		70崩	表未満		70歳以上				
符記区分	年 新 共	適用区分	一部負担金	合計人数	合計医療費	適用区分	一部負担金	合計人数	合計医療費	
区才·多	¥2,500	低所得者 I	3割	173,625	¥2,962,355,450	低所得者 I	1割	214,203	¥1,327,854,811	
オ	¥5,000	低所得者 Ⅱ	3割	173,625	¥2,558,037,317	低所得者Ⅱ	1割	214,203	¥1,295,294,844	
区エ・多エ	¥10,000	一般	3割	2,314,113	¥37,459,871,709	一般	2割	2,414,417	¥31,781,230,486	
区ウ·多 ウ	¥20,000	現役並み I	3割	773,013	¥11,926,506,962	現役並み I	3割	98,174	¥1,602,757,919	
区イ・多イ		現役並みⅡ	3割	173,926	¥3,383,874,420	現役並みⅡ	3割	721	¥13,663,281	
区ア·多 ア	¥30,000	現役並みⅢ	3割	66,443	¥1,520,808,326	現役並みⅢ	3割	913	¥19,963,971	